

宇治市市民意識調査 報告書

2006年（平成18年）6月

宇 治 市

目 次

1. 調査の概要

(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査期間等	1
(4) 調査内容	2
(5) 調査方法	3
(6) 配布回収結果	3
(7) 調査結果の分析	3

2. 市民意識調査結果

2-1 集計の方法

(1) 山間地域等へ配布した調査票の集計	4
(2) 「宇治市が進めている施策に対する評価」(問15)の集計	4

2-2 調査結果

(1) 回答者の属性(問1～問8)	7
(2) 宇治市への定住意向等(問9～問10)	13
(3) 団塊の世代の意向(問11)	17
(4) 少子化問題についての意向(問12)	23
(5) 防犯活動についての意向(問13)	35
(6) 防災対策についての意向(問14)	48
(7) 宇治市が進めている施策に対する評価(問15)	60
(8) 自由回答欄のまとめ	71

3. 町内会・自治会意識調査結果

(1) 町内会・自治会の概要(問1～問6)	75
(2) 活動内容や問題点等(問7～問9)	80
(3) 「市への協力関係」についての意向(問10)	85
(4) 「住民参加のまちづくり」についての意向(問11)	86
(5) 団塊の世代対策についての意向(問12)	87
(6) 少子化問題についての意向(問13)	90
(7) 防犯活動についての意向(問14)	95
(8) 防災対策についての意向(問15)	102
(9) 自由回答欄のまとめ	110

4. 参考資料(調査票)	112
--------------	-----

1. 調査の概要

(1) 調査目的

宇治市第4次総合計画策定から平成17年度末で5年間が経過し、折り返しの時期を迎えようとしている中で、今日の厳しい財政状況や地方分権の進展等、社会背景の変化とともに市民ニーズも確実に変化してきている。そのため、策定当時には予測されなかった新たな行政課題や社会ニーズが生じてきており、それらに的確に対応していくには、市民意識を正確に捉えていく必要がある。

今回の市民意識調査は、これまで実施してきた各種施策の評価、これからの施策の必要性を把握することで、第4次総合計画の見直しの基礎資料とするとともに、今日、特に社会問題化している「子育て」、「防犯」、「防災」のほか、目前に迫っている「団塊の世代の大量退職」に関する市民意識についても確認していくものとする。

これによって、前回調査（平成11年）との市民意識の変化や、施策に対する市民の評価等を分析することにより、施策の立案や重点化の検討、総合計画審議会での審議に活用することを目的とする。

(2) 調査対象

① 市民意識調査

2006年（平成18年）2月16日現在の住民基本台帳データ及び外国人登録者の中から、満20歳以上の市民4,500人を調査対象とした。

* ほぼ同時期に実施される、「宇治市まちづくり条例に関するアンケート」（2月1日、3,000人に配布）及び、「宇治市住宅マスタープラン住民アンケート調査」（2月1日、世帯主2,000人に配布）の調査対象者は除くものとした。

* 山間地などの人口が少ない地域については、調査数4,500人のうち、300人分を配分し、調査精度を確保するものとした。

② 町内会・自治会意識調査

2006年（18年）2月20日現在の市内の町内会長・自治会長609人を、調査対象とした。

(3) 調査期間等

次のように調査を実施した。

- ・ 市政だよりにて告知：3月11日（土）
- ・ 調査票配布：3月11日（土）*回収の締め切りは、3月24日（金）とした。
- ・ 督促状郵送：3月24日（金）

(4) 調査内容

I. 市民意識調査

① 回答者の属性等

<問 1～問 10>

住居地域（35区分）、性別、年齢、家族構成、職業分野、通勤・通学地、通勤・通学時間、通勤・通学手段、居住年数、居留意向、宇治市への愛着度

② 特に社会問題化している、また社会問題化することが予想される課題に対する認識と地域活動への参加意向

<問 11～問 14>

(課題分類)

団塊の世代対策、子育て支援策、防犯活動、防災活動

③ 総合計画の節別の施策評価及び今後の優先度<問 15>

総合計画の各「節」について、これまでの施策に対する評価及び今後の施策推進の優先度評価

※ 回答者の負担を軽減するため、77「節」を3つに分け、この設問の区分により、調査票1、調査票2、調査票3を作成して、各々の調査票を各1,500人に対して配布した。また、第7編第1章第1節「土地利用」については、基本施策がないため省略した。

④ 自由回答

II. 町内会・自治会意識調査

① 回答町内会・自治会の属性等<問 1～6>

地域、世帯数、加入率、役員を選出方法、活動状況、行事の参加状況

② 活動内容・問題点等 <問 7～9>

活動内容、活動の問題点、地域課題

③ 市との関係、住民参加 <問 10～11>

市への協力の考え方、まちづくりとの関わり

④ 特に社会問題化している、また社会問題化することが予想される課題に対する取り組み

<問 12～問 15>

(課題分類)

団塊の世代対策、子育て支援策、防犯活動、防災活動

⑤ 自由回答

(5) 調査方法

各調査票を、調査対象者に、郵送にて配布し、同封の返信用封筒にて回収した。また、意識調査の締め切り日に、調査対象者全員に督促葉書を出して、回収率の向上に努めた。

(6) 配布・回収結果

		配布数	有効票		一部無効票		合計	
			回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
市民意識調査	調査票 1	票 1,500	票 636	% 42.4	票 5	% 0.3	票 641	% 42.7
	調査票 2	1,500	700	46.7	2	0.1	702	46.8
	調査票 3	1,500	671	44.7	3	0.2	674	44.9
	合計	4,500	2,007	44.6	10	0.2	2,017	44.8
町内会・自治会意識調査		609	434	71.3	-	-	434	71.3

※ 「一部無効票」は、自由回答のみ記述されてその他が白紙の回収票、及び締切日を大きくすぎて（2006年(平成18年)5月9日以降）回収された票

(7) 調査結果の分析

調査結果の分析は、次のような方向で行った。

- ① 居住地域別など、回答者の属性別の市民意識の傾向を把握する。
地域区分は前回市民意識調査時の14区分を基本とする
- ② 前回調査（平成11年）の結果と比較して市民意識の変化を捉える。
- ③ 最近特に問題となっている行政課題及び近い将来問題になると予想される行政課題についての市民意識を確認する。
- ④ 総合計画の節別の施策評価及び今後の優先度の分析を通じて、今後の施策の重点化を検討する基礎資料とする。

2. 市民意識調査結果

2-1 集計の方法(※)

(1) 山間地域等へ配布した調査票の集計

市民意識調査については、調査票1～3を各々1,500票ずつ配布した。

その際、1,400票は市内各地区の人口に比例して配布数を定めるとともに、山間地域等の人口の少ない地区の調査精度を上げるため、前回調査時のM地域（志津川、白川）とN地域（炭山、二尾、池尾、東笠取、西笠取）に各々50票ずつ加算し、次のように配布数を定めた。

山間地域等への配布数

	地区名	20歳以上の人口、 市内人口比	1,400票当 り配布数 (理論値)	配布時の加 算値	1,500票当 り配布数 (実抽出値)	集計時の 補正係数
M 地域	志津川	314人 0.21%	3票	50票	18票	×10/60 =×1/6
	白川	710人 0.47%	7票		42票	
N 地域	炭山	237人 0.16%	2票	50票	27票	×4/54 =×2/27
	二尾	30人 0.02%	0票		3票	
	池尾	13人 0.01%	0票		2票	
	東笠取	68人 0.04%	1票		8票	
	西笠取	120人 0.08%	1票		14票	

そのため、集計結果の分析時には、M地域、N地域の回収数に各々1/6、2/27をかけて、集計することとした。

結果として、小数点以下の処理（四捨五入）により、集計上、多少の誤差が出ることとなっている。

(2) 「宇治市が進めている施策に対する評価」（問15）の集計

この設問については、各施策について次のように集計・分析作業を進めた。

① 基礎評価

基礎評価は、「これまでの施策に対する評価」「今後の優先度」について、次のように、アンケート調査結果による5段階評価の加重平均値を出し、施策毎の評価点とした。

◆ 「これまでの施策に対する評価」、「今後の優先度」の施策毎の評価点

各選択肢の回答数に次のような得点を乗じた数値の加重平均を「これまでの施策に対する評価・今後の優先度」の評価点として集計した。この指標がプラスであれば全体として“評価する・優先すべき”であることを示し、マイナスであれば全体として“評価しない・優先しなくてよい”であることを示すことになる。

「高く評価する・優先すべき」	: +100点
「評価する・できれば優先すべき」	: +50点
「どちらともいえない」	: 0点
「あまり評価しない・あまり優先しなくてよい」	: -50点
「評価しない・優先しなくてよい」	: -100点

※ なお、集計時の端数処理の関係上、構成比等の合計が100%とならない場合もある。

加重平均値の算出方法

$$\begin{aligned} \text{加重平均値} = & \{ \text{高く評価する・優先すべき} \times (+100) \} + \{ \text{評価する・できれば優先すべき} \times (+50) \} \\ & + \{ (\text{どちらともいえない} + \text{無回答}) \times (0) \} + \{ \text{あまり評価しない・あまり優先しなくてよい} \times (-50) \} \\ & + \{ \text{評価しない・優先しなくてよい} \times (-100) \} \div \text{回答数} \end{aligned}$$

この各施策の加重平均値は、今回の市民意識調査結果では、次のようになった。

順位	これまでの施策に対する評価	加重平均値	今後の優先度	加重平均値
1	3- 3ゴミの減量化及びし尿処理の推進	47.3	3- 3ゴミの減量化及びし尿処理の推進	59.6
2	1-25観光の振興	39.4	3- 9消防・救急の充実	57.3
3	2- 6放課後児童健全育成の充実	35.4	3- 8防災・防犯対策の拡充	56.2
4	1-22茶業の振興	35.2	3-10交通安全の推進	55.7
5	2-17図書館の活用	33.1	2- 1長寿社会への対応（総合的対策の拡充）	54.6
6	3- 9消防・救急の充実	31.1	2- 3高齢者福祉サービスの充実	53.0
7	2-18幼稚園教育の充実	31.1	3-17下水道（汚水）の整備	51.8
8	1-17平和への貢献	30.4	2- 4子育て支援の充実	51.7
9	2-13国民健康保険の充実	30.0	2-19小・中学校教育の充実	51.7
10	2-12保健・医療の推進	29.7	1-15個人情報保護の推進	51.1
11	1-11地域コミュニティの育成	29.7	2- 5乳幼児保育対策の充実	51.0
12	3-16上水道の整備	29.3	2- 6放課後児童健全育成の充実	50.8
13	2- 1長寿社会への対応（総合的対策の拡充）	28.7	3-16上水道の整備	49.1
14	1-10広報・広聴活動の充実	28.6	2- 9障害者福祉の充実	48.3
15	1- 4行政サービスの充実と改善	28.1	1- 2広域行政の推進	46.8
16	2- 5乳幼児保育対策の充実	27.5	2-13国民健康保険の充実	46.2
17	2- 7ひとり親対策の充実	27.1	2-18幼稚園教育の充実	46.0
18	2- 3高齢者福祉サービスの充実	26.0	1-25観光の振興	45.9
19	2- 2生きがい対策の充実	25.4	2-12保健・医療の推進	44.9
20	1-26勤労者福祉の向上	25.0	3- 2環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進	44.6
21	2- 9障害者福祉の充実	25.0	3- 4自然環境の保全	44.2
22	2-19小・中学校教育の充実	24.2	3-18河川・下水道（雨水）の整備	42.8
23	2- 4子育て支援の充実	23.8	1-22茶業の振興	42.3
24	2-26文化財保護と伝統文化の継承	23.6	1-26勤労者福祉の向上	41.1
25	2-24市民文化の創造・発展	23.0	3- 1環境保全対策の強化	41.0
26	1-24工業の振興	23.0	1- 5計画的・効率的な行財政運営の確立	38.8
27	3-17下水道（汚水）の整備	22.9	1- 9情報公開・提供の推進	38.4
28	3- 2環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進	22.7	1- 1地方分権の推進	38.3
29	2-16生涯学習支援体制の充実	22.2	2- 7ひとり親対策の充実	38.3
30	3-18河川・下水道（雨水）の整備	21.3	1-23商業の振興	37.2
31	3- 5緑化の推進	21.0	2-14国民年金の充実	36.7
32	1- 2広域行政の推進	20.9	3-15道路の整備	36.5
33	3-15道路の整備	20.3	2-17図書館の活用	36.2
34	3-10交通安全の推進	20.1	1- 3行政改革の推進	36.2
35	3- 4自然環境の保全	20.1	2- 2生きがい対策の充実	36.1
36	1-20林業の振興	19.9	3-14公共交通機関の整備	34.4
37	1-19農業の振興	19.3	1-10広報・広聴活動の充実	33.9
38	3- 8防災・防犯対策の拡充	19.2	3- 5緑化の推進	33.8
39	1-18男女共同参画社会の促進	18.9	1-11地域コミュニティの育成	33.6
40	2-10低所得者福祉の充実	18.3	1-17平和への貢献	33.1

順位	これまでの施策に対する評価	(加重平均値)	今後の優先度	(加重平均値)
41	1-13平等社会の実現	18.1	3- 7都市景観の形成	32.9
42	1-23商業の振興	17.9	1- 4行政サービスの充実と改善	31.4
43	3-14公共交通機関の整備	17.7	1- 7組織機構の確立と職員の人材育成	30.1
44	2-14国民年金の充実	17.5	3-19公園・緑地の整備	29.4
45	1-15個人情報保護の推進	17.4	1-24工業の振興	29.2
46	3-19公園・緑地の整備	17.1	1-13平等社会の実現	29.2
47	2- 8地域福祉社会の構築	16.9	2-10低所得者福祉の充実	29.1
48	2-22スポーツ・レクリエーションの普及	16.5	1- 6行政の情報化の推進	28.8
49	3- 1環境保全対策の強化	16.3	2- 8地域福祉社会の構築	28.0
50	1-27消費生活の充実	16.3	2-21青少年の健全育成	27.6
51	2-15生涯学習推進体制の確立	16.2	1-19農業の振興	27.1
52	2-21青少年の健全育成	16.0	2-26文化財保護と伝統文化の継承	26.5
53	3-21斎場・墓地の整備	15.5	1- 8市民参加システムの確立	26.3
54	1- 6行政の情報化の推進	15.0	1-20林業の振興	26.0
55	3- 7都市景観の形成	14.7	3-11拠点地区の整備促進	25.6
56	2-25文化会館の活用	14.4	1-27消費生活の充実	25.5
57	1- 9情報公開・提供の推進	14.4	1-18男女共同参画社会の促進	23.4
58	1- 8市民参加システムの確立	14.3	3-13山間地の整備促進	22.9
59	2-27歴史資料館の活用	14.1	2-16生涯学習支援体制の充実	22.7
60	2-23総合野外活動センターの活用	13.4	3-12土地利用の規制・誘導	22.0
61	1-21漁業の振興	13.3	2-15生涯学習推進体制の確立	18.9
62	2-11健康づくりの推進	12.3	3- 6植物公園の活用	17.1
63	1- 3行政改革の推進	10.5	3-21斎場・墓地の整備	17.0
64	1-16国際化の推進	10.4	1-21漁業の振興	16.8
65	3-22地域情報化の推進	10.4	2-22スポーツ・レクリエーションの普及	16.7
66	3- 6植物公園の活用	10.3	2-11健康づくりの推進	16.6
67	2-20社会教育の促進	10.2	3-22地域情報化の推進	16.5
68	2-28源氏物語ミュージアムの活用	9.9	2-23総合野外活動センターの活用	15.7
69	3-13山間地の整備促進	9.6	3-20住宅の整備	15.4
70	1- 7組織機構の確立と職員の人材育成	9.3	2-20社会教育の促進	15.2
71	1- 5計画的・効率的な行財政運営の確立	9.0	2-24市民文化の創造・発展	14.6
72	3-11拠点地区の整備促進	8.0	2-25文化会館の活用	14.5
73	1-14同和対策の推進	7.8	2-27歴史資料館の活用	12.6
74	3-20住宅の整備	7.5	1-14同和対策の推進	12.1
75	1- 1地方分権の推進	4.4	1-16国際化の推進	7.9
76	3-12土地利用の規制・誘導	3.1	2-28源氏物語ミュージアムの活用	6.3
77	1-12広域交流活動の促進	-6.9	1-12広域交流活動の促進	-7.8

② 情報浸透度の評価

「これまでの施策に対する評価」に、○印が付けられていない回答は、「各施策について、市がどんなことをしているか」があまり理解できていないために、○印が付けられなかったものにとらえた。換言すれば、○印が付けられた回答は、市の施策が、ある程度市民に理解されているものと判断し、必要な情報が住民に伝わっているかどうかの一つの目安になるものと考えた。

その比率を、“情報浸透度”として、100%が「全ての市民に伝わっている」、0%が「全ての市民に伝わっていない」という基準で表すこととした。

2-2 調査結果

(1) 回答者の属性（問1～問8）

① 居住地

問1. あなたのお住まいの地域

- | | | | | | |
|---------------------------------------|---|---------------------------------|---------|---------|---------|
| 1. 六地蔵 | 2. 木幡① (熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山) | | | | |
| 3. 木幡② (木幡①以外) | 4. 平尾台 | 5. 五ヶ庄 | 6. 羽戸山 | 7. 菟道 | |
| 8. 明星町 | 9. 志津川 | 10. 炭山 | 11. 二尾 | 12. 池尾 | 13. 東笠取 |
| 14. 西笠取 | 15. 宇治① (半白、蔭山、御廟) | 16. 宇治② (乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸) | | | |
| 17. 宇治③ (宇治①、②以外) | 18. 琵琶台 | 19. 折居台 | 20. 天神台 | 21. 白川 | |
| 22. 神明① (石塚) | 23. 神明② (石塚以外) | 24. 羽拍子町 | 25. 南陵町 | 26. 槇島町 | |
| 27. 小倉町① (西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際) | 28. 小倉町② (小倉町①以外) | | | | |
| 29. 伊勢田町① (北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田) | 30. 伊勢田町② (伊勢田町①以外) | | | | |
| 31. 安田町 | 32. 開町 | 33. 大久保町 | 34. 広野町 | 35. 寺山台 | |

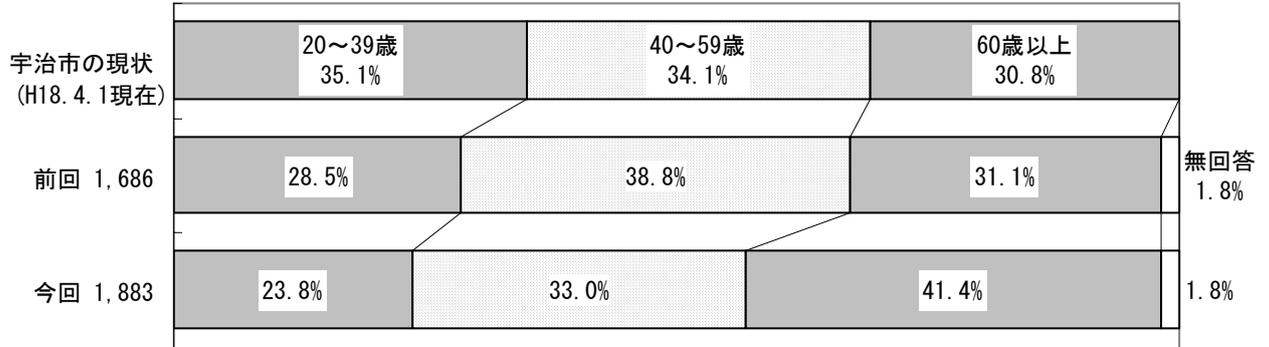
- ・ 回答者の居住地は、前回調査（1999年(平成11年)2月実施）と、今回調査の回答数の多い順位を比較すると次のように、若干、回答数の多い地域が異なっている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
前回調査	伊勢田町	宇治③	五ヶ庄	広野町	木幡①	小倉町①
今回調査	広野町	宇治③	木幡②	伊勢田町(①、②)、五ヶ庄		木幡①

各地区の回収数					地域別の集計区分での回収数			
地区名	調査票1	調査票2	調査票3	合計	地域名	調査票1	調査票2	調査票3
六地蔵	10	12	11	33	地域A	72	64	66
木幡②	58	50	50	158				
平尾台	4	2	5	11				
木幡①	43	43	57	143	地域B	43	43	57
五ヶ庄	54	52	48	154	地域C	54	52	48
菟道	35	31	34	100	地域D	54	61	58
明星町	7	12	10	29				
羽戸山	7	13	8	28				
宇治②	5	5	6	16				
宇治③	50	53	56	159	地域E	67	72	74
琵琶台	5	5	9	19				
天神台	4	4	3	11				
折居台	8	10	6	24				
槇島町	32	42	30	104				
小倉町①	41	49	42	132	地域F	32	42	30
宇治①	12	21	24	57	地域G	41	49	42
小倉町②	27	31	27	85	地域H	49	65	66
南陵町	10	13	15	38				
伊勢田町①	15	21	17	53				
伊勢田町②	33	33	35	101	地域I	48	54	53
安田町	0	0	1	1				

年 齢

- 回答者の年齢は、60歳以上、40～59歳、20～39歳の順になっており、前回調査よりも回答者の高齢化が伺える。現状の年齢別構成比とは、60歳以上が約11ポイント多く、20～39歳が約11ポイント少ない結果となった。

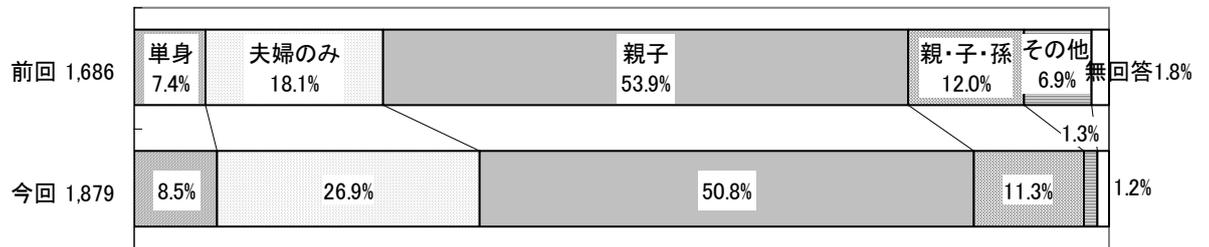


③ 家族構成

問3. あなたの家族構成

1. 単身
2. 夫婦のみ
3. 親子
4. 親・子・孫
5. その他（具体的に）

- 回答者の家族構成の多い順番は前回調査と同様であるが、前回調査よりも“夫婦のみ”、“単身”の割合が増加している。

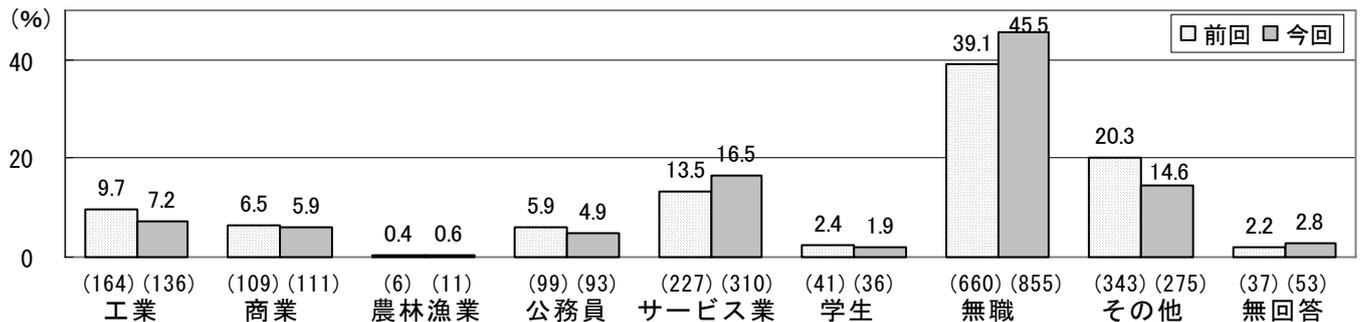


④ 職業

問4. あなたの職業分野

1. 工業
2. 商業
3. 農林漁業
4. 公務員
5. サービス業
6. 学生
7. 無職
8. その他（具体的に）

- 回答者の職業は、全体的な割合の状況は前回調査と同様であるが、“無職”、“サービス業”が増加している。



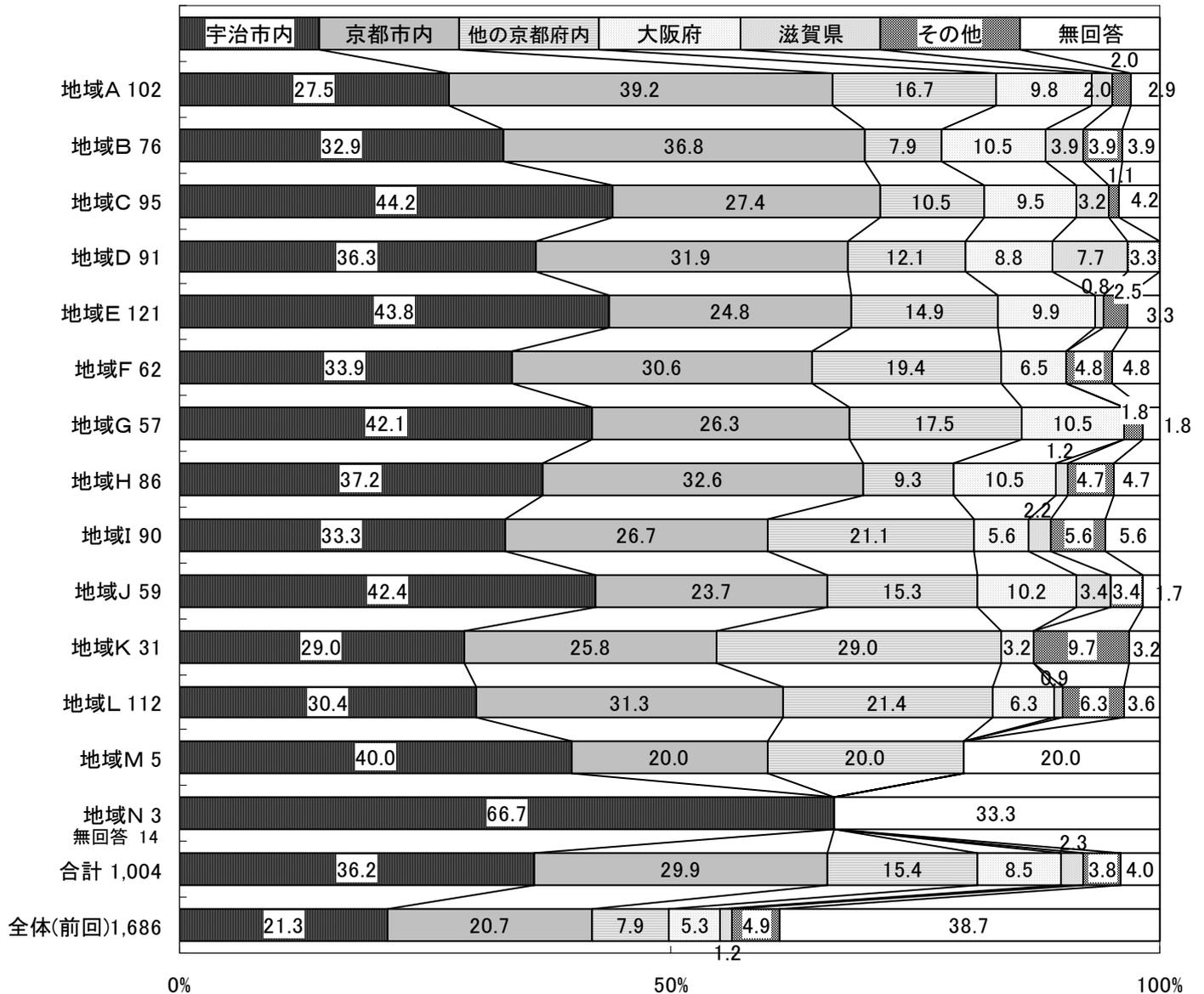
*: () は、前回、今回の回答

⑤ 通勤・通学地

問5. あなたの通勤・通学地

1. 宇治市内 2. 京都市内 3. 宇治市・京都市以外の京都府内
 4. 大阪府 5. 滋賀県 6. その他（具体的に）

- ・ 回答者の通勤・通学地は、前回調査と同様に“宇治市内”、“京都市内”、“他の京都府内”の順に多い。
- ・ 地域別では、“宇治市内”へは地域C、E、G、J、N、“京都市内”へは地域A、B、D、H、“他の京都府内”へは地域I、K、Lからの通勤・通学が相対的に多い。



*: 問5～7の回答数には、問4（7.無職）を含めていない。

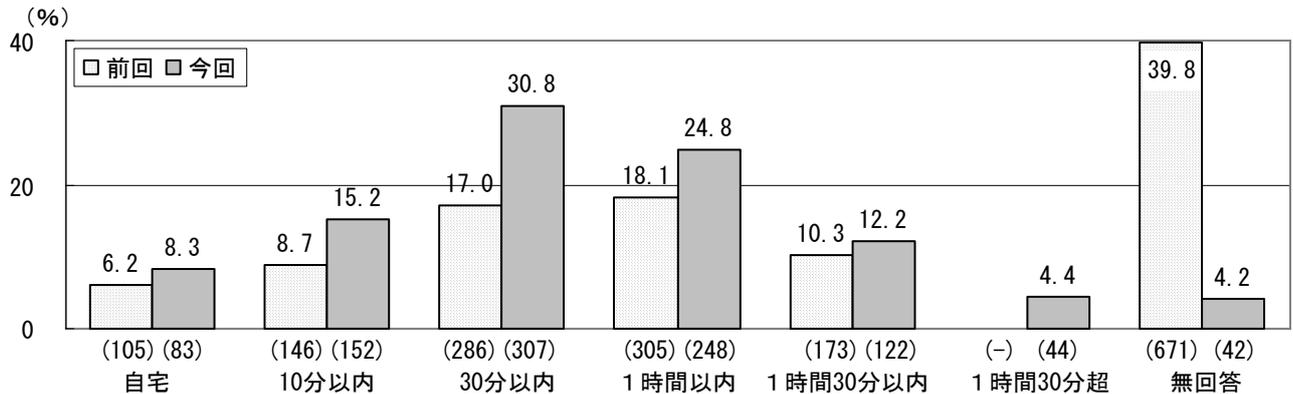
- | | |
|---|----------------------|
| 地域A：六地蔵、木幡②（木幡①以外）、平尾台 | 地域C：五ヶ庄 |
| 地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、 | 地域F：槇島町 |
| 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸） | 地域I：伊勢田町、安田町 |
| 地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台 | 地域L：広野町、寺山台 |
| 地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際） | 地域K：大久保町、 |
| 地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、 | 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾 |
| 地域J：神明、開町、羽拍子町、 | |
| 地域M：白川、志津川、 | |

⑥ 通勤・通学時間

問6. あなたの通勤・通学時間

- | | | |
|----------|-------------|------------|
| 1. 自宅 | 2. 10分以内 | 3. 30分以内 |
| 4. 1時間以内 | 5. 1時間30分以内 | 6. 1時間30分超 |

・ 回答者の通勤・通学時間は、“30分以内”が30.8%となっており、前回調査と比べて短縮化傾向にある。



*: () は、前回、今回の回答数

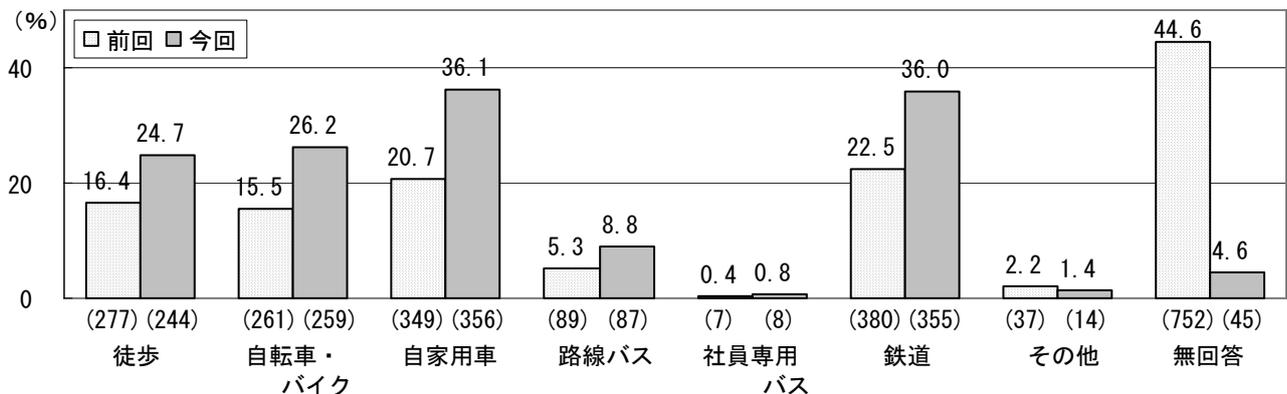
⑦ 通勤・通学手段

問7. あなたの主な通勤・通学手段（利用しているもの、すべてに○印をつけてください。）

- | | | | |
|-----------|------------|-------------|---------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車・バイク | 3. 自家用車 | 4. 路線バス |
| 5. 社員専用バス | 6. 鉄道 | 7. その他（具体的に |) |

複数回答の算出方法：回答比率（%）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

・ 回答者の通勤・通学手段は、全体的に回答比率は高くなっており、前回調査とほぼ同様の傾向が見られる。



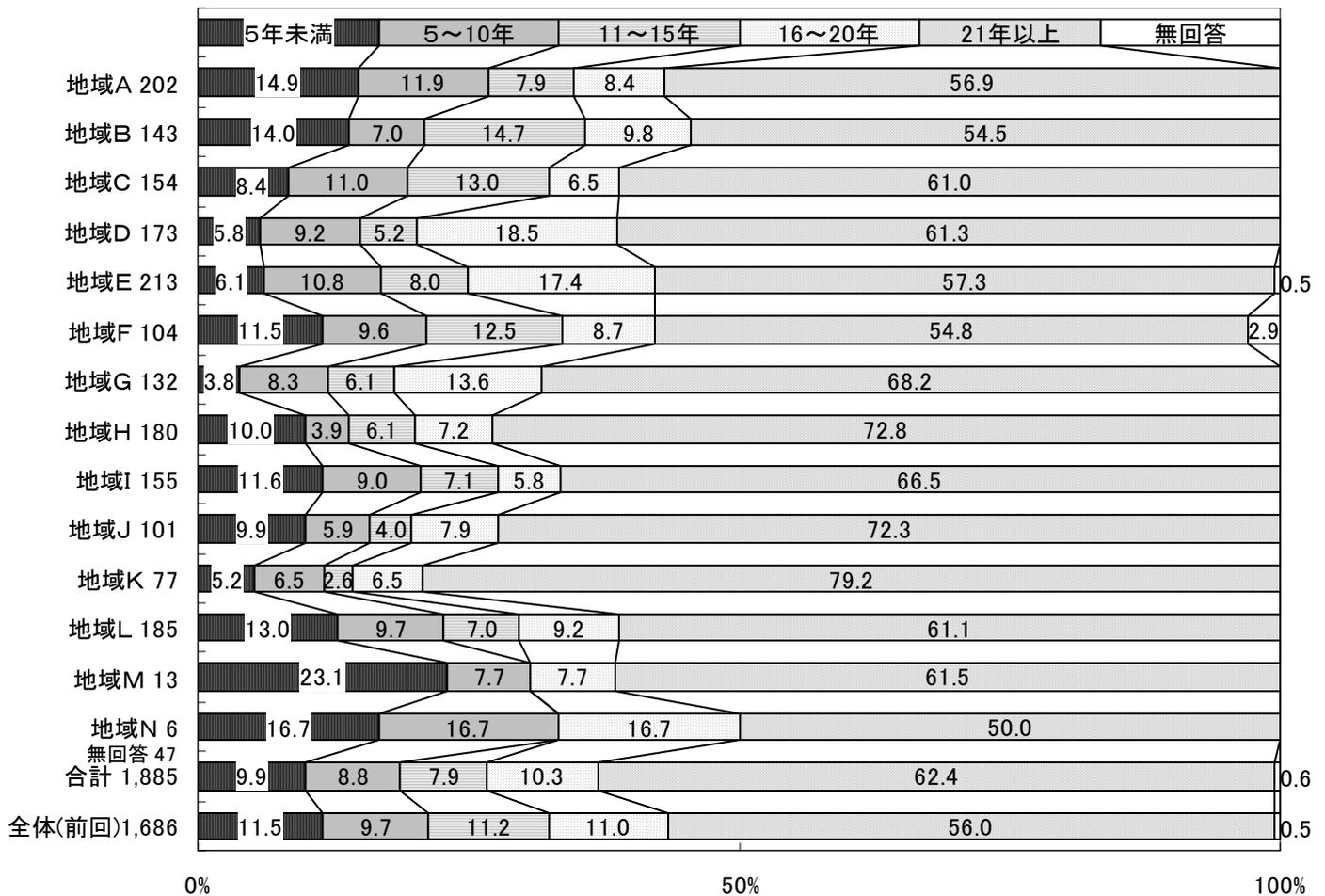
*: () は、前回、今回の回答数

⑧ 居住年数

問8. あなたが宇治市にお住まいになってから何年になりますか。

1. 5年未満 2. 5～10年 3. 11～15年 4. 16～20年 5. 21年以上

- ・ 回答者の居住年数は、“21年以上”が6割を越えており、前回調査時よりも6.4ポイント増加している。
- ・ 地域別では、“21年以上”は地域G、H、I、J、Kで、“5年未満”では地域A、B、L、M、Nで多くなっている。



地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台
 地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸）
 地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台、
 地域F：槇島町
 地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、
 地域I：伊勢田町、安田町
 地域J：神明、開町、羽拍子町、
 地域K：大久保町、
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川、
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

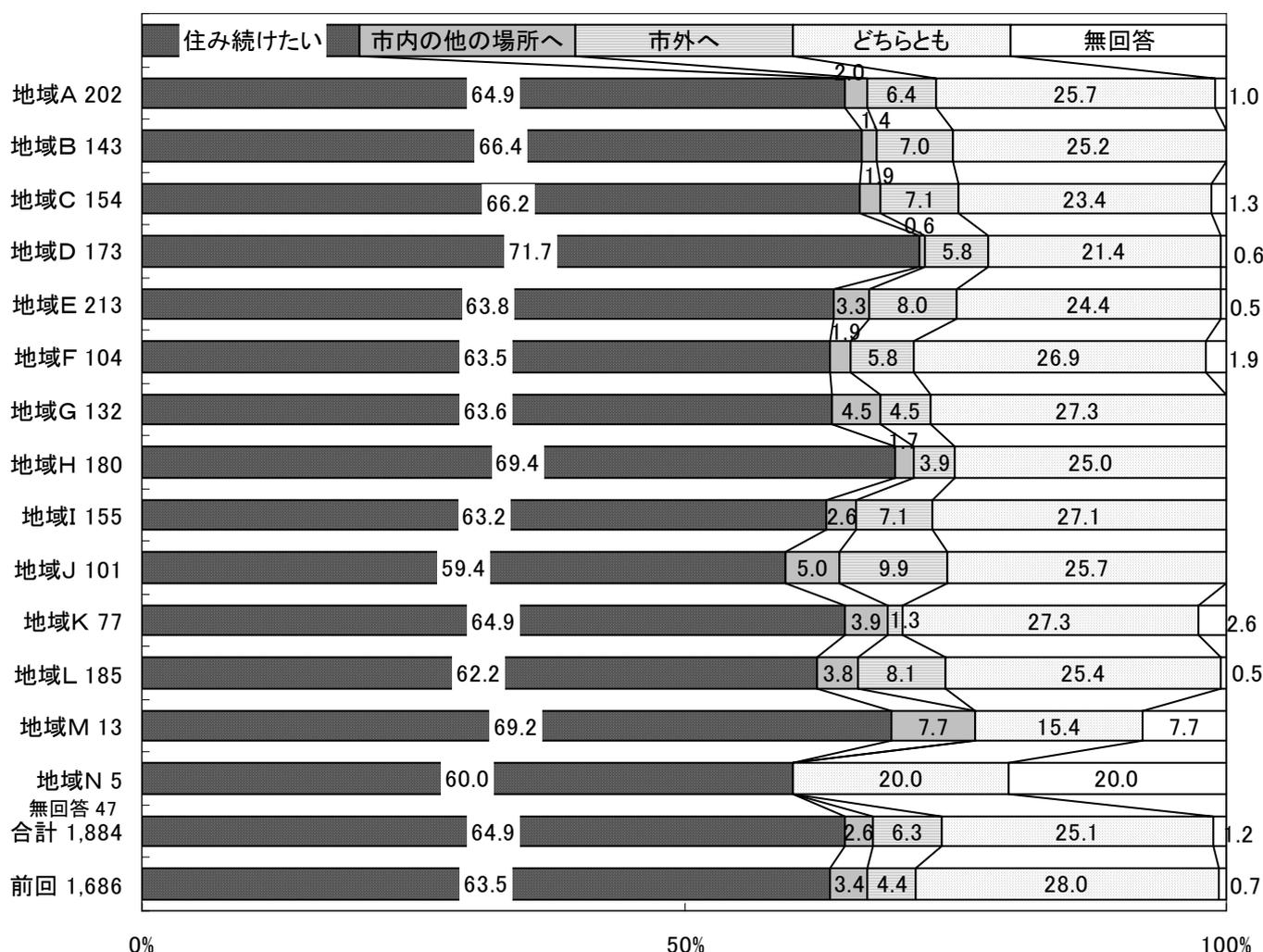
(2) 宇治市への定住意向等（問9～問10）

① 定住意向

問9. あなたは、これからも宇治市に住み続けたいと思いますか。

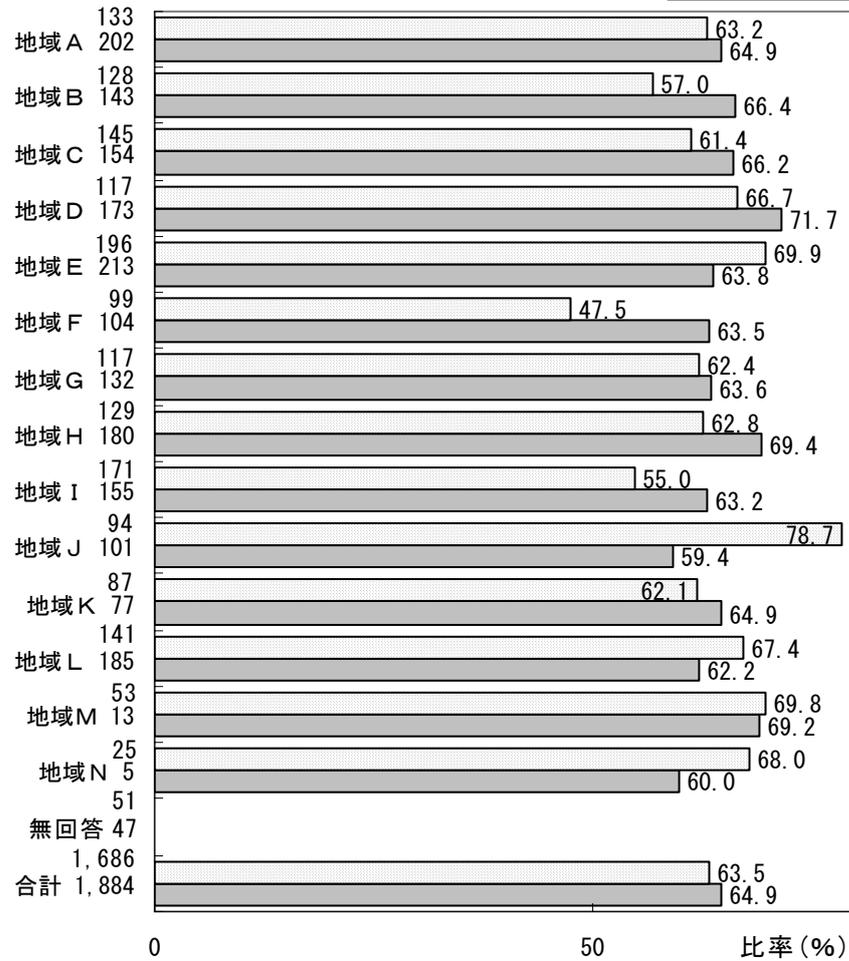
1. 住み続けたい 2. 市内の他の場所へ移りたい 3. 市外に移りたい
4. どちらともいえない

- ・ 市民全体では、前回調査と比べて“住み続けたい”が1.4ポイント、“市外へ”が1.9ポイント増加している。
- ・ 地域別では、“住み続けたい”の回答率が前回調査よりも増加した地域が14地域中9地域となり、全体として6割を超える状況となっている。

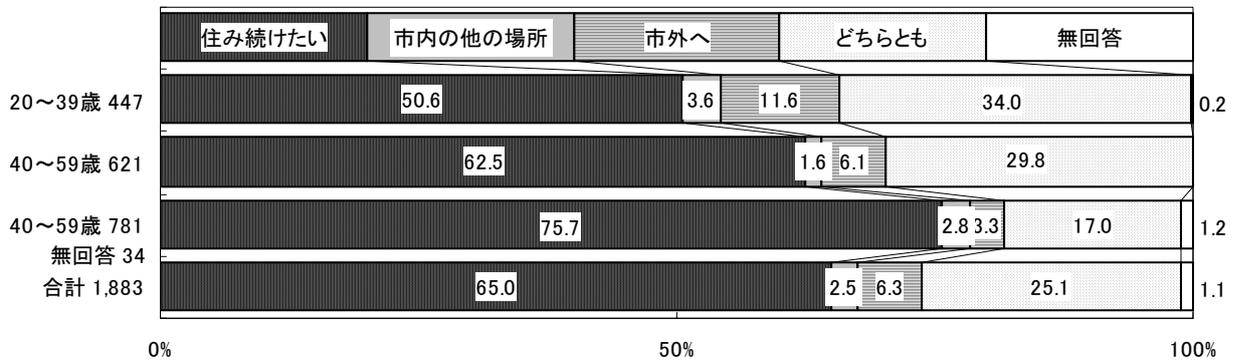


- 地域A：六地蔵、木幡②（木幡①以外）、平尾台
 地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
 地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台
 地域F：槇島町
 地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、
 地域I：伊勢田町、安田町
 地域J：神明、開町、羽拍子町、
 地域K：大久保町、
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川、
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

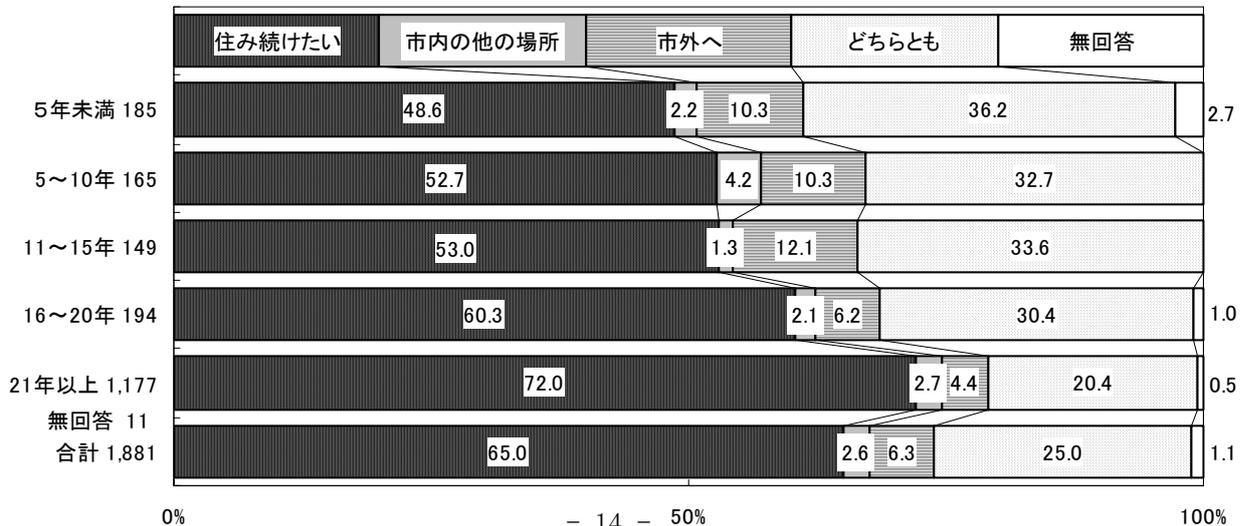
[これからも“住みたい”の回答の前回比較] □今回 □前回



・ 年齢別では、年齢が高くなるほど“住みたい”が増加している。



・ 居住年数別では、居住年数が長くなるほど“住みたい”が増加し、“市外へ”が減少する傾向が伺える。



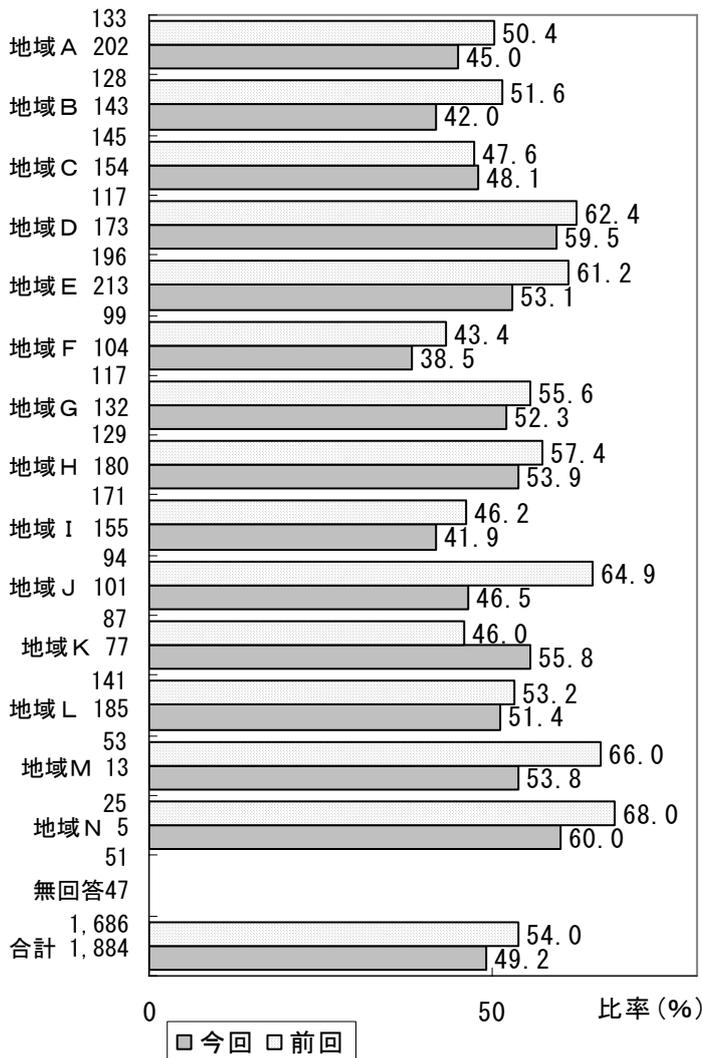
② 宇治市への愛着

問 10. あなたは、宇治市にふるさととしての愛着や誇りを持っていますか。

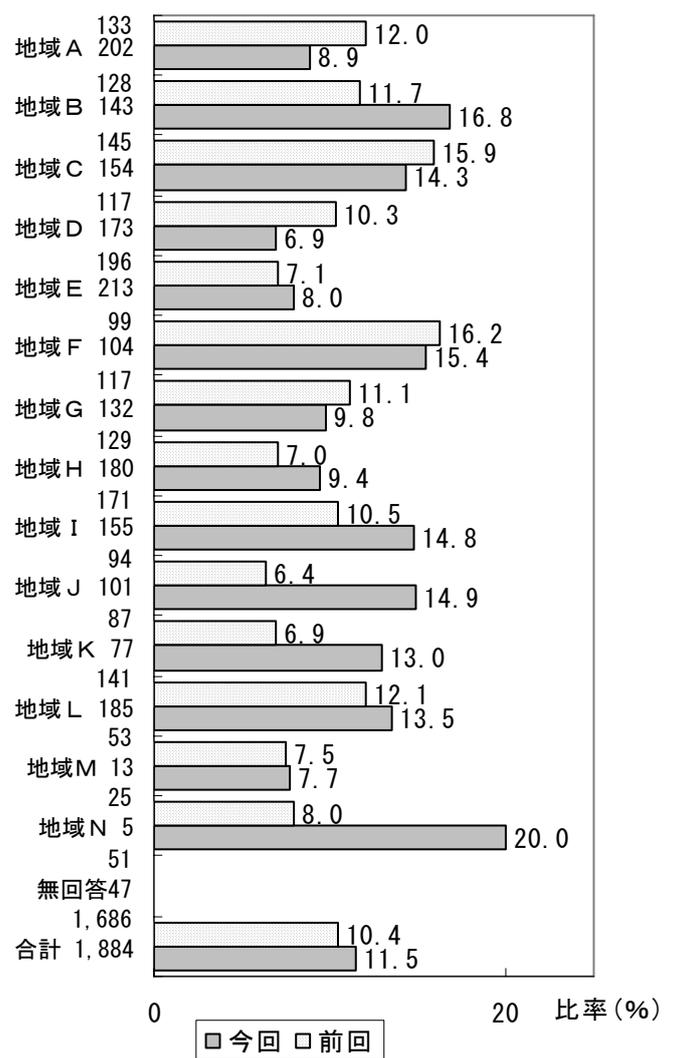
1. 持っている 2. 持っていない 3. どちらともいえない

- ・ 市民全体では、愛着を“持っている”が約半数を占めているが、前回調査として4.8ポイント減少している。
- ・ 地域別でも、地域C、Kを除くと、市全体と同様に“持っている”が減少傾向にあり、地域A、C、D、F、Gを除くと、“持っていない”が増加傾向にある。

[愛着を“持っている”の回答]

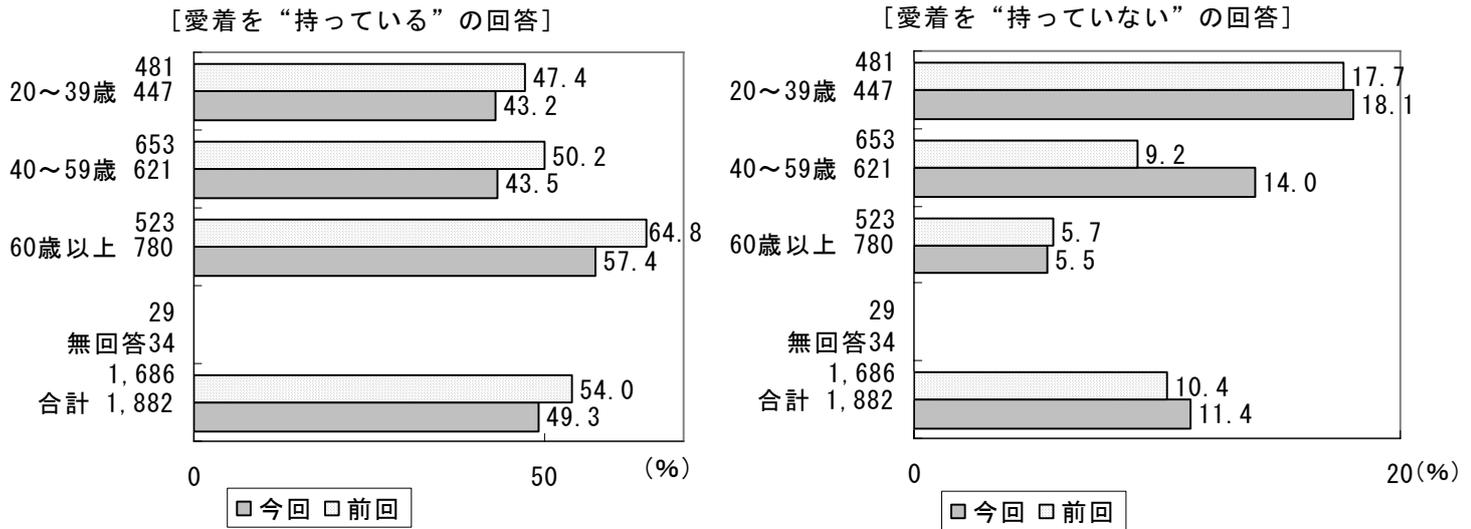


[愛着を“持っていない”の回答]

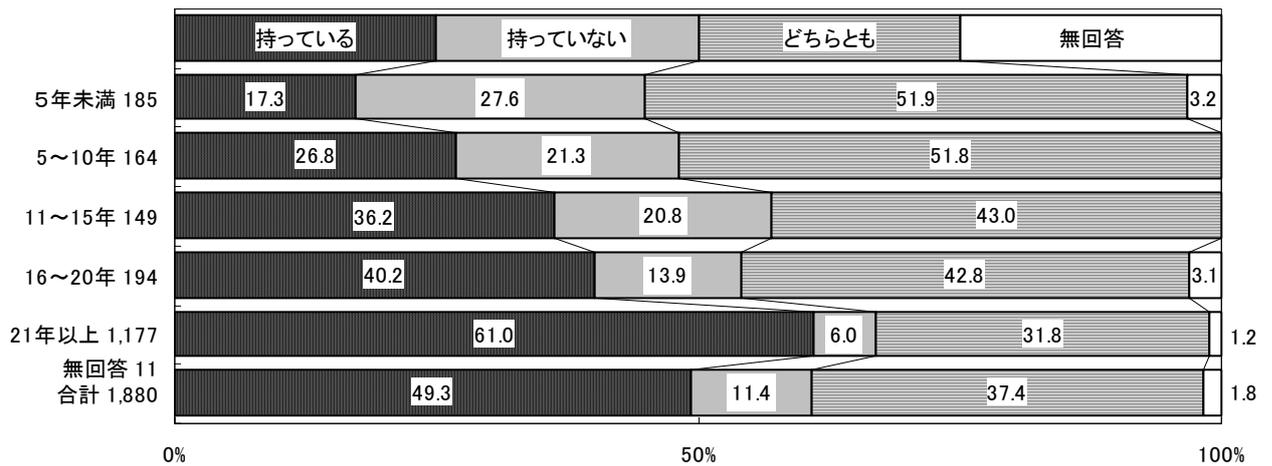


地域 A : 六地藏、木幡② (木幡①以外)、平尾台
 地域 B : 木幡①(熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山)、
 地域 C : 五ヶ庄
 地域 D : 菟道、明星町、羽戸山、宇治②(乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸)
 地域 E : 宇治③(宇治①、②以外)、琵琶台、天神台、折居台
 地域 F : 槇島町
 地域 G : 小倉町①(西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際)
 地域 H : 宇治①(半白、蔭山、御廟)、小倉町②(小倉町①以外)、南陵町、
 地域 I : 伊勢田町、安田町
 地域 J : 神明、開町、羽拍子町、
 地域 K : 大久保町、
 地域 L : 広野町、寺山台
 地域 M : 白川、志津川、
 地域 N : 炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

- ・ 年齢別では、全年代で、市全体と同様の傾向がある。



- ・ 居住年数別では、居住年数が長くなるほど“持っている”が増加し、“持っていない”、“どちらとも”が減少する傾向がある。



(3) 団塊の世代の意向

① 不安な点

問 11. この設問は、現在、50～59 歳の方に質問します。該当されない方は、問 12 へお進みください。

「団塊の世代」とも称される人々のうち、全国で約 300 万人の労働者が今後定年退職期を迎えていきます。

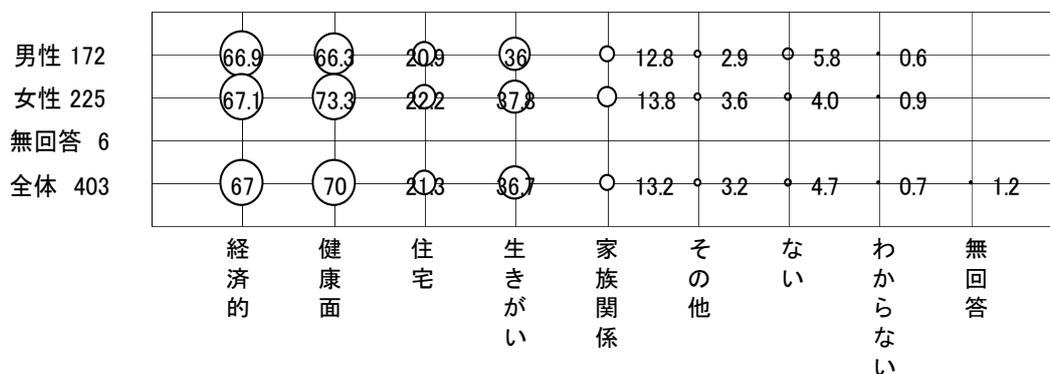
以下の質問は、お勤めの方や自営の方は定年退職後や引退後、それ以外の方はおおむね 60 歳台に入ってからのご過ごし方や生き方についてお聞きします。

(1) あなたはこれからの生活で、どういった不安を感じておられるでしょうか。次の中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

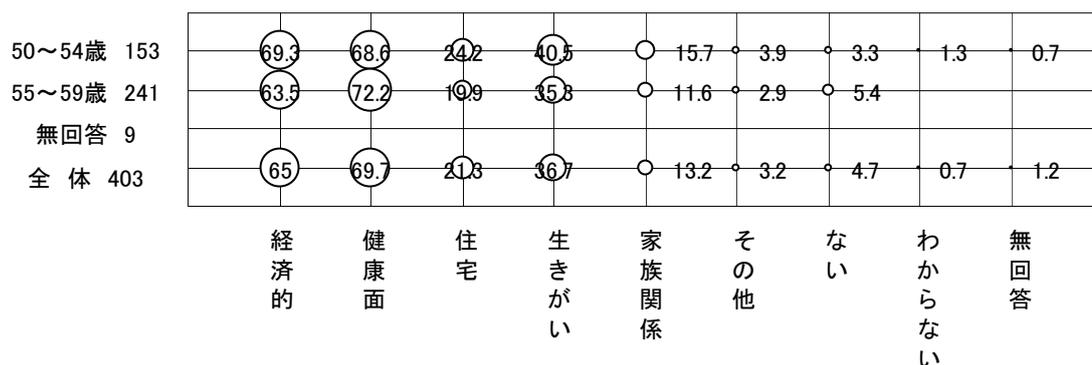
- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 日常生活における経済的不安 | 2. 健康面での不安 |
| 3. 居住する住宅の不安 | 4. 精神的な張りや生きがいに対する不安 |
| 5. 家族関係の不安 | 6. その他 () |
| 7. 不安はない | 8. わからない |

複数回答の算出方法：回答比率（％）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

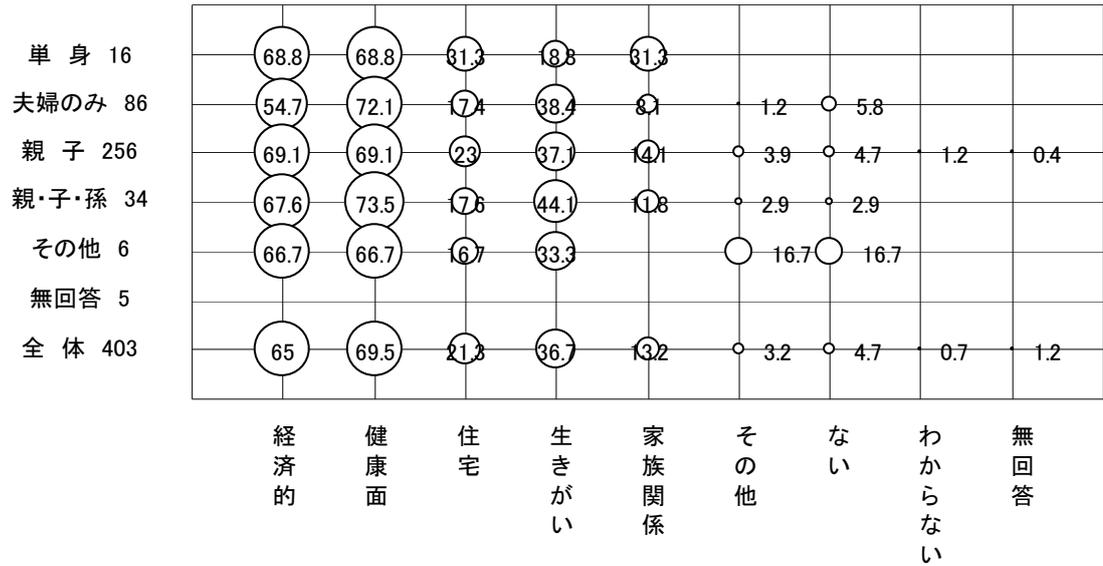
- ・ 市民全体では、“健康面”、“経済的不安”が約7割を占め、“生きがい”、“住宅”に対する不安がこれらに続いている。
- ・ 性別では、大きな差異は見られないが、女性の方が各項目で不安と答えた人が若干多くなっている。



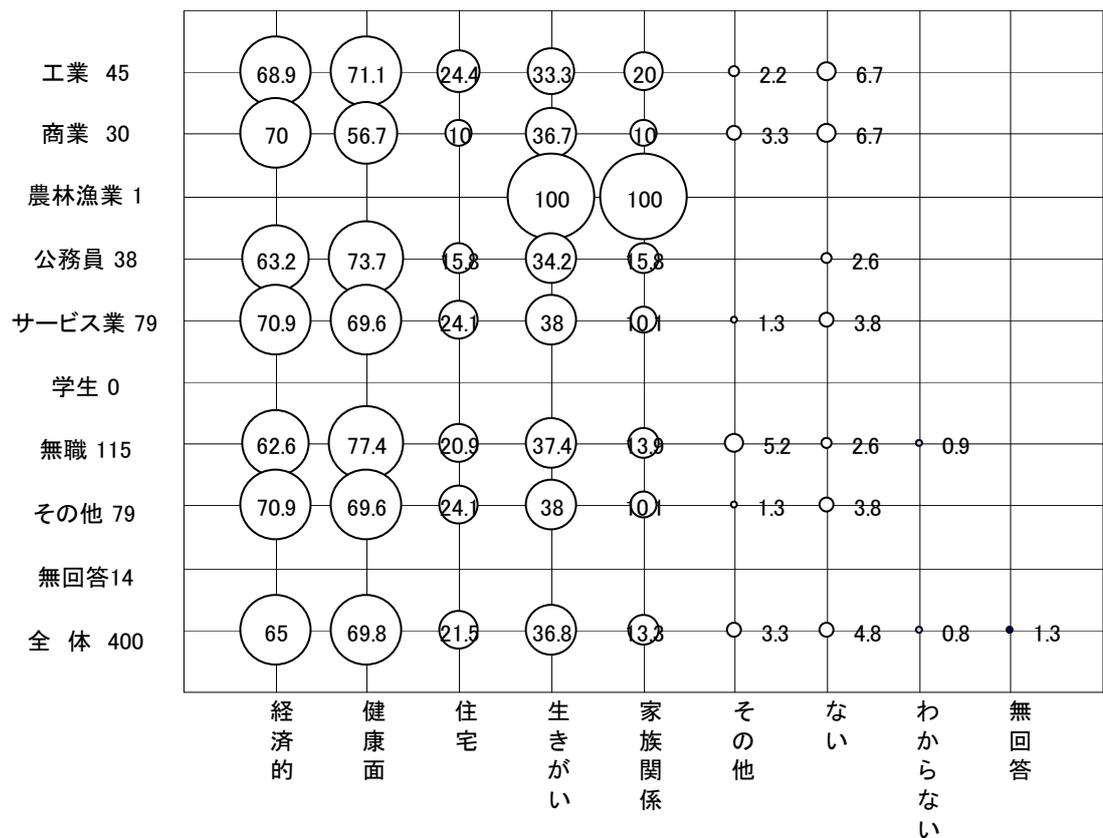
- ・ 年齢別でも、大きな差異は見られないが、50歳前半の人の方が各項目で不安と答えた人が若干多くなっている。



- ・ 家族構成別では、回答の多い順は市民全体と同様の傾向がある。



- ・ 職業別では、対象者が1人の農林漁業を除くと、工業と公務員で“家族関係”が若干多く、商業と公務員で“住宅”が若干少ない程度であり、回答の傾向に大きな差異は見られない。



② これからの生活の中での関心

(2) これからの生活で変化が見込まれますが、どのようなことに関心をお持ちですか。次の中から、あてはまるもの3つまでに○印をつけてください。

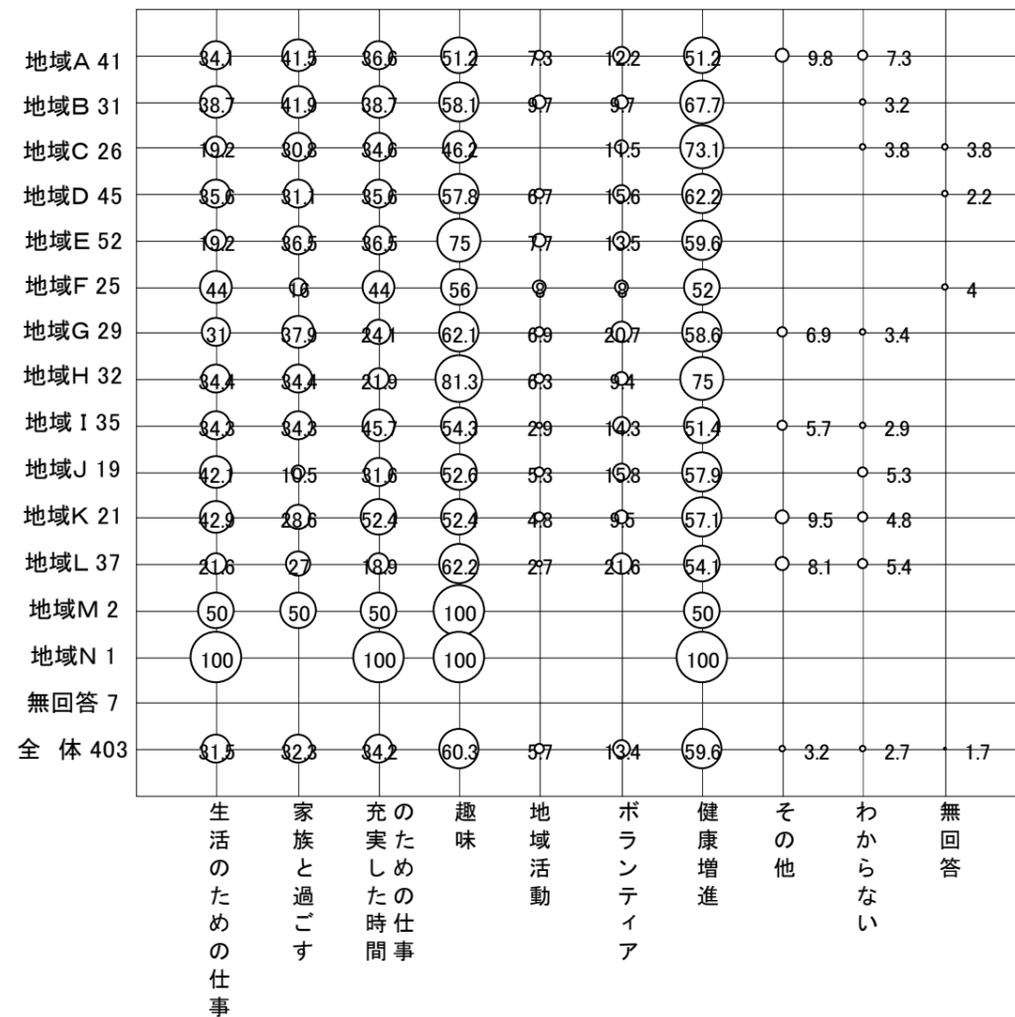
1. 生活のために仕事をする（探す）こと
2. 家族と過ごすこと
3. 充実した時間を過ごすため仕事をする（探す）こと
4. 趣味を楽しむこと
5. 地域活動（自治会・町内会活動など）
6. ボランティア活動
7. 健康増進・体力づくり
8. その他（ ）
9. わからない

複数回答の算出方法：回答比率（％）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

- ・ 市民全体では、“趣味”、“健康増進”が約6割、次いで“充実した時間”、“家族と”、“生活のため”が3割台で続き、“ボランティア”は13.4%、“地域活動”は5.7%と低くなっている。
- ・ 地域別では、いずれの地域においても“趣味”または“健康増進”が第1位を占め、次のような状況となっている。（回答者数が少ない地域M、Nは除いている）

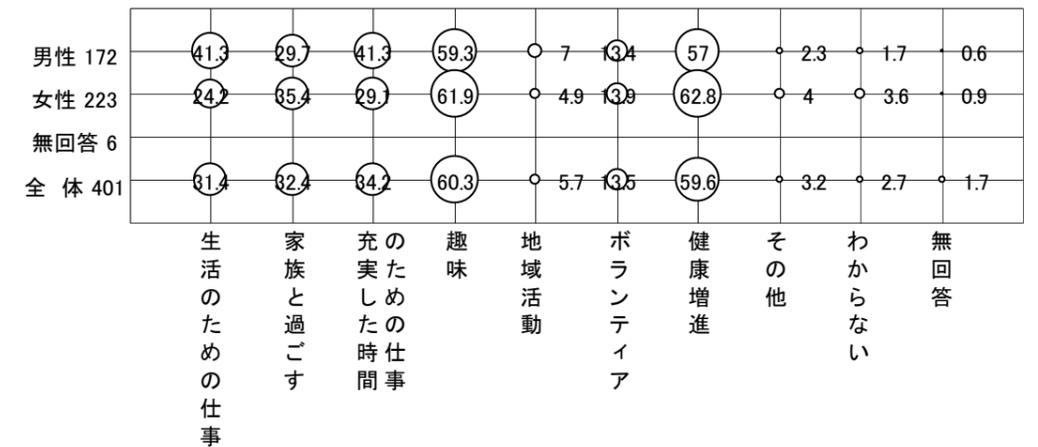
“趣味”を第1位としている地域：地域A、E、F、G、H、I、L
 “健康増進”を第1位としている地域：地域A、B、C、D、J、K

- ・ “ボランティア”、“地域活動”とする回答は、地域別での大きな差異はみられない。

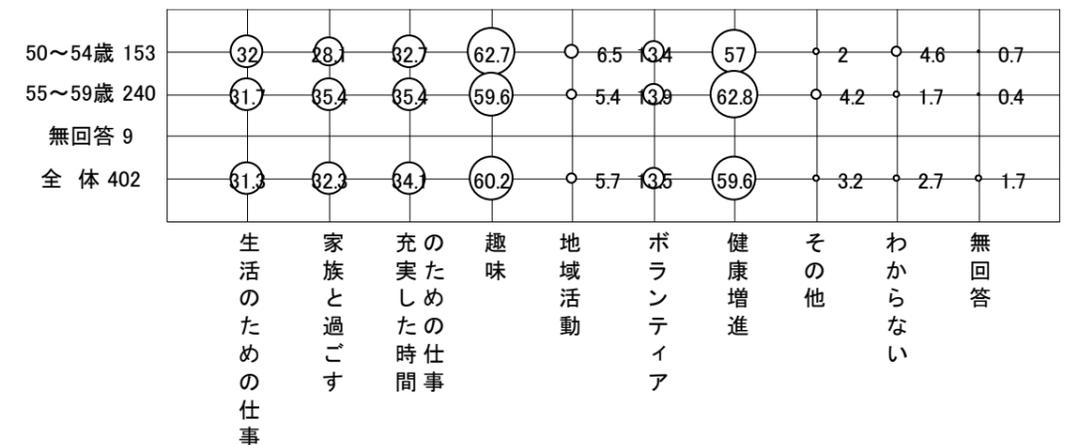


地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台
 地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸）
 地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台
 地域F：榎島町
 地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、
 地域I：伊勢田町、安田町
 地域J：神明、開町、羽拍子町、
 地域K：大久保町、
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川、
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

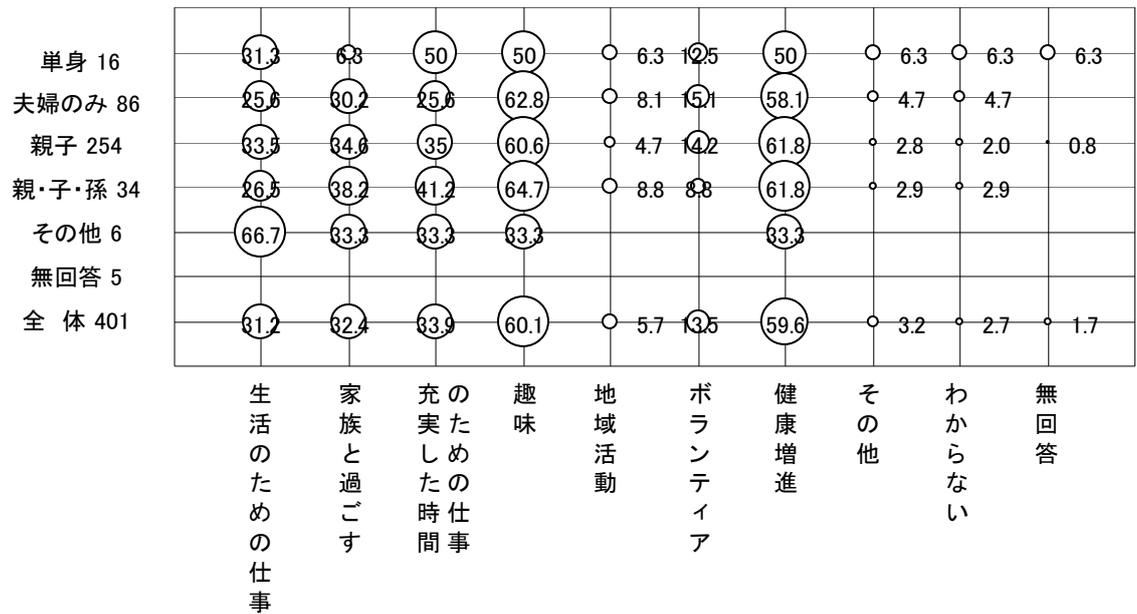
- ・ 性別では、回答の多い順は市民全体と同様の傾向にあるが、相対的に男性は“生活のため”、“充実した時間”等の仕事に関するもの、女性は“家族と過ごす”が若干多い。



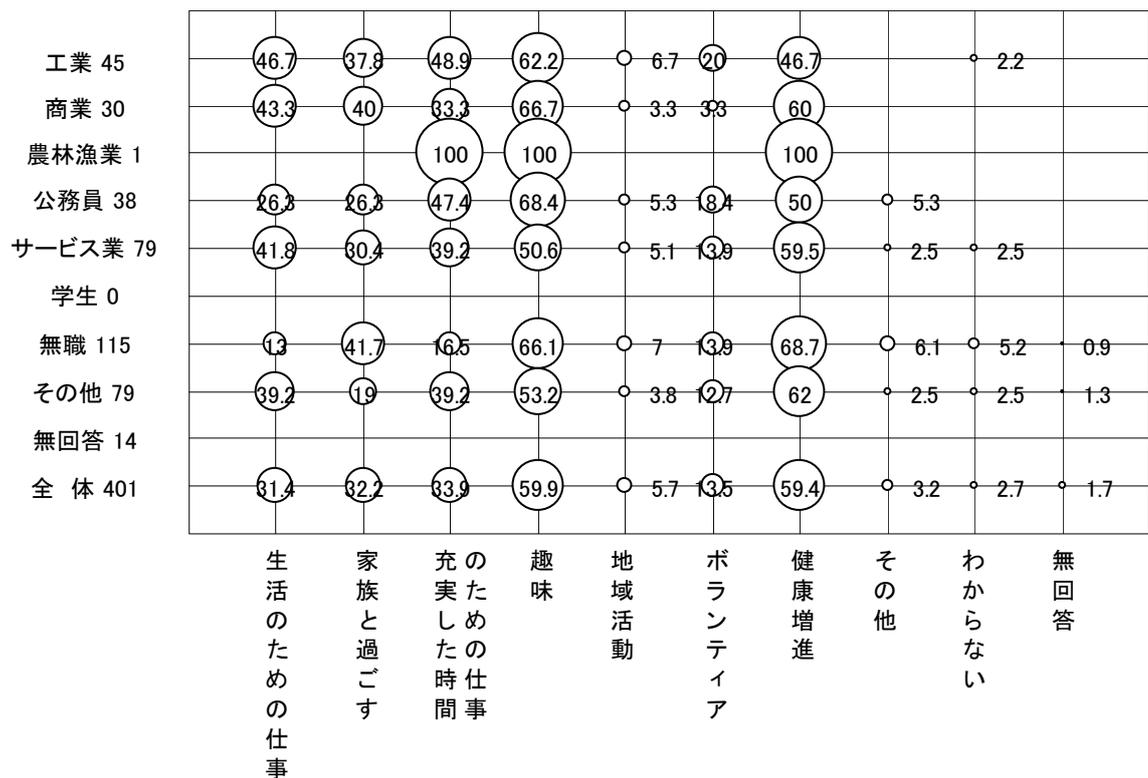
- ・ 年齢別では、回答の多い順は市民全体と同様の傾向にあるが、50代前半は“趣味”、50代後半は“健康増進”を第1位にあげている。“地域活動”、“ボランティア”では、この分類でも大きな違いはみられない。



- ・ 家族構成別では、回答の多い順は市民全体と同様の傾向にあるが、単身者では“家族と過ごす”が少なく、“充実した時間のための仕事”が多くなっている。



- ・ 職業別では、顕著な特徴はみられない。



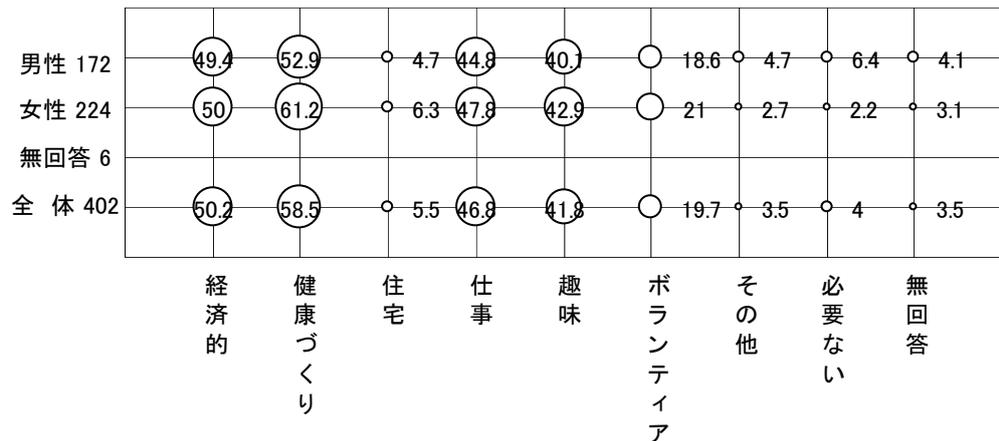
③ 行政に望む支援方策

(3) 団塊の世代の方々が退職期を迎えるにあたって、行政として何を支援すべきだと思いますか。次の中から、あてはまるもの3つまでに○印をつけてください。

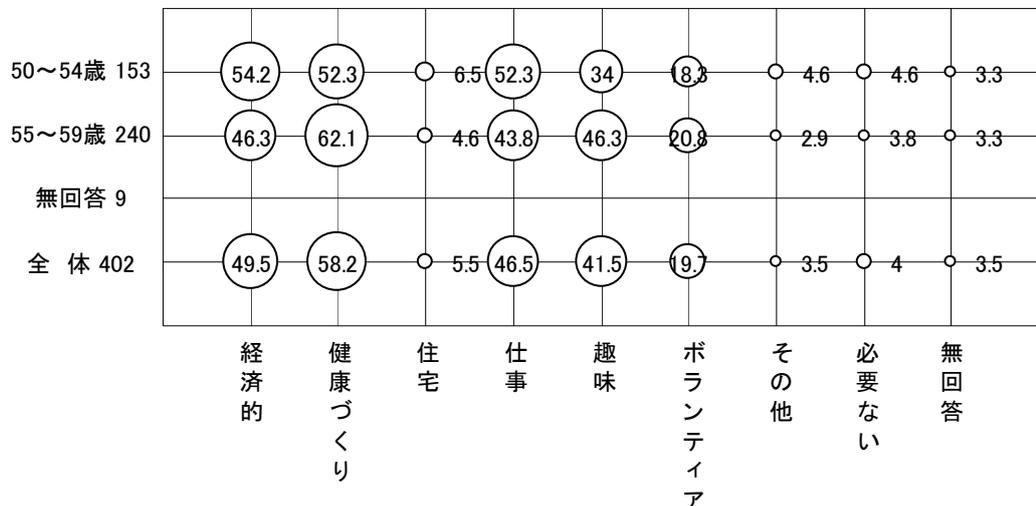
- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 生活のための経済的支援 | 2. 健康づくりの支援 |
| 3. 住宅のあっせん | 4. 仕事のあっせん |
| 5. 趣味を生かせる活動支援 | 6. ボランティア活動の支援 |
| 7. その他 () | 8. 支援は必要でない |

複数回答の算出方法：回答比率（％）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

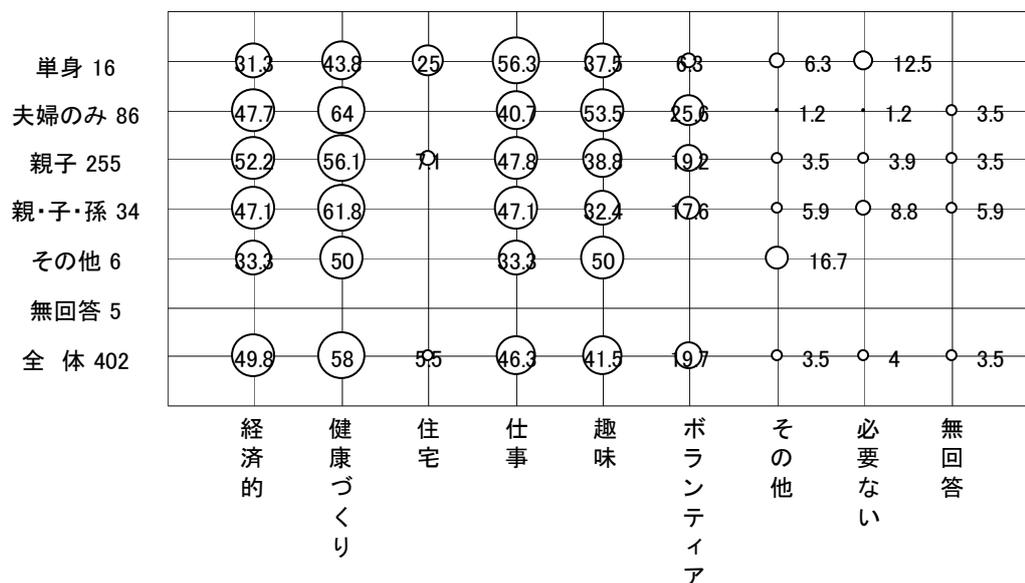
- ・ 市民全体では、“健康づくり”、“経済的”、“仕事”、“趣味”への支援に対する指摘が多く、“ボランティア”はその半分、“住宅”への指摘は非常に少ない結果となっている。“必要ない”は4.0%にすぎない。
- ・ 性別では、ほぼ同様な回答傾向にあるが、女性の方が“健康づくり”を指摘する人が若干多い。



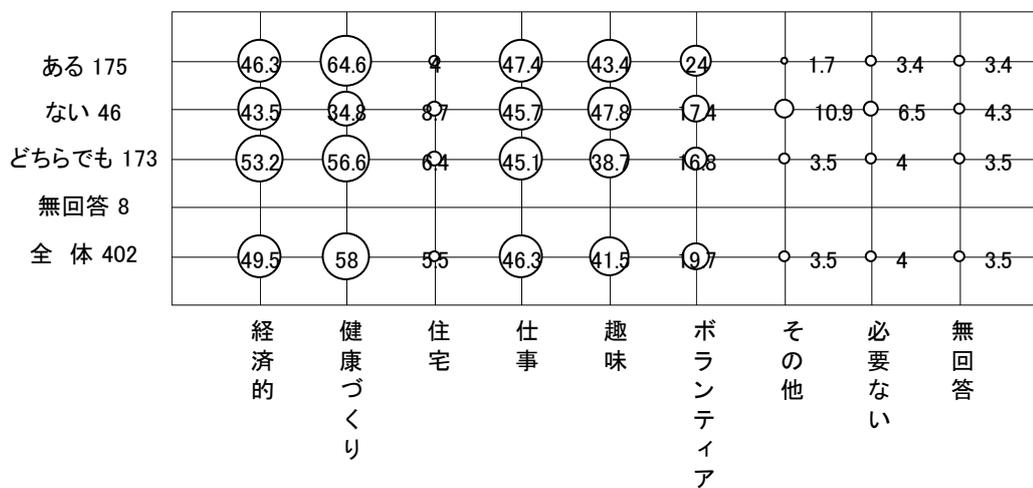
- ・ 年齢別では、50代前半は“経済的”、“仕事” 50代後半は“健康づくり”、“趣味”を指摘する人が若干多い。



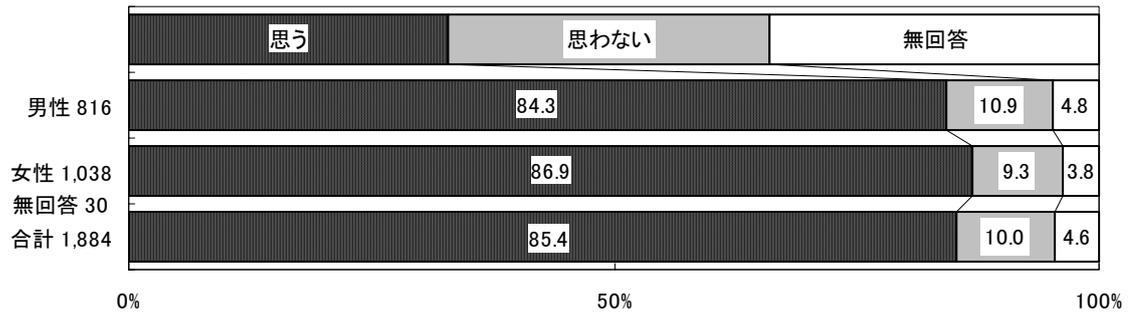
- ・ 家族構成別では、単身は“仕事”、夫婦のみは“健康づくり”と“趣味”、親子は“健康づくり”と“経済的”、親・子・孫は“健康づくり”を指摘する人が若干多い。



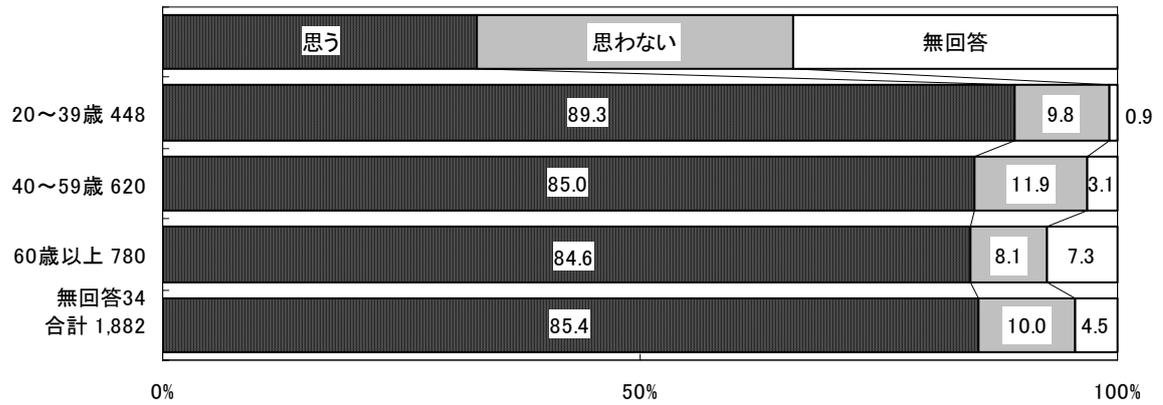
- ・ 宇治市への愛着度別では、「ある」とする人の方が“ボランティア”への支援を指摘する人が若干多い。



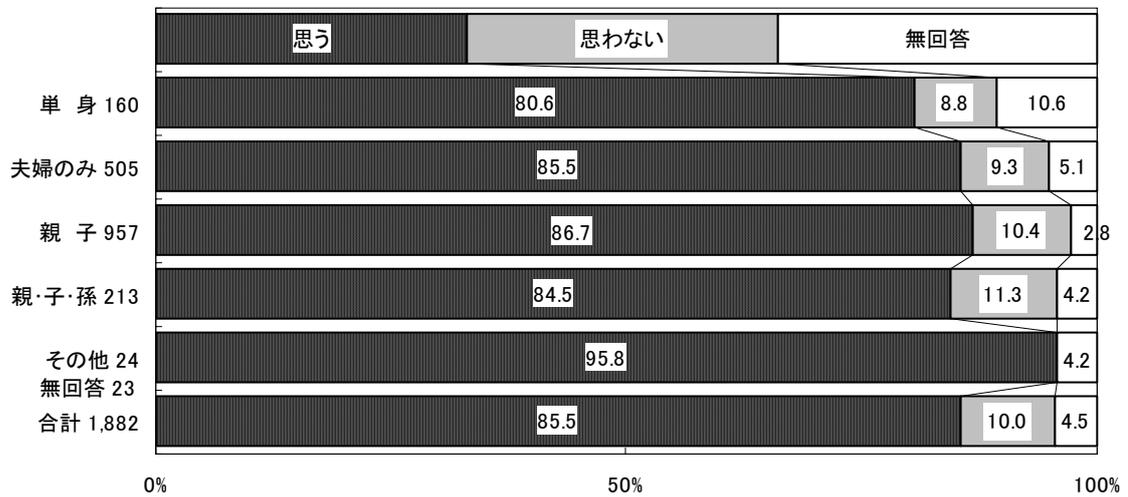
- 性別では、大きな差異は見られない。



- 年齢別でも、大きな差異は見られない。



- 家族構成別でも、大きな差異はないが、単身で“思う”が若干少なくなっている。



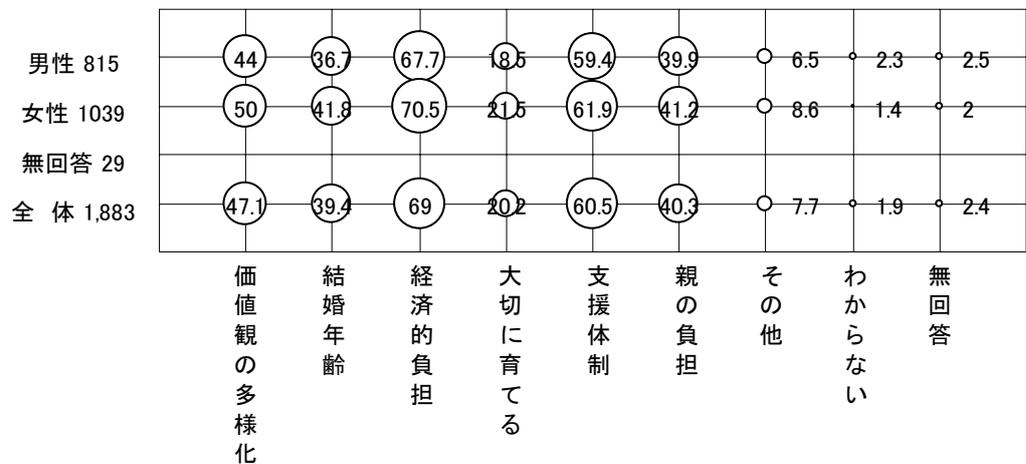
② 出生率の低下の理由

(2) なぜ出生率が低下していると思いますか。次の中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

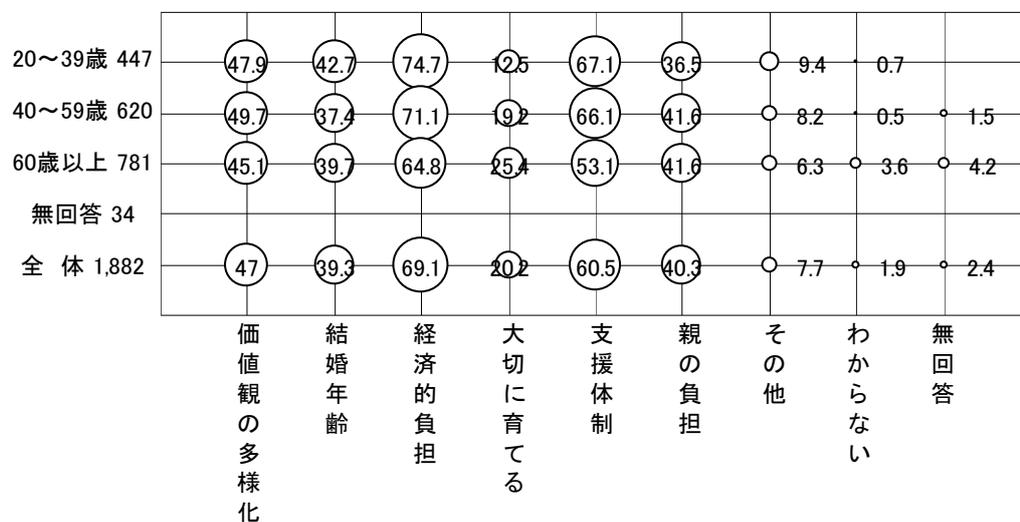
1. 男女ともに「子育て」以外に生きがいや価値を見出す人が増えたから
2. 結婚年齢が高くなったから
3. 出産・子育ては経済的負担が大きいから
4. 子どもを少なく産んで、大切に育てようとする人が増えたから
5. 労働環境等を含めて、仕事と子育てを両立できる支援体制が整っていないから
6. 核家族化が進行し、子育てによる親の負担が増えたから
7. その他 ()
8. わからない

複数回答の算出方法：回答比率（％）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

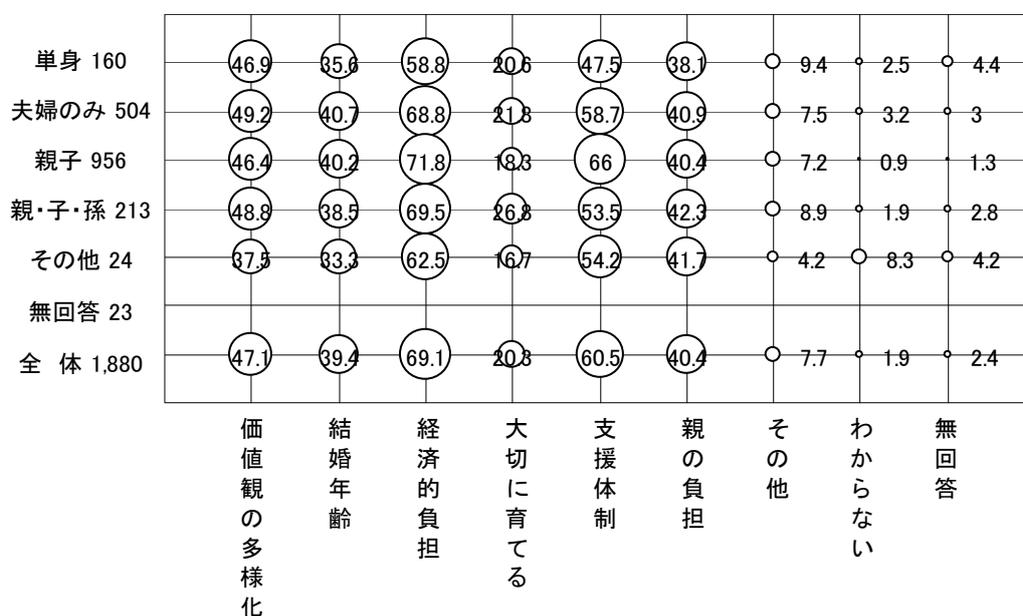
- ・ 市民全体では、“経済的負担”、“支援体制の不備”が6割を越え、次いで“価値観の多様化”、“親の負担”、“結婚年齢”と続いている。
- ・ 性別では、女性の方がいずれの回答もポイントが若干多くなっている。



- 年齢別に相関した大きな特徴はみられないが、年齢階層が高くなるほど、“経済的負担”、“親の負担”はやや減少し、“大切に育てる”が増加し、若干の世代間の認識の違いが見られる。



- 家族構成別に相関した大きな特徴はみられないが、単身で“支援体制の不備”、“経済的負担”の指摘が若干少ない。



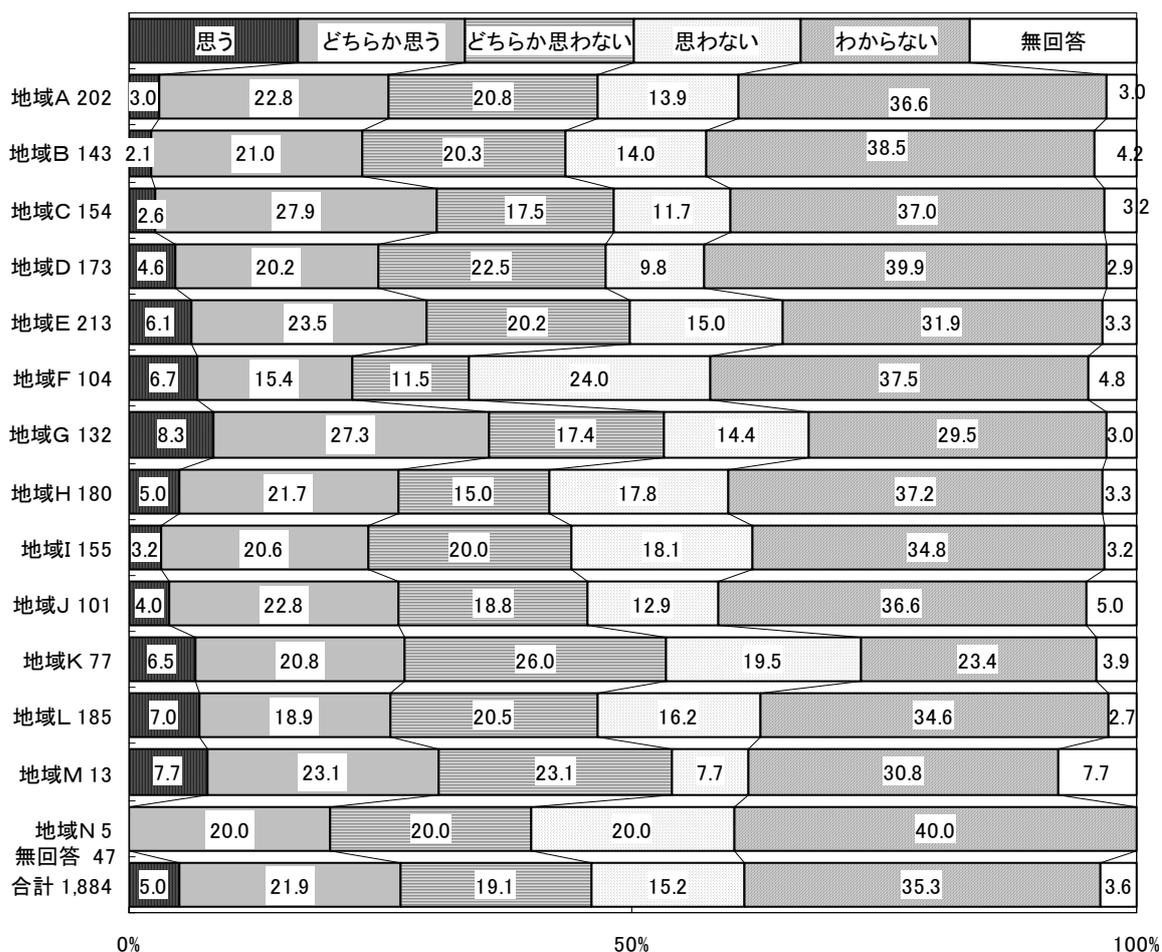
③ 宇治市の子育て環境への評価

(3) 宇治市は子育てがしやすい環境にあると思いますか。次の中から、あてはまるもの1つに○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |
| 5. わからない | |

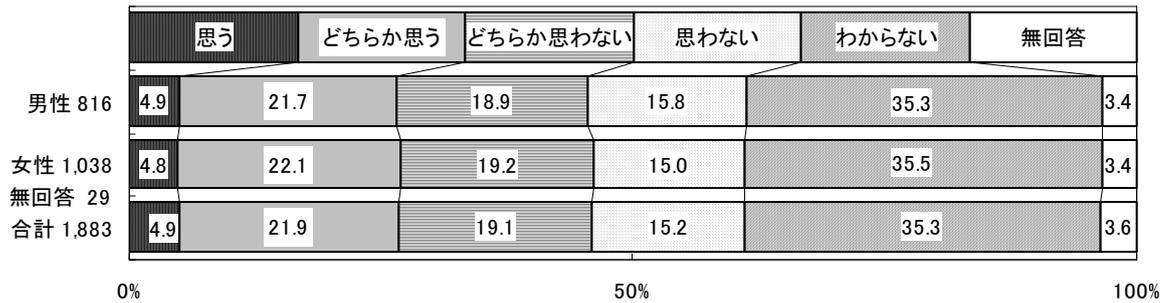
- ・ 市民全体では、“わからない”が最も多く35.3%、“思う”と“どちらかといえばそう思う”が合わせて26.9%、“どちらかといえばそう思わない”と“思わない”が合わせて34.3%という評価となっている。
- ・ 地域別では、“思う”と“思わない”の上位5位までを挙げると、次のような結果となっている。

“思う”の上位5位地域 : 地域G、M、L、F、K
 “思わない”の上位5位地域 : 地域F、N、K、I、H

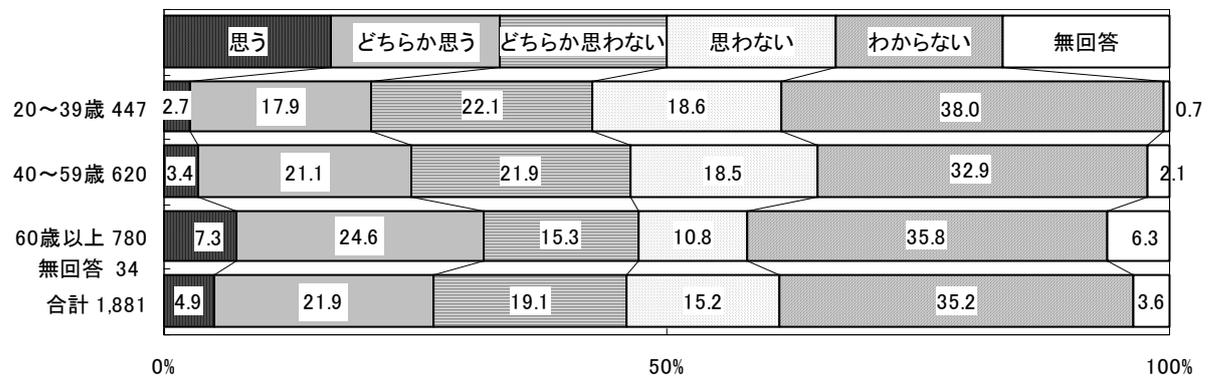


地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台	地域C：五ヶ庄
地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、	地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斎、金井戸）
地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台	地域F：槇島町
地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）	地域I：伊勢田町、安田町
地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、	地域J：神明、開町、羽拍子町、
地域K：大久保町、	地域L：広野町、寺山台
地域M：白川、志津川、	地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

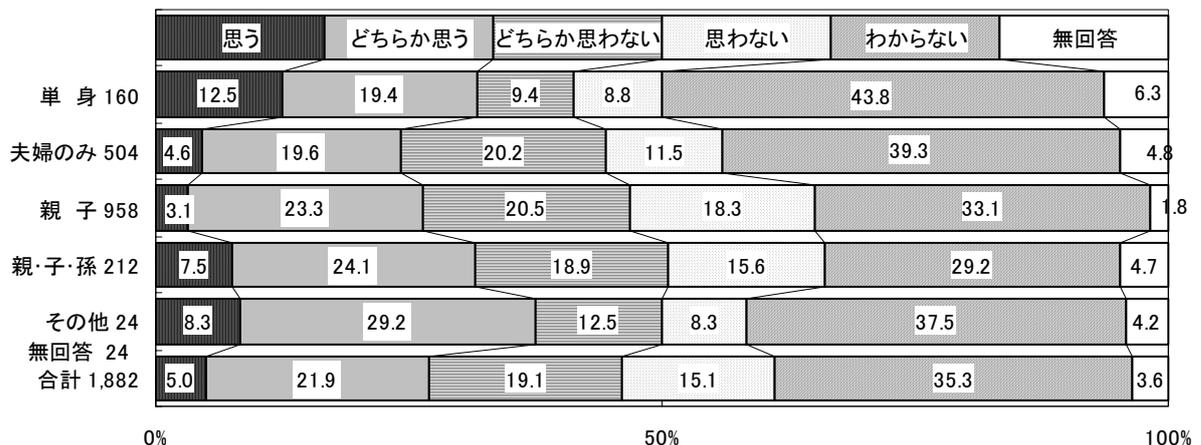
- 性別では、ほとんど差異はみられない。



- 年齢別では、年齢が高くなるほど、“思う”が多く、“思わない”が少なくなっている。



- 家族構成別では、他と比べて単身が“思う”、“わからない”がともに多く、単身と夫婦のみで“思わない”が少なくなっている。



④ 子育て環境の充実のために必要な施策

(4) 子育てをしやすい環境づくりのため、今後どのような支援が必要だと思いますか。次の中から、あてはまるもの3つまでに○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 保育所の数を増やす | 2. 保育所のサービス内容の充実 |
| 3. 幼稚園の数を増やす | 4. 幼稚園のサービス内容の充実 |
| 5. 子育て支援センターの数を増やす | 6. 公園など子どもの遊び場を増やす |
| 7. 子育てサークルなどの地域活動の充実 | 8. 医療費の軽減 |
| 9. その他 () | 10. これ以上の支援は必要でない |

複数回答の算出方法：回答比率（％）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

- ・ 市民全体では、第1位の“医療費の軽減”が5割を越え、次いで“保育所を増やす”、“保育所サービスの充実”、“支援センターを増やす”が上位に上げられている。“必要ない”は3.1%にすぎない。
- ・ 地域別では、次のように、ほとんどの地域で、この上位4項目が必要だと指摘されている。

	第1位	第2位	第3位	第4位
地域A	●医療費の軽減	保育所を増やす	保育所サービスの充実	支援センターを増やす
地域B	● "	"	"	"
地域C	● "	"	"	"
地域D	"	保育所サービスの充実	保育所を増やす	"
地域E	● "	保育所を増やす	保育所サービスの充実	"
地域F	"	"	遊び場を増やす	保育所サービスの充実
地域G	● "	"	保育所サービスの充実	支援センターを増やす
地域H	● "	"	"	"
地域I	● "	保育所を増やす、保育所サービスの充実		"
地域J	● "	保育所を増やす	保育所サービスの充実	"
地域K	● "	支援センターを増やす	"	保育所を増やす、遊び場を増やす
地域L	"	保育所を増やす	"	支援センターを増やす
地域M	医療費の軽減、支援センターを増やす		保育所を増やす	保育所サービスの充実
地域N	医療費の軽減、支援センターを増やす、保育所を増やす、保育所サービスの充実			

*: ●は、回答比率が5割以上の項目

地域A 202	42.6	34.7	7.9	12.4	29.7	20.3	16.3	54.5	9.4	1	5.9
地域B 143	38.5	35	9.1	10.5	30.8	24.5	10.9	51.7	11.9	1.4	2.1
地域C 154	46.7	37	9.1	16.9	26	20.8	13	53.9	8.4	1.3	6.5
地域D 173	35.3	35.8	6.4	17.3	24.3	18.5	17.3	46.2	11	4	5.8
地域E 213	39.4	37.6	6.6	13.6	25.3	17.4	19.2	54	13.1	3.8	3.8
地域F 104	31.7	27.9	7.7	9.6	26	30.8	22.1	44.2	7.7	1.9	9.6
地域G 132	34.3	28	6.8	12.9	25.3	22.7	14.4	66.7	11.4	1.5	5.3
地域H 180	46.7	28.9	7.2	7.2	22.2	20.6	21.7	57.9	8.9	3.3	6.1
地域I 155	38	38.7	5.2	7.1	34.2	17.4	23.8	59.4	9.7	0.6	6.5
地域J 101	37.6	33.7	8.9	7.9	25.7	16.8	14.9	59.4	7.9	1	5.9
地域K 77	27.3	29.9	5.2	14.3	35.1	27.3	18.2	58.4	10.4	5.2	5.2
地域L 185	38.9	35.7	9.2	10.8	27	13.5	19.5	44.3	13	4.9	5.4
地域M 12	33.3	25	8.3	8.3	41.7	16.7	16.7	41.7	8.3	16.7	16.7
地域N 5	40	40		20	40	20	20	40		20	20
無回答 47											
全体 1,883	38.3	33.6	7.4	10.9	27.6	19.9	17.9	53.3	10.3	3.1	6
	保育所を増やす	保育所サービスの充実	幼稚園を増やす	幼稚園サービスの充実	支援センターを増やす	遊び場を増やす	地域活動の充実	医療費の軽減	その他	必要ない	無回答

地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台

地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、

地域C：五ヶ庄

地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斎、金井戸）

地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台

地域F：槇島町

地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）

地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、

地域I：伊勢田町、安田町

地域J：神明、開町、羽拍子町、

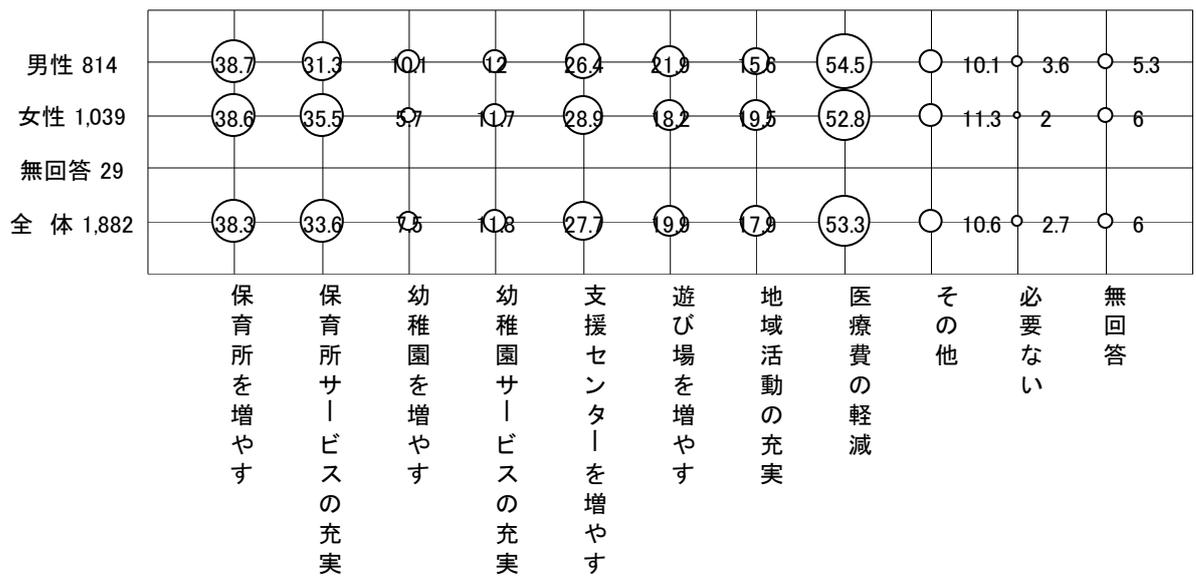
地域K：大久保町、

地域L：広野町、寺山台

地域M：白川、志津川、

地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

- 性別では、ほとんど差異はみられない。

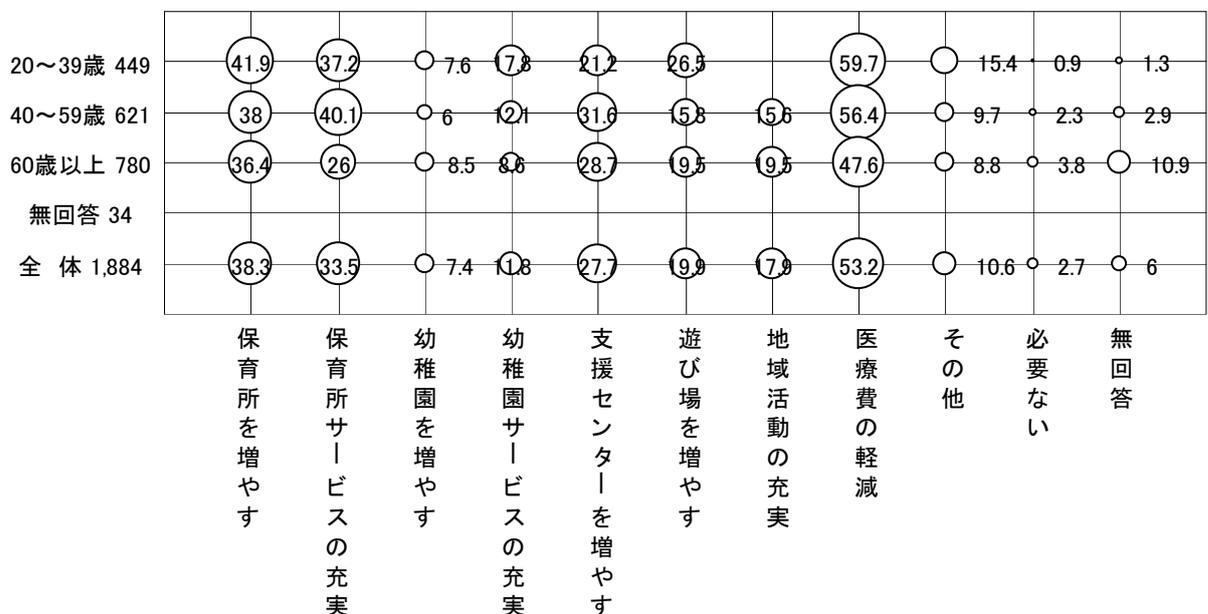


- 年齢別では、回答の傾向は市民全体と同様であるが、次の項目については年齢層が低い方が回答のポイントが大きい傾向がある。

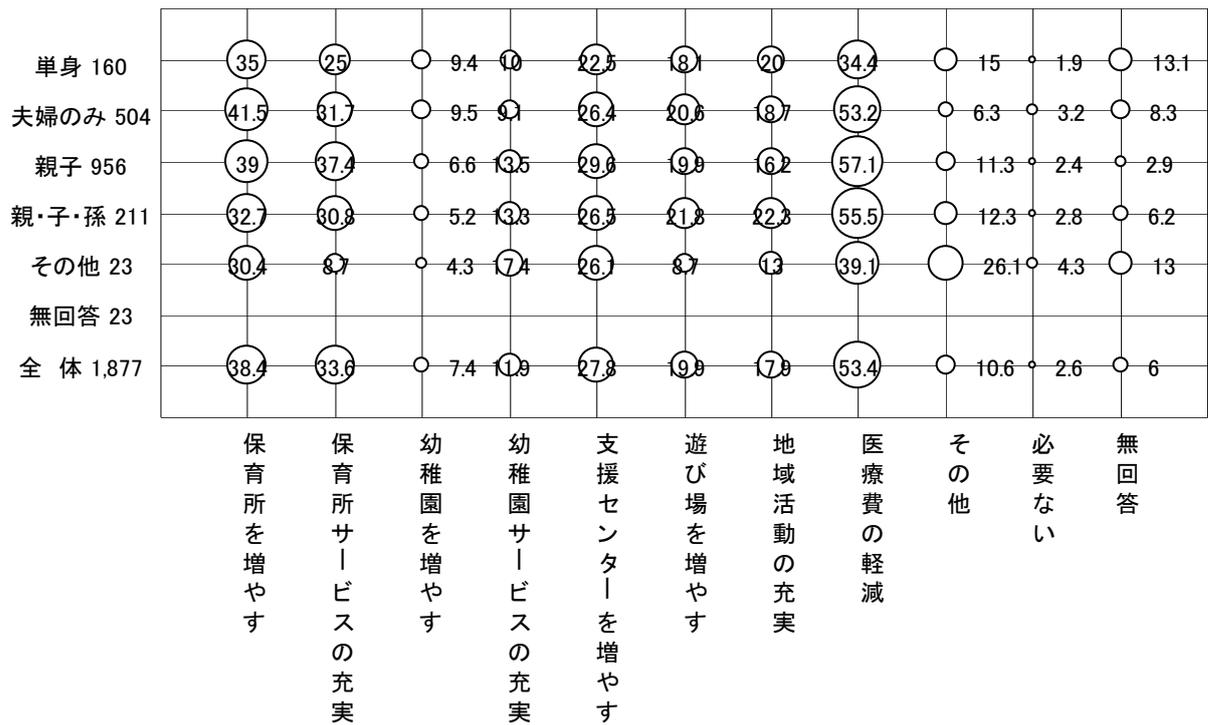
保育所を増やす、幼稚園サービスの充実、遊び場を増やす、医療費の軽減

逆に、次の項目については、年齢層が低い方が回答のポイントが小さい傾向がある。

支援センターを増やす、地域活動の充実

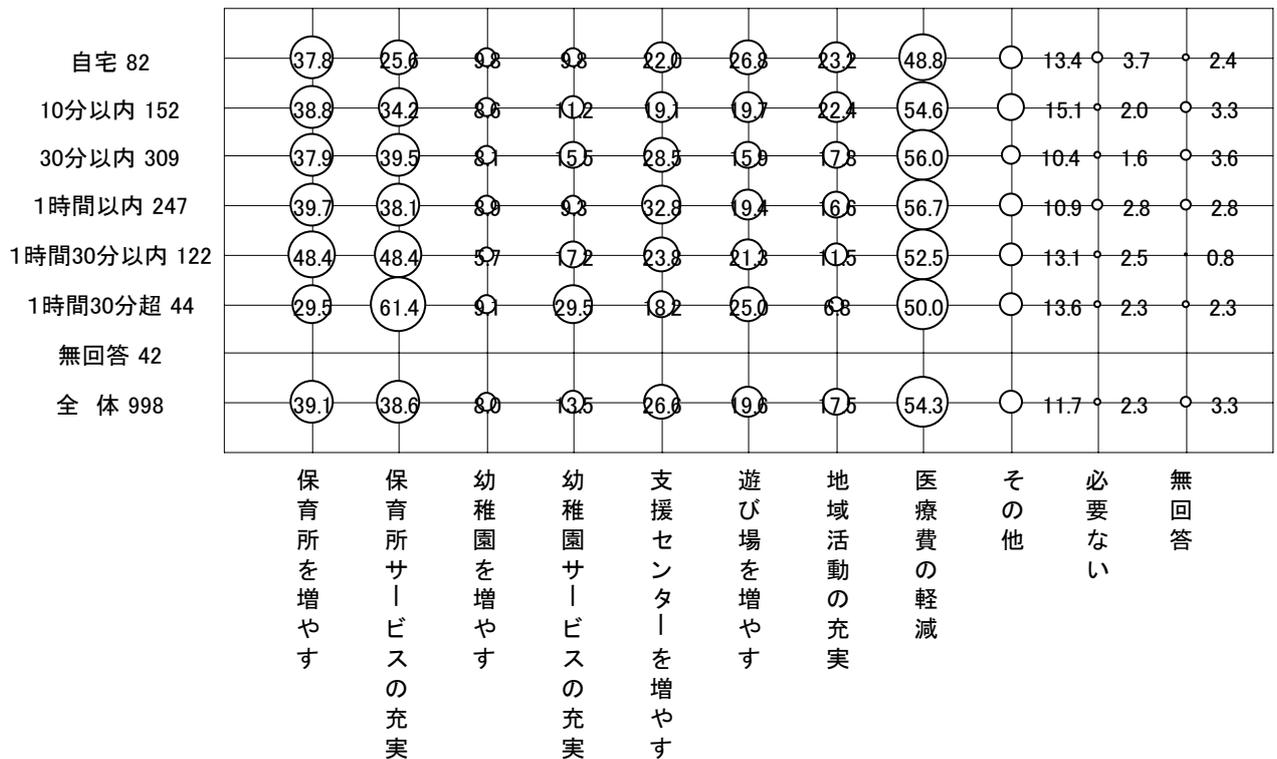


- ・ 家族構成別に相関した大きな特徴はみられない。



- ・ 通勤・通学時間別では、時間が長くなるほど“保育所サービスの充実”の回答が多くなる。

逆に、時間が短くなるほど、“地域活動の充実”への回答が多くなる。



*:問4で(7.無職)は、通勤・通学先はないので含んでいない。

⑤ 少子化や子育てについての意見

(5) 少子化や子育てについてのご意見があればお書きください。

〈意見内容の概要〉－全部で約410件

主な意見	回答数
①保育所の充実等に関する内容	約70件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育時間をもっと延長してほしい。 ・ 保育所への入所要件の緩和を。 ・ 保育料を安くしてほしい。 ・ まず、希望者が100%保育所に入れるようにすることが大切だ。 ・ 保育園の数が少ない。多いほど良い。 ・ 保育所と幼稚園の一体化を早く進めてもらいたい。 ・ 保育園の無料・学費の無料化をしないと産めない。 ・ 保育園と高齢者の集まる場所を一体化する。 ・ 土日祝も預かってもらえる保育所をたくさん設置する。 ・ 保育所は理由を問わず、子どもを預かるべき。 ・ 近くの保育所にいきたいが順番待ちで、遠いところにかざるを得ず、負担である。 	
②幼稚園の充実等に関する内容	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園の数を増やしてほしい。 	
③子育て支援センターの充実等に関する内容	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育ての悩み等が気軽に相談できるよう、子育て支援センターや地域毎に相談所の数を増やしてほしい。 ・ ファミリーサポートセンターは会員数が少なく、預ける相手を選べない。 	
④公園など子どもの遊び場の充実等に関する内容	約20件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが安心して遊べる公園等が少ない。 ・ 室内で遊べる児童館的な遊び場がほしい。 ・ ボール遊びができる公園を作してほしい。 	
⑤子育てサークルや地域活動の充実等に関する内容	約30件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 親子が地域の人々との交流ができる機会を増やす。 ・ 核家族の子育ては不安である。 ・ 子育ては、近所付き合いなど地域とのかかわりがスムーズに行くかどうか不安があるので、子育てサークル等の充実を。 ・ 地域で学校だよりが回覧されるようになり、子どものいない家庭でも地域にすむ子どもの様子がわかることは見守る上でも役立っている。 ・ 子育ての先輩にいろいろ気軽に相談できる場所が必要。 	
⑥医療費等に関する内容	約80件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの医療費を無料にしてほしい。経済的負担が大きい。 ・ 出産費用にかかる費用を軽減または無料化してほしい。 ・ 小児科が減ってきているのでその充実をしてほしい。 	
⑦その他	
経済的支援	約60件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育ての経済的不安を解消するため、児童手当の拡充等の対策が必要。 ・ 経済的不安の解消のため、収入の安定が必要。 ・ 子どもを持つ親に対して税負担を少なくする。 ・ 中高生の教育費などの援助が必要。 ・ 教育費が高すぎる。 ・ 子育てや家事など、仕事を抱える女性の負担が大きい。 ・ 高校の義務教育化を。 ・ 塾や習い事に行く子どもが多くなり、子育てに必要な学費が増加。損得で子どもを産むわけではないが、考えてほしい。 ・ 出産や子育ては経済的な負担が大きいので2人が限度。 ・ 出産し、子育て専念の人や専業主婦を高く評価し、経済的に支援することが必要。 ・ 若い人の所得が低いので家庭を持ちにくい。 	

主な意見	回答数
労働環境の改善	約50件
<ul style="list-style-type: none"> 育児休暇を快く取らせてもらえる職場環境の改善が必要。企業がもっと妊婦から子育てを支援すべき。 	
<ul style="list-style-type: none"> 会社も子育て支援をし、仕事と子育ての両立ができるよう時間的・金銭的な支援を。 	
<ul style="list-style-type: none"> 出産後の再就職が確約できれば良い。 	
<ul style="list-style-type: none"> 自治体の政策努力のみならず、各企業の取り組み姿勢も肝要。 	
<ul style="list-style-type: none"> 民間会社の男性が育児休暇を取れるよう促せば、母親の育児も前向きになる。 	
<ul style="list-style-type: none"> 会社の共働き女性に対する理解がなく、授乳時間に休めず、育児休暇も少なすぎる。 	
<ul style="list-style-type: none"> 昔に比べ子育てに男性も協力しているが、それでも女性の育児負担が大きく、正社員であればなおさら負担が大きい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 若者の収入が安定しないと結婚や出産も無理。まず、若い人に働く場を与えることが必要。 	
<ul style="list-style-type: none"> 結婚して家庭を持とうと望む人が増えるような希望ある社会作りを。 	
<ul style="list-style-type: none"> 職場や社会での男性の子育てへの理解が低いため、育児休暇等が一般的にとりにくい。 	
<ul style="list-style-type: none"> フリーターやアルバイト、ニートが多くなり、これらの層は収入が十分でなく、子どもを産んでも将来の生活に不安がある。 	
<ul style="list-style-type: none"> 共働きをしないと生活できない世の中ではだめだ。子どもに対して愛情が十分与えられるよう、女性が子育てに専念できる世の中にしないといけない。 	
<ul style="list-style-type: none"> 親の側に立った制度ではなく、子どもにとってどうかを考えるべき。長時間保育など親には便利だが、子どもへの負担はどうか。保育時間を長くするより、子育てしやすい就労規制を。 	
親への教育	約30件
<ul style="list-style-type: none"> こどもは地域の財産・宝だと思って、親任せ・学校任せではなく、住民全員が子育てにかかわっていくべき。 	
<ul style="list-style-type: none"> 子どもを育てる親が大人になっていない。若い父母の子育て教育、学習機会が必要。 	
<ul style="list-style-type: none"> 子育ての楽しさや意味を理解できるよう、学校、家庭、社会などで教えていくことが必要。若い人に子育ての楽しさが伝わっていない。 	
<ul style="list-style-type: none"> 男女とも親になる力量に欠けている。 	
教育環境の充実	約30件
<ul style="list-style-type: none"> 通学路に街灯がなかったり、人気のないところを通らなければならないところが多くあり、防犯上問題。 	
<ul style="list-style-type: none"> 学童保育の時間延長、長期休業期間中も開始時間を早めてほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 今は親をはじめ、学校や社会も子どもに対して過保護のように思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> 各家庭でのしつけを厳しくすべき。お手本となる親自身が公共のマナーを理解しなければいけない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ゆとり教育を見直し、基礎学力や道徳をしっかり教育していくべき。 	
少子化について	約20件
<ul style="list-style-type: none"> 少子化が問題になっているが、地球規模で見ると爆発的な人口増加のほうが問題だ。環境・資源のためにも人口が減るのは良いことだ。 	
<ul style="list-style-type: none"> 少子化は現実として受入れ、逆に子どもたちが少ないメリットを利用し、すべての人がゆったりと生活を楽しめるまちづくりをすれば、自然に子どもも増える。 	
<ul style="list-style-type: none"> 人口の減少は、住宅事情が今より良くなるのではないか。何も経済面だけで考えなくても良い。 	
<ul style="list-style-type: none"> 少子化の弊害は、人口過剰よりは対応しやすいのではないか。 	

(5) 防犯活動についての意向

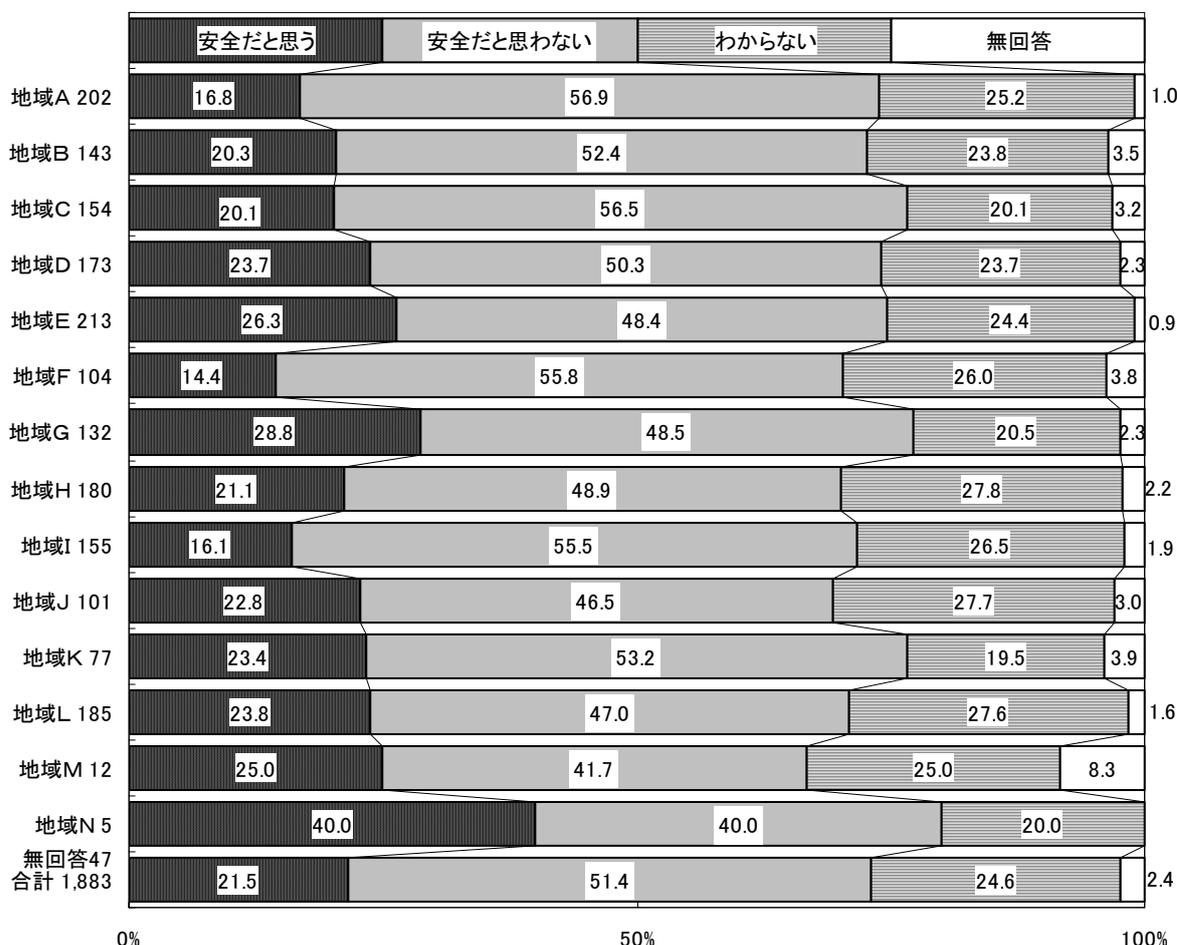
① 地域の安全に対する評価

問 13. 犯罪が増加傾向にある中で、警察活動だけでなく地域の防犯力がますます重要になってきています。

(1) あなたのお住まいの地域は安全だと思いますか。

1. 安全だと思う 2. 安全だと思わない 3. わからない

- ・ 市民全体では、“安全だと思わない”が5割を越えている。
- ・ 地域別は、全体の傾向は市民全体と同様であるが、“安全だと思う”が5割を越えているのは地域A、B、C、D、F、I、Kで多くなっている。



地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台
 地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅芥、金井戸）
 地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台
 地域F：横島町
 地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、
 地域I：伊勢田町、安田町
 地域J：神明、開町、羽拍子町、
 地域K：大久保町、
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川、
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

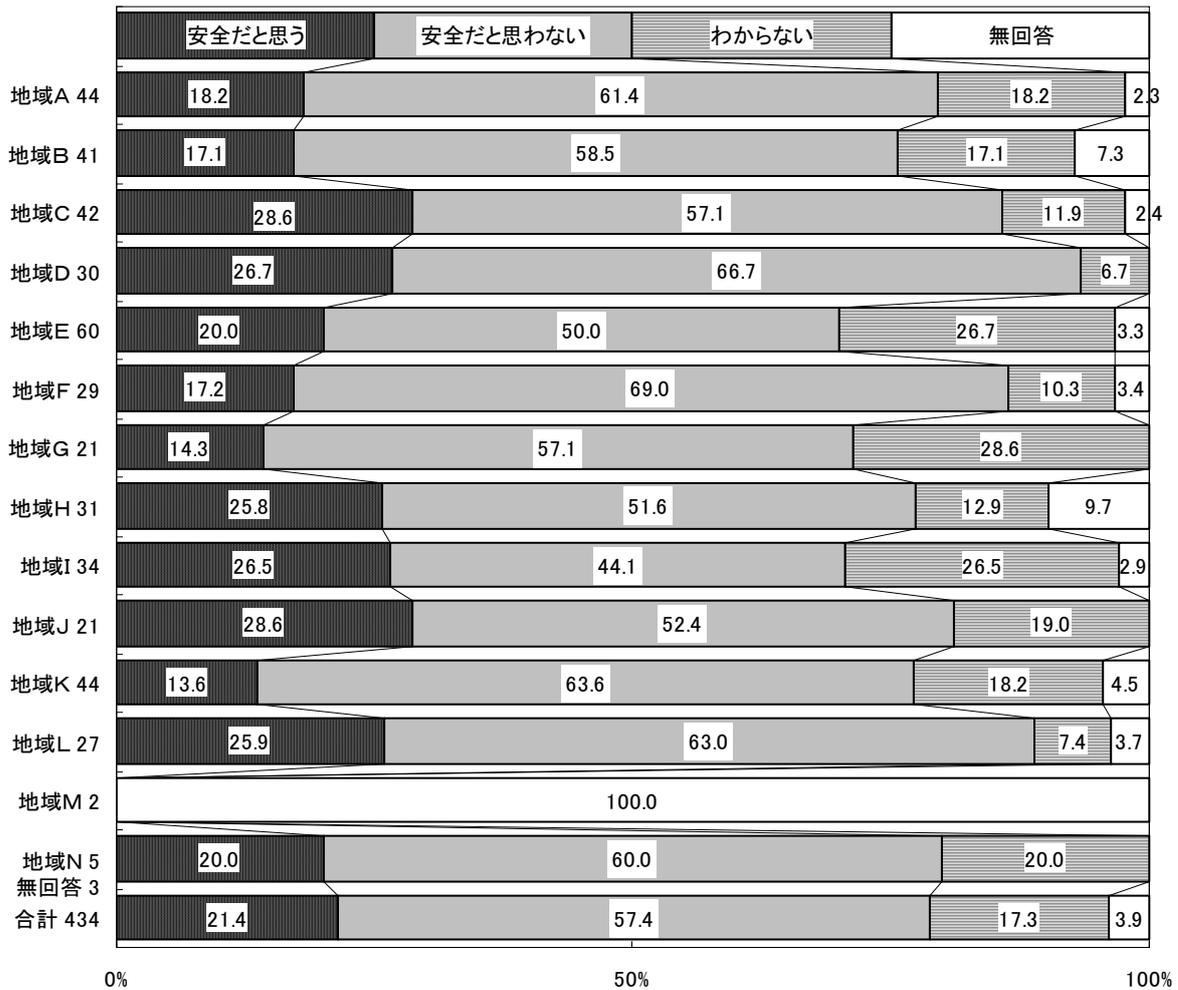
また、この設問は、町内会・自治会意識調査（問 14(1)）と同じ設問であるが、必ずしも地域別の回答傾向は、2つの調査結果が相関していない結果となっている。

[町内会・自治会意識調査の問 14 の結果]

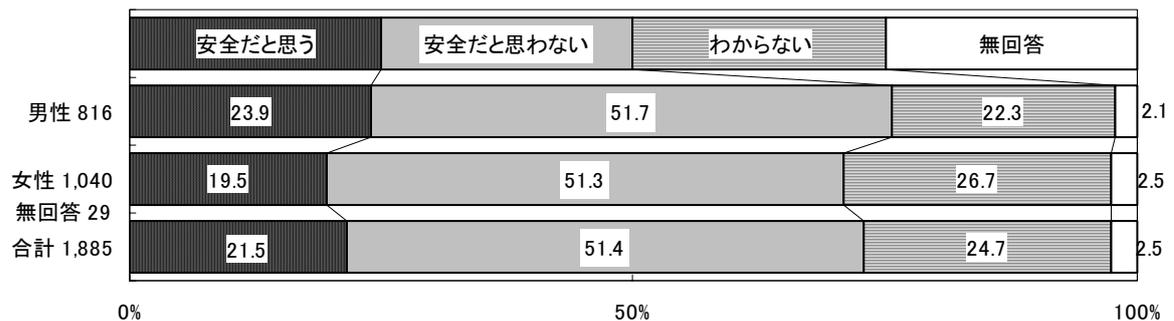
問 14. 犯罪が増加傾向にある中で、警察活動だけでなく地域の防犯力がますます重要になってきています。

(1) あなたのお住まいの町内会・自治会は、安全だと思いますか。

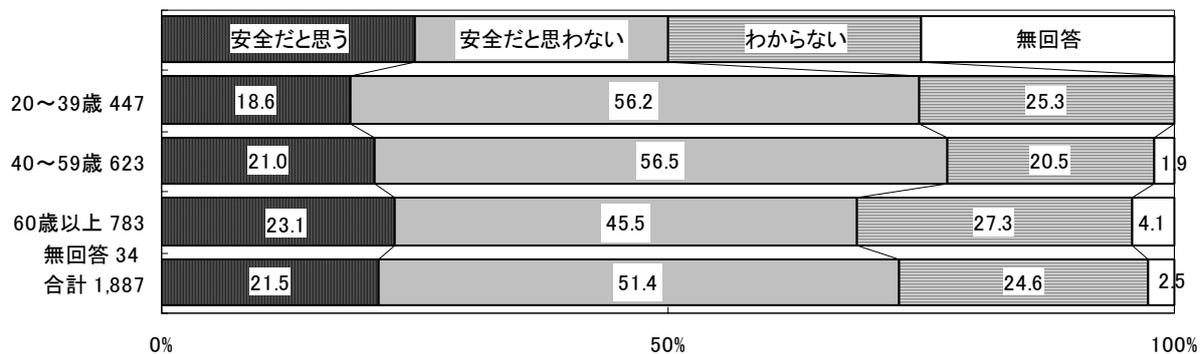
1. 安全だと思う 2. 安全だと思わない 3. わからない



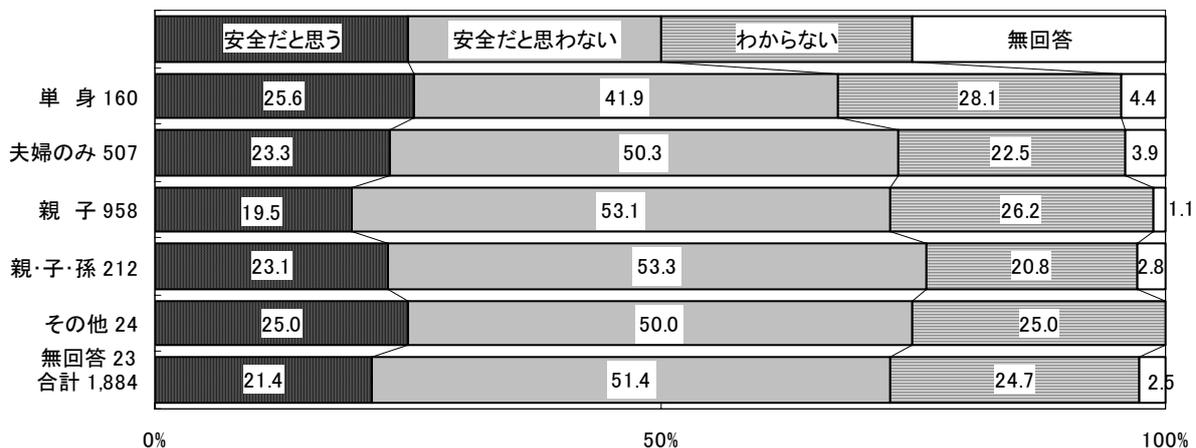
・ 性別では、男性の方が“安全だと思う”の回答比がやや高くなっている。



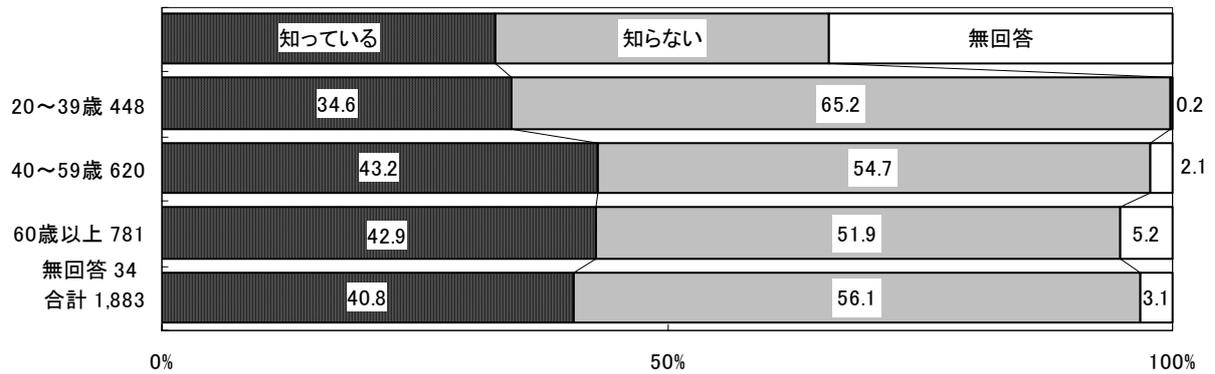
- ・ 年齢別では、“安全だと思う”は年齢が高くなるほど回答比はやや高く、逆に“安全だと思わない”は59歳以下で回答比がやや高くなっている。



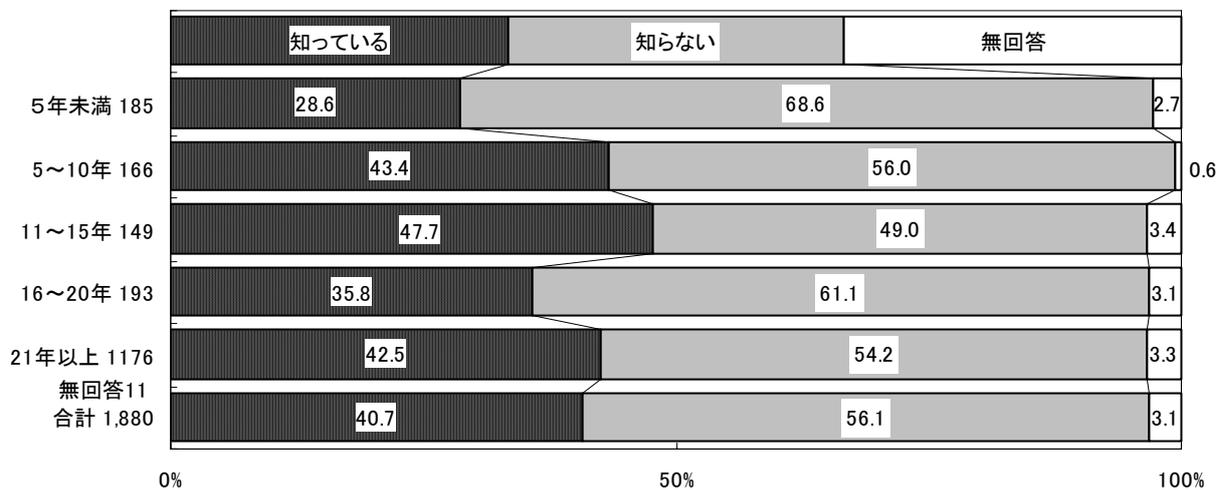
- ・ 家族構成別では、“安全だと思わない”は単身～親・子・孫へと家族数が増えるほど、回答比が高くなっている。



- ・ 年齢別では、40歳以上の認知度が相対的に高く、20～39歳では“知らない”が6割を越えている。



- ・ 居住年数別に相関した大きな特徴はみられない。



③ 充実すべき防犯活動

(3) 地域で防犯活動をする場合、どのようにすれば効果的に行うことができると思いますか。次の中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

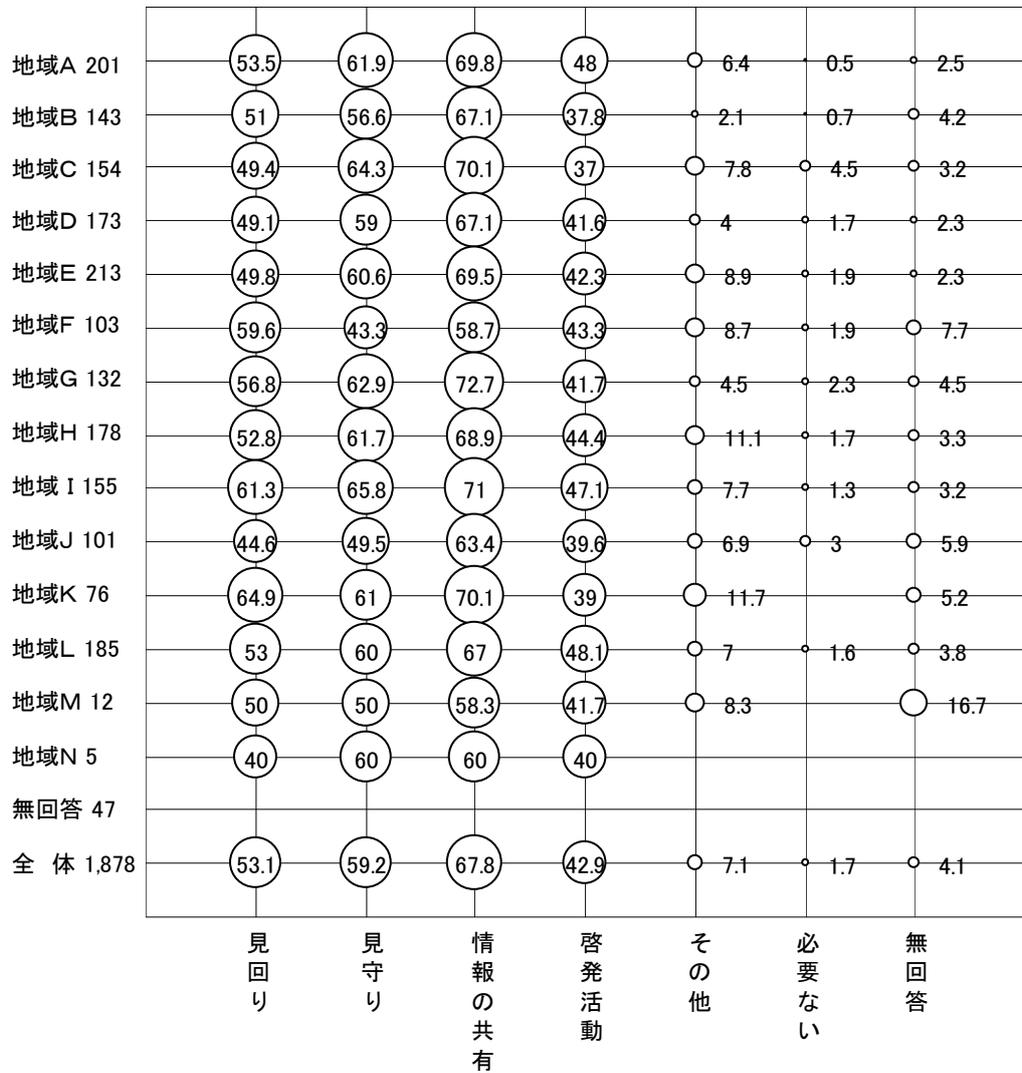
1. 地域内での見回り活動を行う
2. こどもの登下校時などに見守り活動を行う
3. 地域で防犯上危険な場所の情報をお互いに共有する
4. 防犯意識向上のための啓発活動を行う
5. その他 ()
6. 地域住民による防犯活動は必要でない

複数回答の算出方法：回答比率（％）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

- ・ 市民全体では、“情報の共有”、“見守り”、“見回り”の順で5割を越え、第4位の“啓発活動”も42.9%となっている。“必要ない”とする回答は1.7%にすぎない。
- ・ 地域別では、次のように、上位4位には若干の項目の差異しかみられない。

	第1位	第2位	第3位	第4位
地域A	●情報の共有	●見守り	見回り	啓発活動
地域B	●〃	〃	〃	〃
地域C	●〃	●〃	〃	〃
地域D	●〃	〃	〃	〃
地域E	●〃	●〃	〃	〃
地域F	見回り	情報の共有	啓発活動、見守り	
地域G	●情報の共有	●見守り	見回り	啓発活動
地域H	●〃	●〃	〃	〃
地域I	●〃	●〃	●〃	〃
地域J	●〃	〃	〃	〃
地域K	●〃	●見回り	●見守り	〃
地域L	●〃	●見守り	見回り	〃
地域M	〃	見守り、見回り		〃
地域N	●情報の共有、●見守り		見回り、啓発活動	

*:●は、回答比率が6割以上の項目



地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台

地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、

地域C：五ヶ庄

地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）

地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台

地域F：槇島町

地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）

地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、

地域I：伊勢田町、安田町

地域J：神明、開町、羽拍子町、

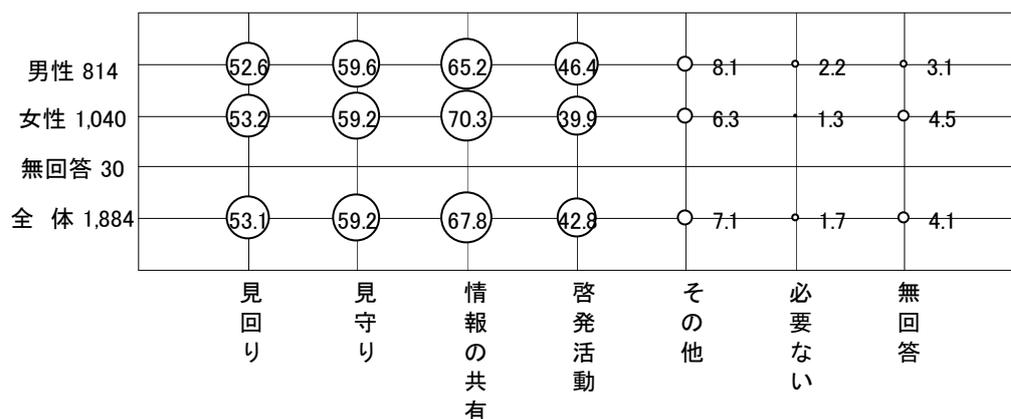
地域K：大久保町、

地域L：広野町、寺山台

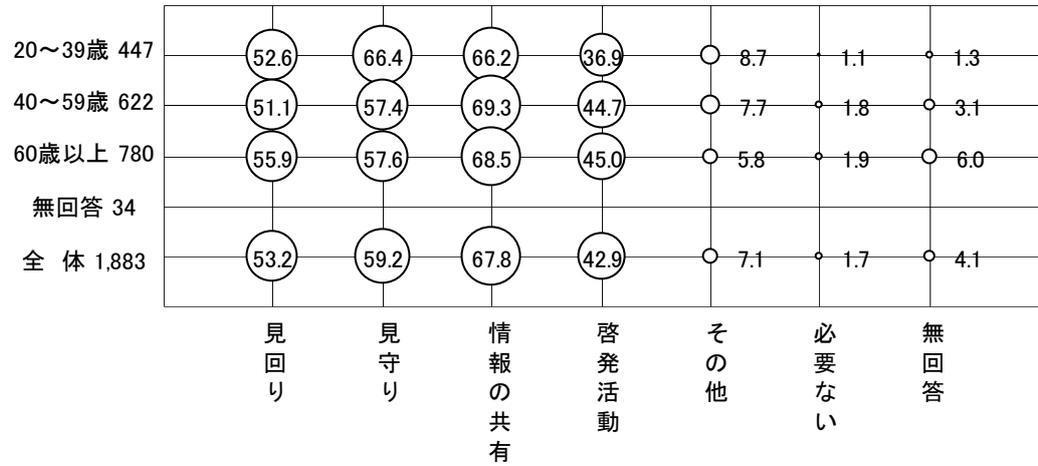
地域M：白川、志津川、

地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

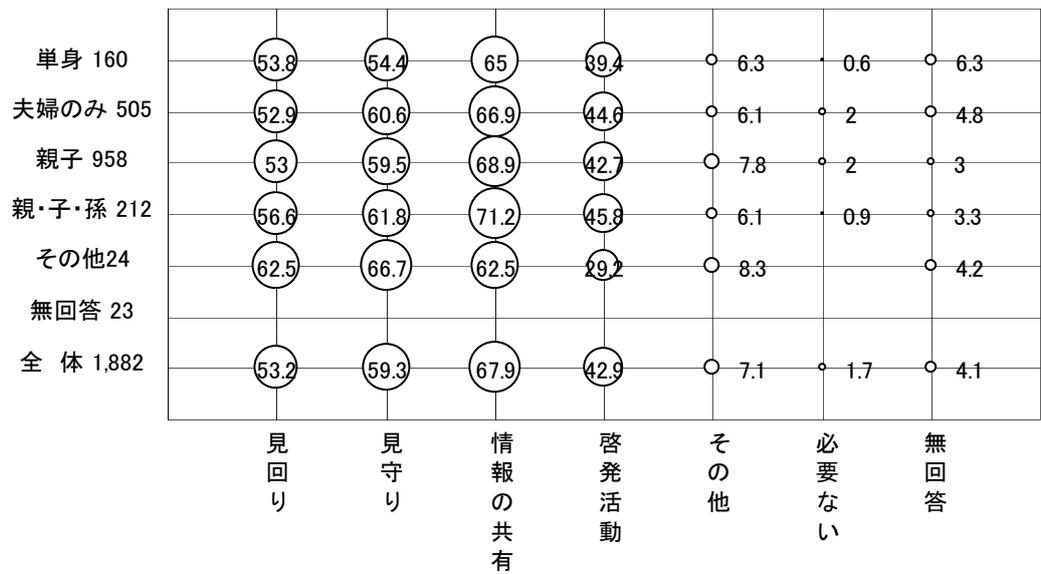
- 性別では、大きな差異はないが、女性の方が“情報の共有”の回答比が若干大きい。



- 年齢別では、相関性は見られないが、20～39歳は“見守り”、40歳以上は“情報の共有”が第1位となっている。



- 家族構成別では、大きな差異は見られない。

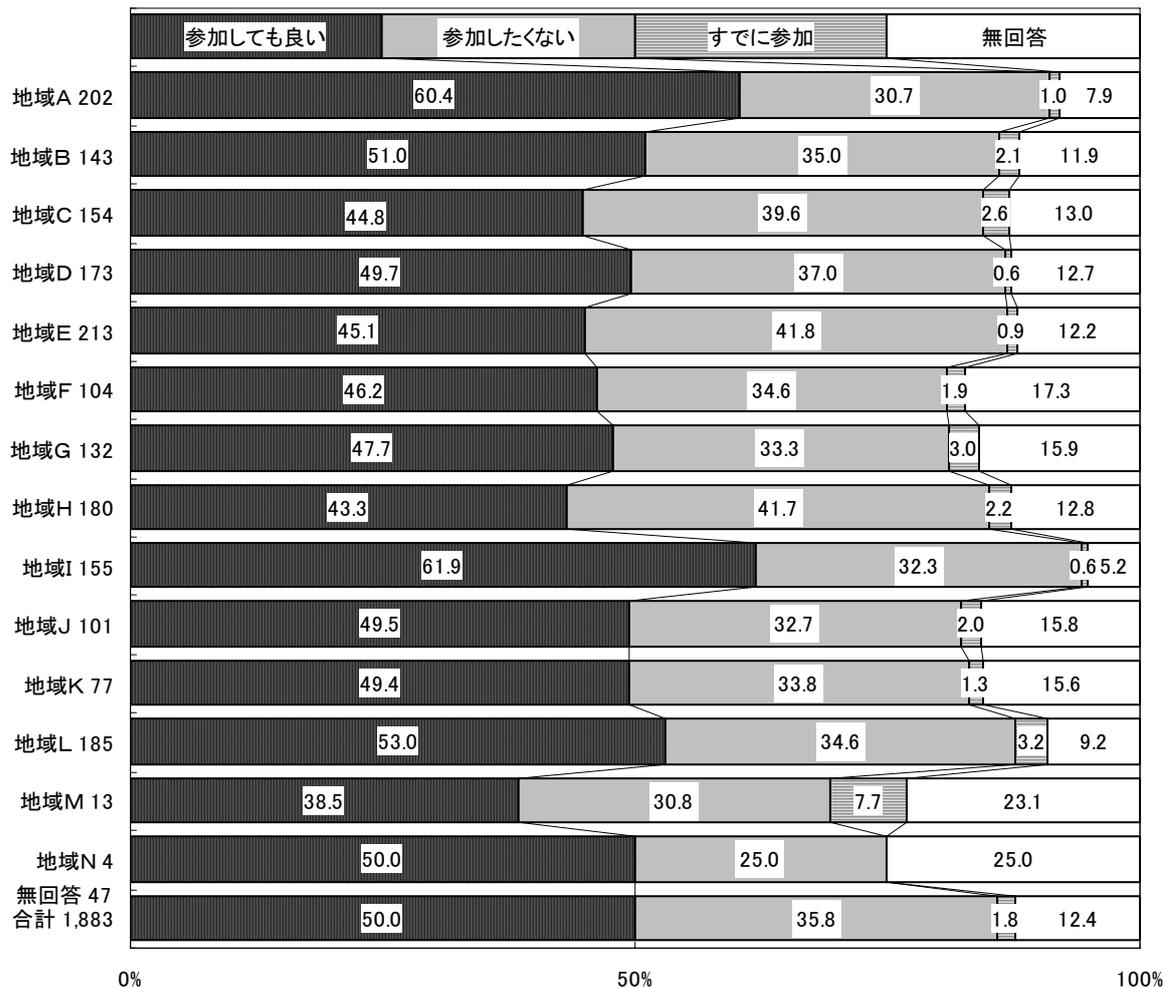


④ 防犯活動への参加意向（参加するかどうか）

(4) あなたは、地域での防犯活動に参加しても良いと思えますか。

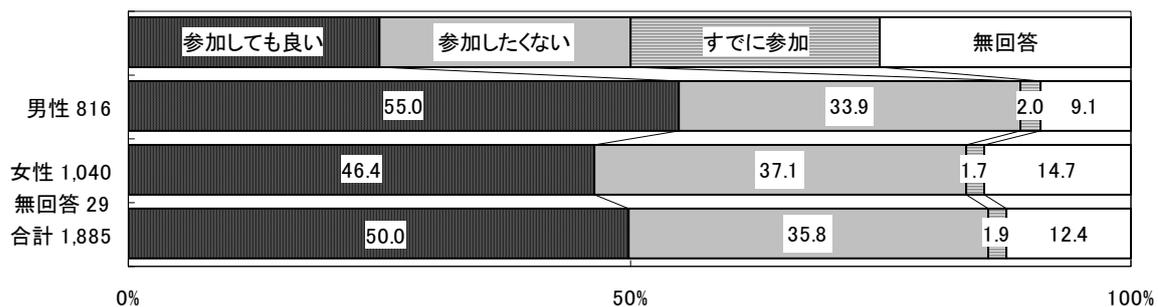
1. 参加しても良い 2. 参加したくない 3. すでに参加している

- ・ 市民全体では、“参加しても良い”が半分に達しているが、“すでに参加”は1.8%にすぎない。
- ・ 地域別では、地域A、Iは“参加しても良い”が6割を越え、地域E、Hは“参加したくない”が4割を越えている。

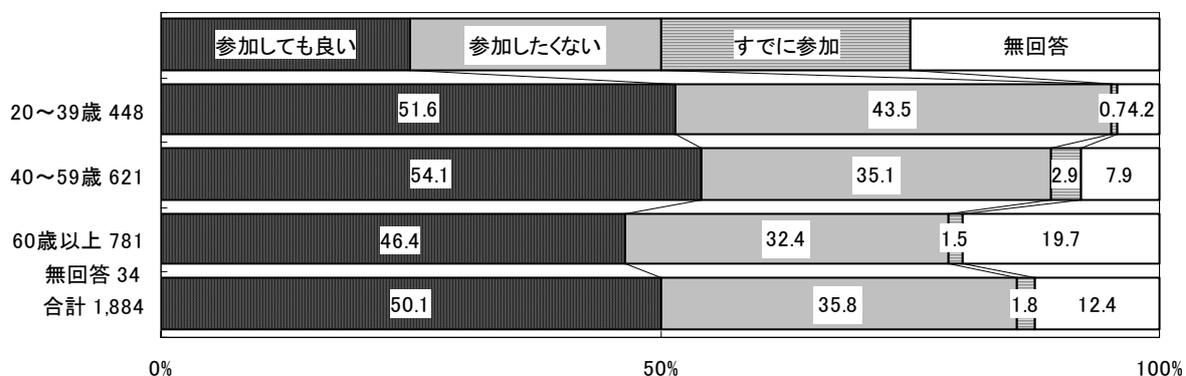


- 地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台
 地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
 地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台
 地域F：槇島町
 地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、
 地域I：伊勢田町、安田町
 地域J：神明、開町、羽拍子町、
 地域K：大久保町、
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川、
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

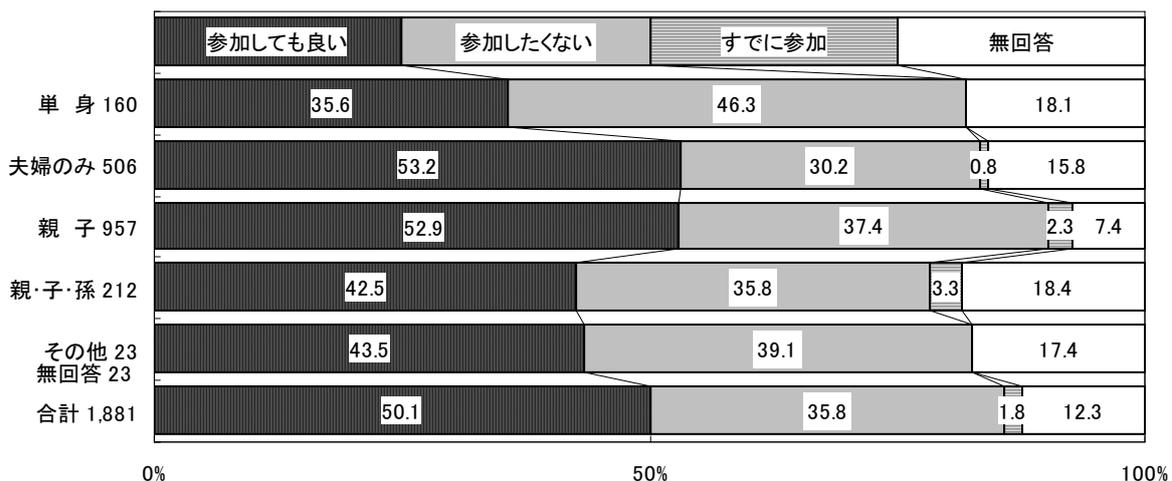
- 性別では、大きな差異は見られない。



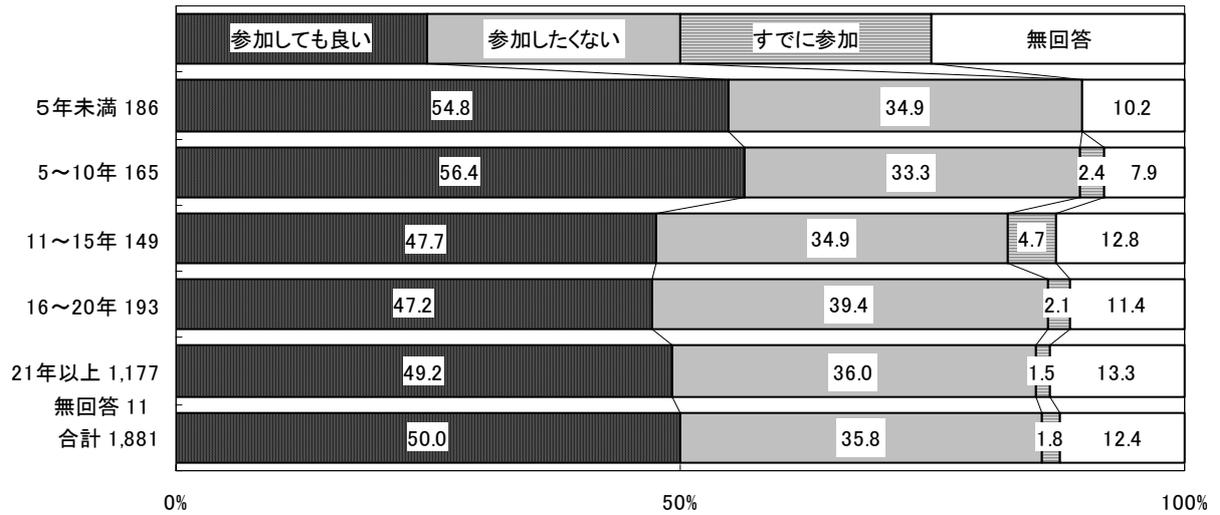
- 年齢別では、“参加しても良い”は40～59歳で多く、若い層ほど“参加したくない”が増加する傾向がある。



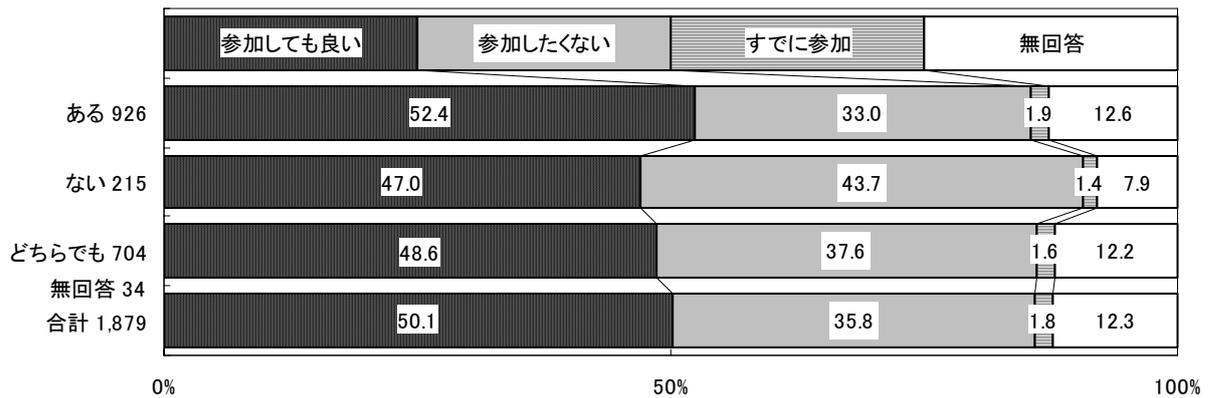
- 家族構成別では、相対的に“参加しても良い”は夫婦のみ、親子に多く、“参加したくない”は単身に多い。



- ・ 居住年数別では、10年以下の居住年数の人に“参加しても良い”が若干多い。



- ・ 宇治市への愛着度別では、「ある」とする人の方が“参加しても良い”が若干多く、“参加したくない”が若干少ない。

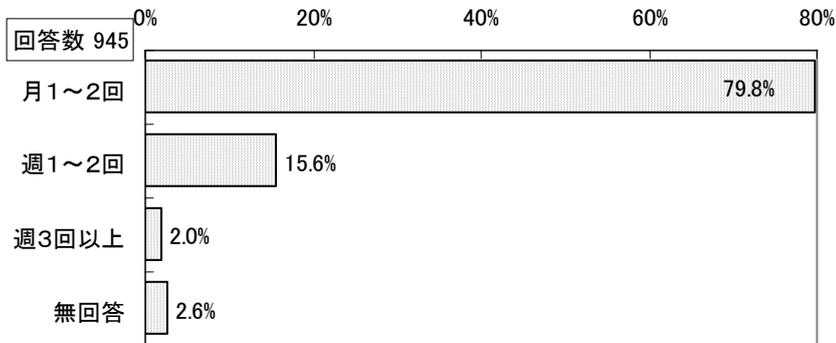


⑤ 防犯活動への参加意向（参加できる頻度）

(5) 参加しても良い回数

1. 月1～2回 2. 週1～2回 3. 週3回以上

・ 次のような結果となっている。

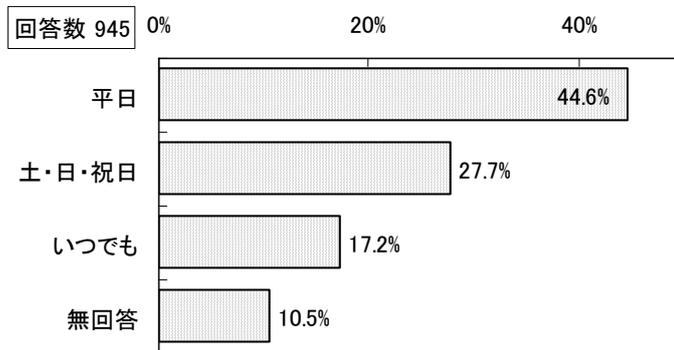


⑥ 防犯活動への参加意向（参加できる曜日）

(6) 都合の良い曜日

1. 平日 2. 土・日・祝日 3. いつでも良い

・ 次のような結果となっている。

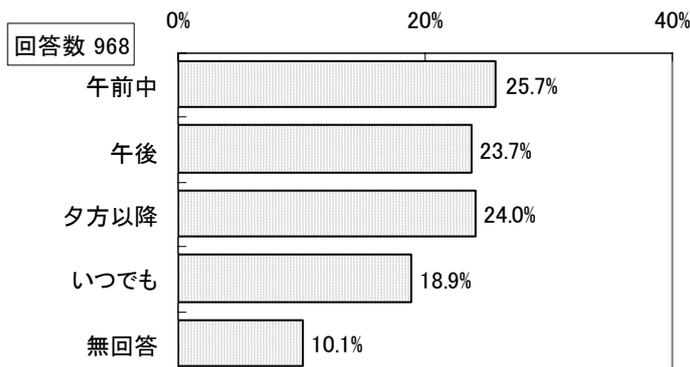


⑦ 防犯活動への参加意向（参加できる時間帯）

(7) 参加できる時間帯

1. 午前中 2. 午後 3. 夕方以降 4. いつでも良い

・ 次のような結果となっている。



⑧ 防犯活動推進上の問題点

(8) 地域で防犯活動を行う上での問題点があればお書きください。

〈意見内容の概要〉－全部で約380件

主な意見	回答数
①地域内での見回り活動等に関する内容	約180件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が多いため、防犯活動への参加が少ない。また、やりたくても身体的に無理。 ・ 当番制などにするのではなく、自主的に参加したい方で出来ればよい。やらなければいけないと本当に思う人が少ないと意味がない。 ・ 高齢者もやれる防犯活動を、市はPRしてほしい。 ・ 地域全体が参加しなければ、一部だけで行っても意味がない。 ・ 防犯活動を行う人の安全確保が必要。 ・ 警察との関係を密にし、町内での犯罪に対する連絡網をつくる。 ・ 防犯活動グループには、それなりの権限と給料などの見返りがあれば、各自に責任と自覚などを持つことができる。 ・ 小さい子どもがいる家庭や共働き家庭など家庭の事情があり、複数人で活動する場合の時間等の調整が大変。 ・ 参加者が少ない。 ・ 犯罪や不審者に遭遇した時の対処法がわからない。 ・ 地域住民の交流が防犯上一番必要と思う。 ・ 活動目的、組織づくりの方法などについてのマニュアルなどが欲しい。 ・ 防犯活動に参加しても良いと思っているが、近所でどのような活動があるのかわからない。 ・ 青少年をはじめとする子どもの犯罪行為、危険行為、迷惑行為を見て注意できる大人がいない。 ・ 隣近所とのつながりを持てるような環境を作ることがまず必要で、そうすれば防犯活動は出来ると思う。 ・ 町内会・自治会の役員のリーダーシップ・防犯活動に対する認識次第。 ・ 日頃から子どもと大人が交流し、顔見知りになっておけば犯罪などの量が減るのではないか。 ・ 見回りだけで良くなるかどうか。 ・ 防犯活動はプロにお願いしたい。 ・ まちの安全を守るのは、行政、警察の仕事。抜本的な治安対策の強化が必要。 	
②登下校時などの見守り活動等に関する内容	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外灯を増やし、明るくする。街灯のあかるさ、曲がり角の死角等があり、夜遅く駅からの帰宅が不安。宇治市の負担で外灯を増やしたり、各家の外灯を付ける。 ・ 現在、子どものある家庭だけが防犯に対し積極的に活動しているが、それ以外の人や高齢者も協力すべき。 ・ 子どもたちの危機感が乏しく、見回り活動をしなくても道を変えたり、遊んだりする。子どもたちにもっと啓発が必要だ。 	
③防犯上危険な場所の情報の共有等に関する内容	約20件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯の情報がない。地域への情報提供が乏しい。 ・ 防犯上危険な場所の情報を住民に知らせる。 ・ 自転車、バイク、車の不法駐車が多い場所は犯罪が多く、そういう場所をなくすことが大切だ。 ・ 人手に頼るより、市政が考え、危険・不安な場所を減らしてほしい。 ・ 市として、情報システムの整備が必要。CATV、インターネットの長所を利用した情報の提供。 	
④防犯意識向上のための啓発活動等に関する内容	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域間のコミュニケーションがないことが問題だと思う。 ・ 市政だより、地区会報などで回数多く、継続して啓発していく。 ・ 防犯推進団体が宇治市にいくつあるのか、どんな防犯活動が行われているのか知らない人が多いので、広報活動を活発に行う必要がある。 	
⑤その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交番は留守が多いので常駐してほしい。 ・ 警官が制服で徒歩でパトロールしたり、パトカーの巡回を増やす。 ・ 各家庭において、子どもに高い防犯意識をもたせ、親は自分の子どもは自分で守るという意識を持つべき。 	

(6) 防災対策についての意向

① 災害時に不安な点

問 14. 大地震や大雨等の天災に備えるため、災害に強いまちづくりが強く求められています。

(1) 災害時に不安に思われていることは何でしょうか。次の中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

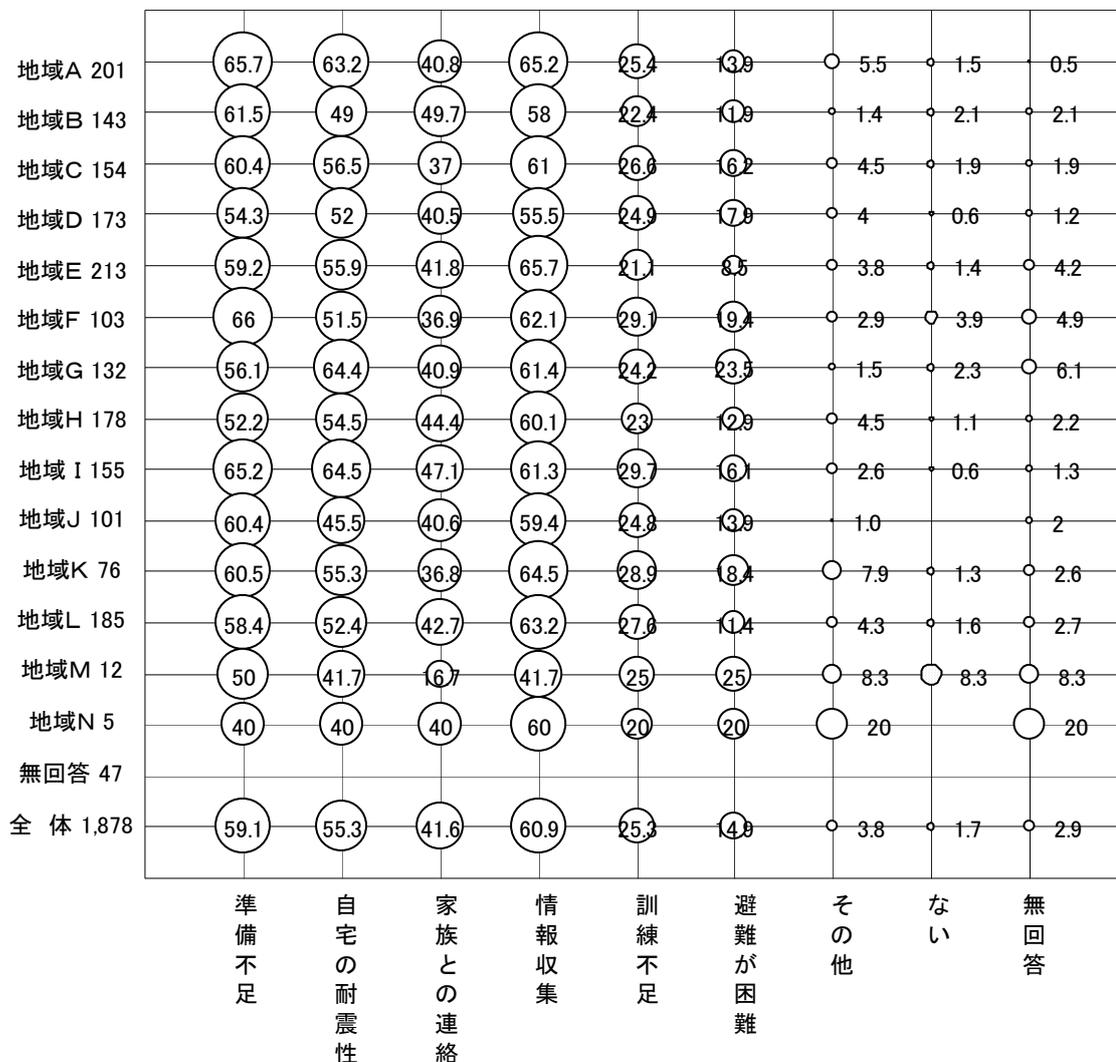
1. 災害時における家庭での準備不足(食料やラジオなどの非常用物品)
2. 自宅の耐震性
3. 家族との連絡
4. 災害時の情報収集
5. 防災訓練の不足
6. 自力での避難が困難である、または困難な同居者がいる
7. その他 ()
8. 不安はない

複数回答の算出方法：回答比率（％）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

- ・ 市民全体では、“情報収集”、“準備不足”、“自宅の耐震性”が5割を越え、以下、“家族との連絡”、“訓練不足”、“避難が困難”と続き、“ない”は1.7%にすぎない。
- ・ 地域別では、次のように上位3位の項目の順位で、各地域で多少のバラツキがみられる。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
地域A	●準備不足	●情報収集	●自宅の耐震性	家族との連絡	訓練不足
地域B	● "	"	家族との連絡	自宅の耐震性	"
地域C	●情報収集	●準備不足	自宅の耐震性	家族との連絡	"
地域D	"	"	"	"	"
地域E	● "	"	"	"	"
地域F	●準備不足	●情報収集	"	"	"
地域G	●自宅の耐震性	● "	準備不足	"	"
地域H	●情報収集	自宅の耐震性	"	"	"
地域I	●準備不足	● "	●情報収集	"	"
地域J	● "	情報収集	自宅の耐震性	"	"
地域K	●情報収集	●準備不足	"	"	"
地域L	● "	"	"	"	"
地域M	準備不足	自宅の耐震性、情報収集		家族との連絡、避難が困難	
地域N	情報収集	自宅の耐震性、準備不足、家族との連絡			訓練不足、 避難が困難

*:●は、回答比率が6割以上の項目



地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台

地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、

地域C：五ヶ庄

地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸）

地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台

地域F：槇島町

地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）

地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、

地域I：伊勢田町、安田町

地域J：神明、開町、羽拍子町、

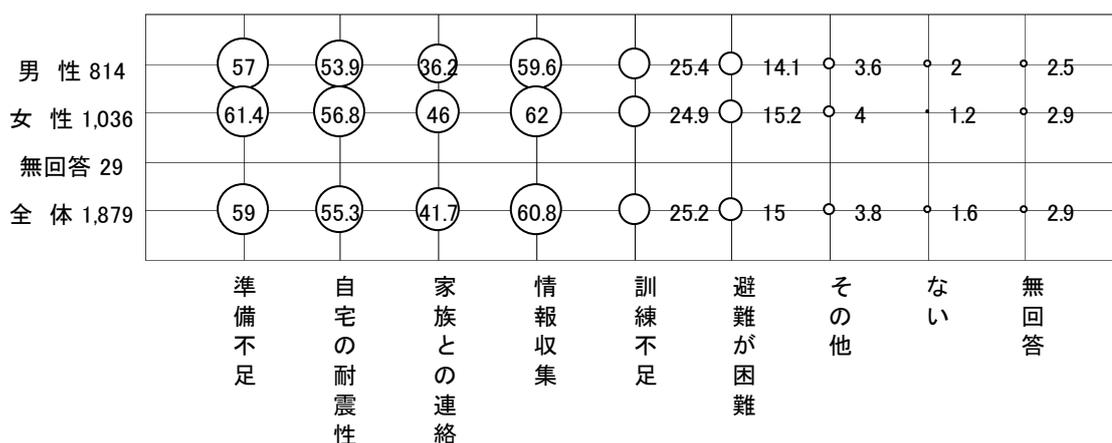
地域K：大久保町、

地域L：広野町、寺山台

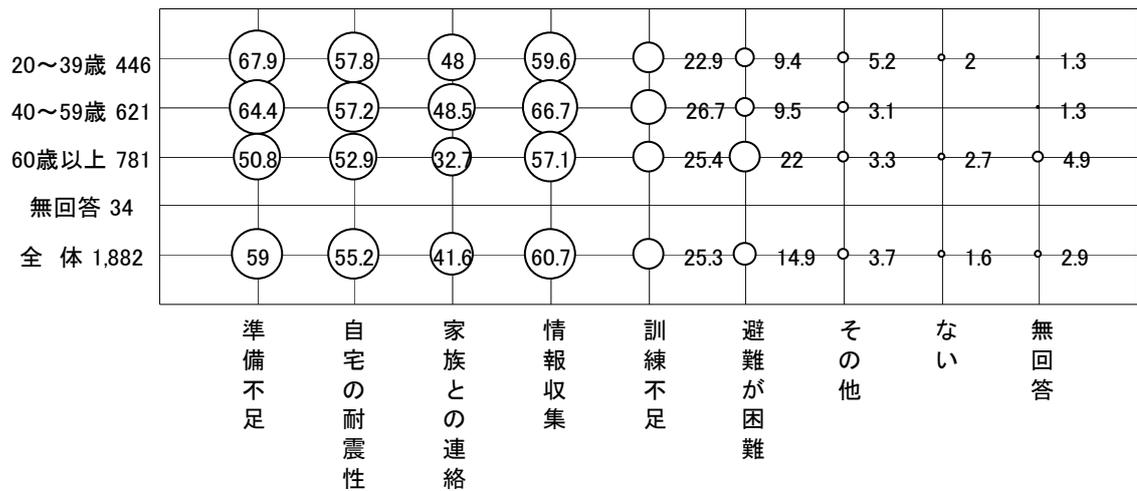
地域M：白川、志津川、

地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

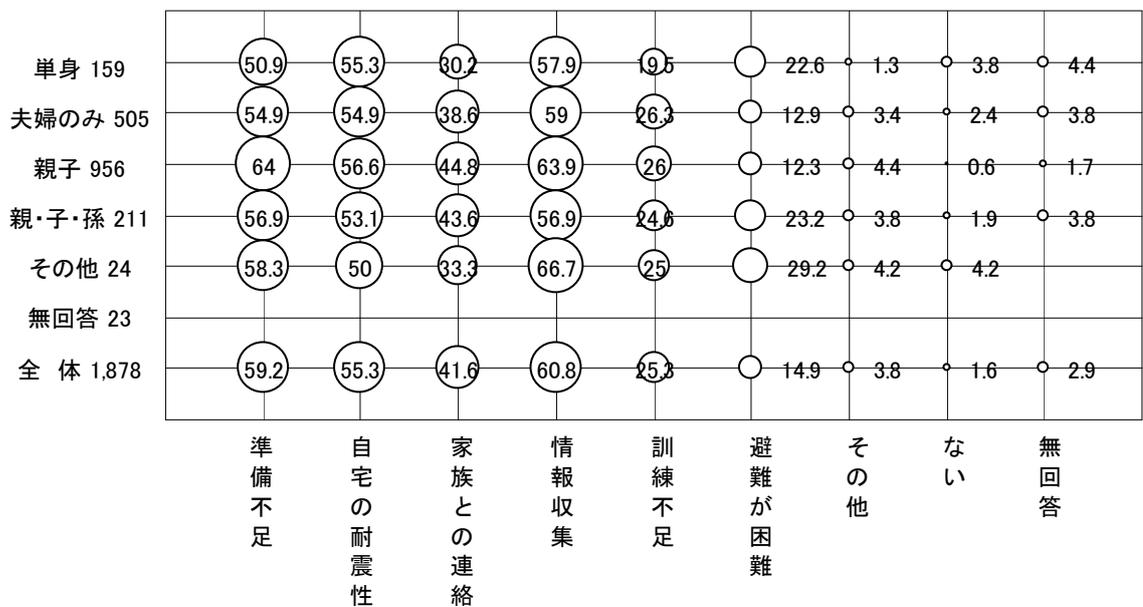
- 性別では、女性の方が各項目に対して不安を感じている比率がやや高い傾向が見られる。



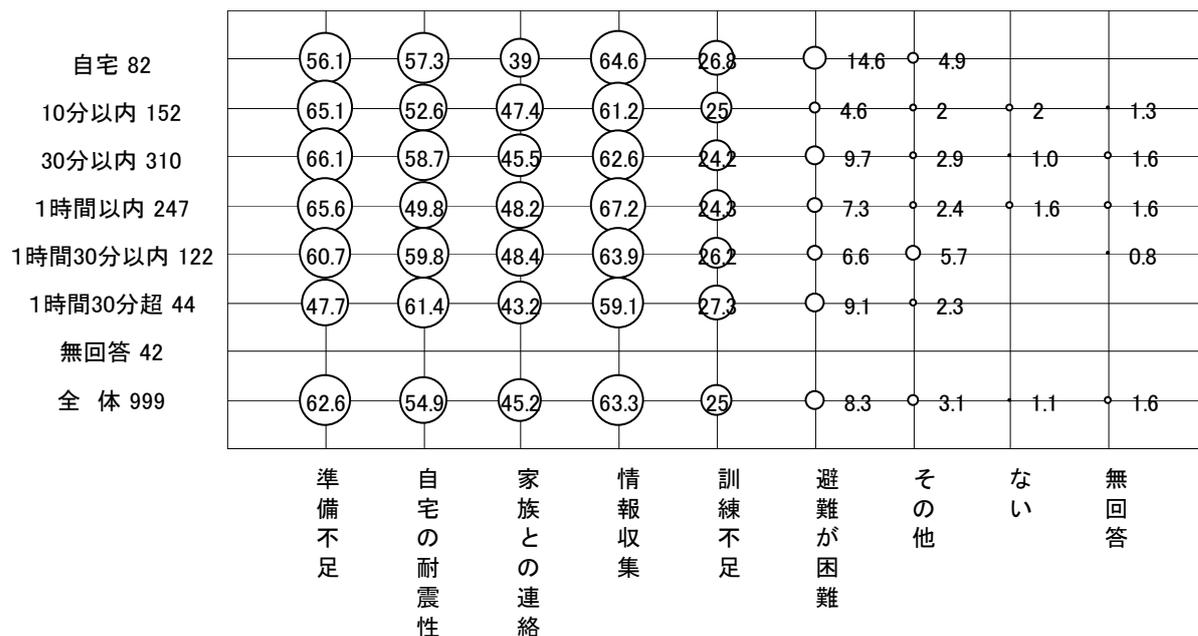
- ・ 年齢別では、各項目に対して、60歳以上では不安感が若干少なくなる傾向が見られる。



- ・ 家族構成別では、親子の世帯で、各項目を不安とする比率がやや高くなっている。

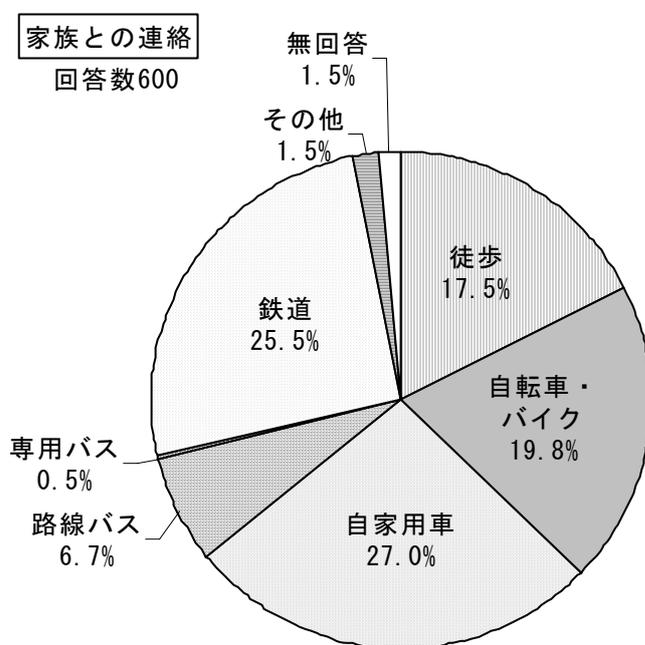


- ・ 通勤・通学時間別では、特に顕著な相関はみられない。



*:問4で(7. 無職)は、通勤・通学先はないので含んでいない。

- ・ 「家族との連絡」に不安を感じている人は、「鉄道」や「自家用車」により通勤・通学をしている人に多い。



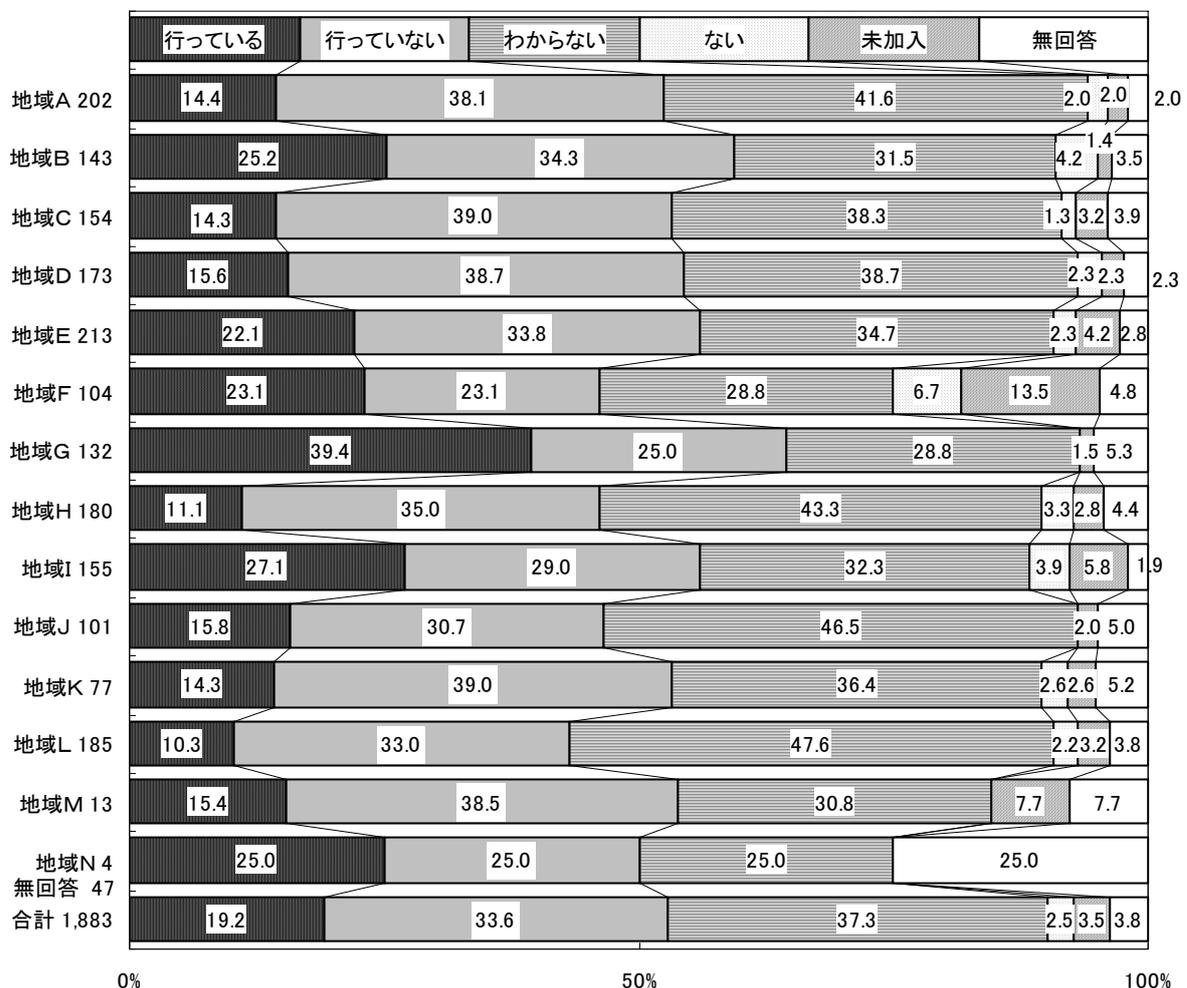
*:問14(1)の「3. 家族との連絡」の回答内訳

② 町内会・自治会による自主防災活動への認知状況

(2) あなたの町内会・自治会では自主防災活動が行われていますか。次の中から、あてはまるもの1つに○印をつけてください。

- 1. 行っている
- 2. 行っていない
- 3. わからない
- 4. 町内会・自治会はない
- 5. 町内会・自治会には加入していない

- ・ 市民全体では、“わからない”が37.3%で最も多い。
- ・ 地域別では、町内会・自治会意識調査（問15(2)）で同様な設問を設けているが、「自主防災活動を活発に、またはある程度行っている」が多い地域の市民が、必ずしも“行っている”が多くなっていない。

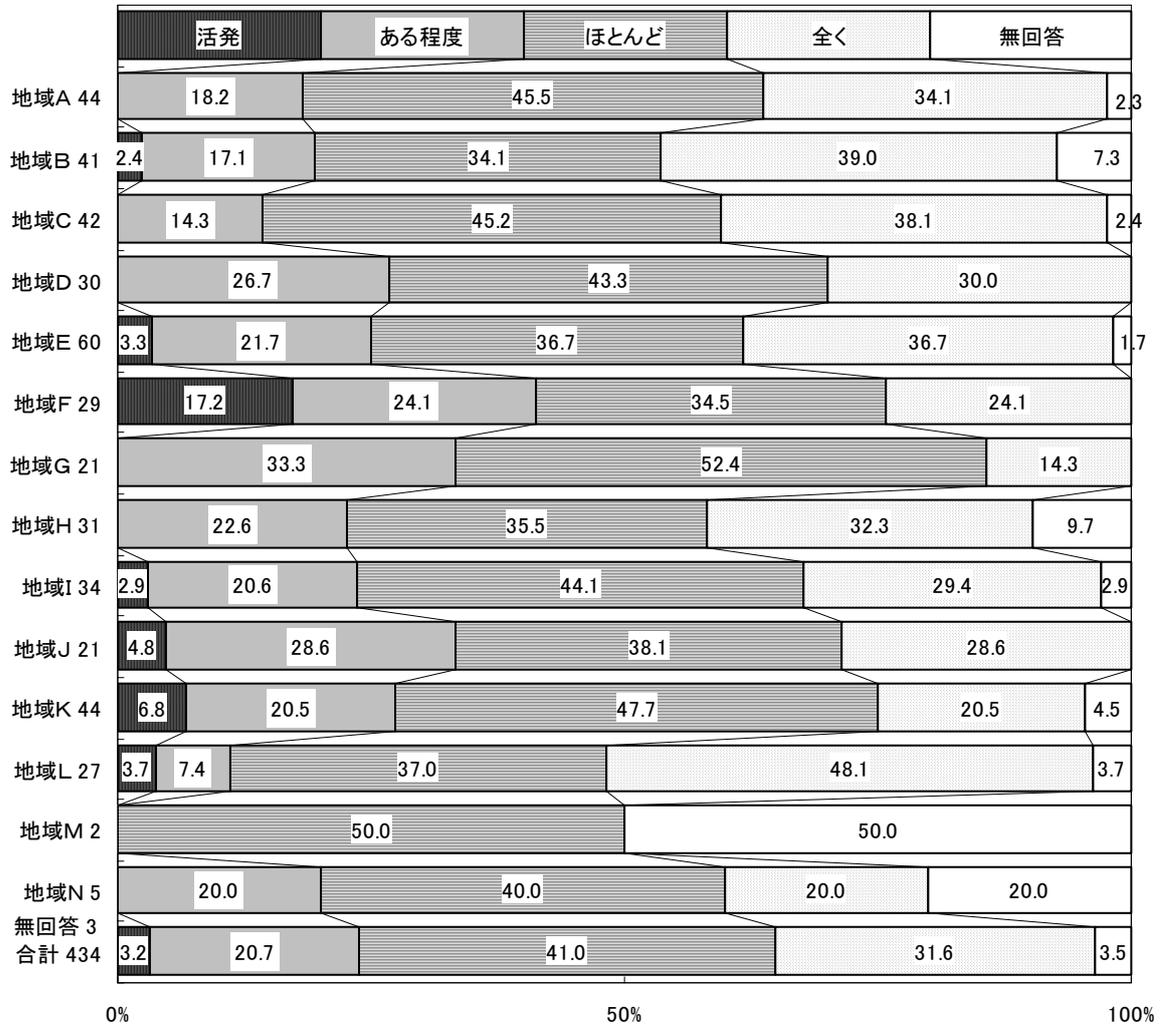


地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台
 地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
 地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台
 地域F：槇島町
 地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、
 地域I：伊勢田町、安田町
 地域J：神明、開町、羽拍子町、
 地域K：大久保町、
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川、
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

[町内会・自治会意識調査の問 15 の結果]

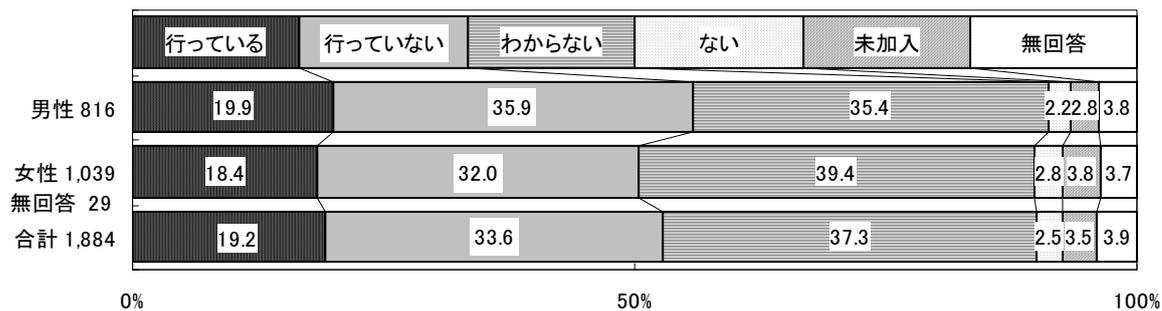
(2) あなたの町内会・自治会では、自主防災活動を行われていますか。次の中から、あてはまるもの1つに○印をつけてください。

1. 活発に行っている 2. ある程度行っている
3. ほとんど行っていない 4. 全く行っていない

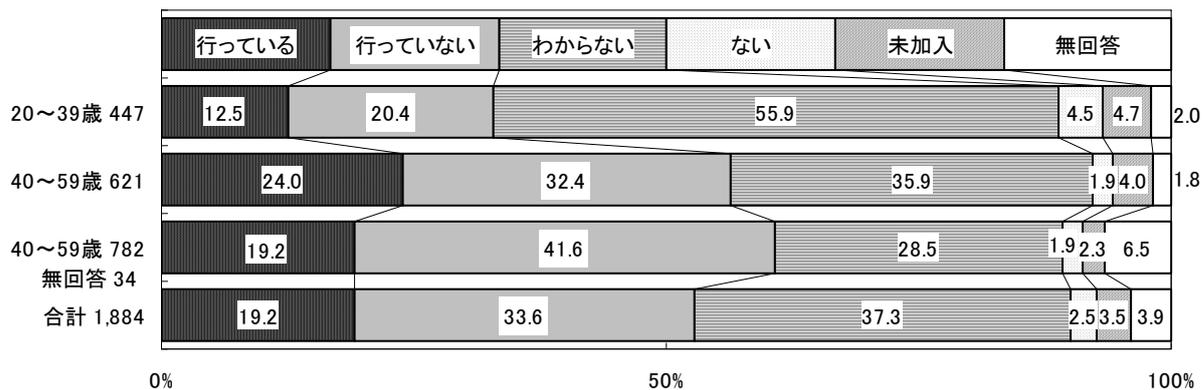


地域 A : 六地藏、木幡② (木幡①以外)、平尾台
 地域 B : 木幡①(熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山)、 地域 C : 五ヶ庄
 地域 D : 菟道、明星町、羽戸山、宇治②(乙方、東内、山本、又振、山田、紅斎、金井戸)
 地域 E : 宇治③ (宇治①、②以外)、琵琶台、天神台、折居台 地域 F : 槇島町
 地域 G : 小倉町① (西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際)
 地域 H : 宇治① (半白、蔭山、御廟)、小倉町② (小倉町①以外)、南陵町、 地域 I : 伊勢田町、安田町
 地域 J : 神明、開町、羽拍子町、 地域 K : 大久保町、 地域 L : 広野町、寺山台
 地域 M : 白川、志津川、 地域 N : 炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

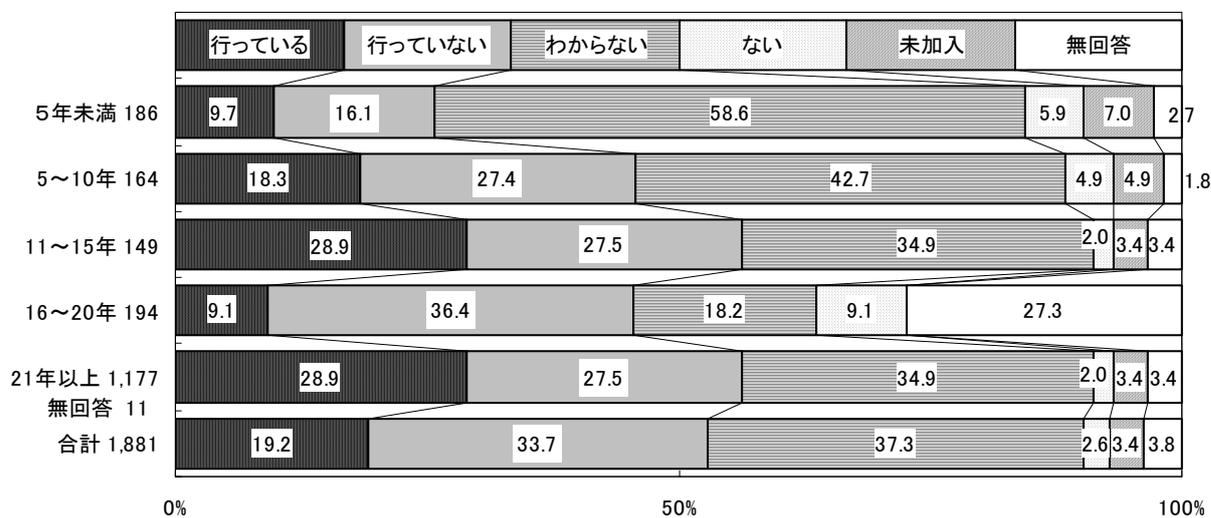
- 性別では、大きな差異は見られない。



- 年齢別では、若い層に“わからない”が多くなっている。



- 居住年数別との相関性はみられないが、“わからない”は5年未満で58.6%を占めている。



③ 町内会・自治会で実施すべき防災対策

(3) 町内会・自治会で実施すべき防災対策は、何だと思われますか。次の中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 防災訓練の実施 | 4. 住民同士の連携の強化 |
| 2. 災害時に孤立する人への支援（高齢者や障害者など） | 5. 防災マニュアルの作成 |
| 3. 防災用具の準備 | 6. 住民同士の緊急連絡網の整備 |
| 7. その他（ ） | 8. 町内会・自治会ですべきことはない |

複数回答の算出方法：回答比率（％）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

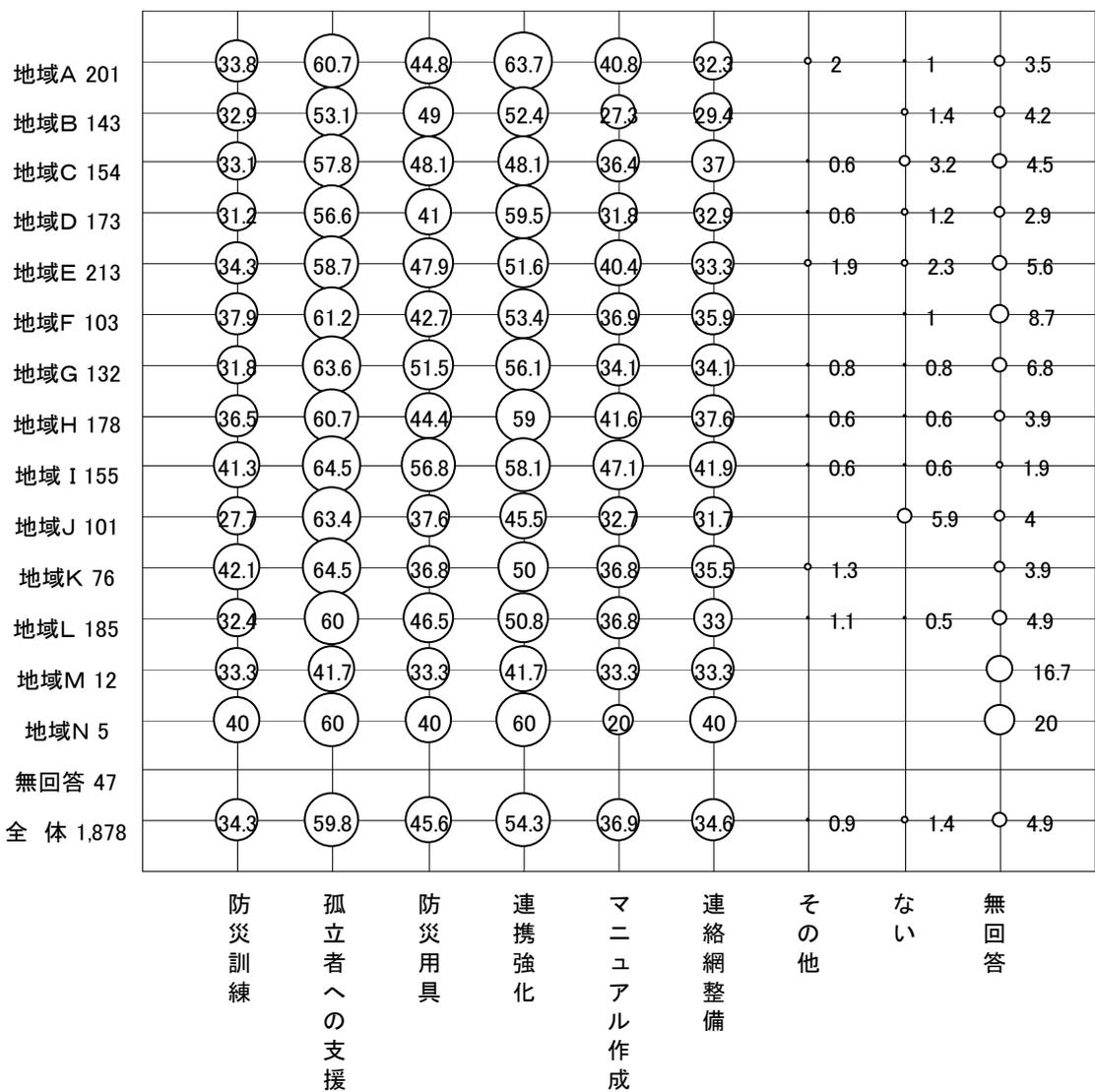
- この設問は町内会・自治会意識調査（問 15(3)）でも同じ設問を設けており、2つの回答を比較すると、次のようになる。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	「ない」
市民全体	孤立者への支援	連携強化	防災用具	マニュアル作成	連絡網整備	防災訓練	1.4%
町内会・自治会	連携強化	孤立者への支援	防災用具	連絡網整備	マニュアル作成	防災訓練	1.8%

- 地域別では、各地域に多少のバラツキはあるが、市民全体と同様の順番による回答となっている。

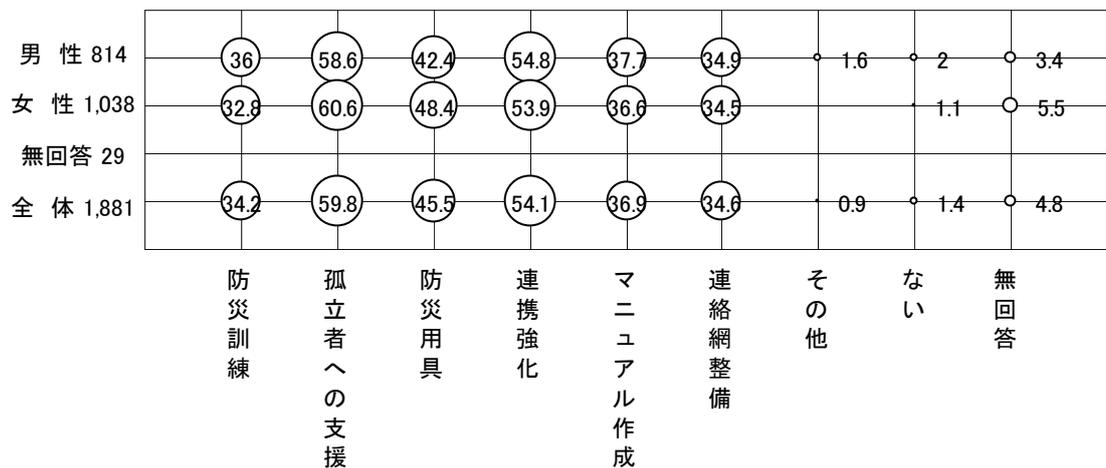
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
地域A	●連絡強化	●孤立者への支援	防災用具	マニュアル作成	防災訓練
地域B	孤立者への支援	連携強化	〃	防災訓練	連絡網整備
地域C	〃	〃	防災用具、連絡網整備		マニュアル作成
地域D	連携強化	孤立者への支援	防災用具	連絡網整備	〃
地域E	孤立者への支援	連携強化	〃	マニュアル作成	防災訓練
地域F	● 〃	〃	〃	防災訓練	マニュアル作成
地域G	● 〃	〃	〃	マニュアル作成、連絡網整備	
地域H	● 〃	〃	〃	マニュアル作成	連絡網整備
地域I	● 〃	〃	〃	〃	〃
地域J	● 〃	〃	〃	〃	〃
地域K	● 〃	〃	防災訓練	マニュアル作成、防災用具	
地域L	● 〃	〃	防災用具	マニュアル作成	連絡網整備
地域M	孤立者への支援、連携強化		防災用具、マニュアル作成、連絡網整備、防災訓練		
地域N	●孤立者への支援、●連携強化		防災訓練、防災用具、連絡網整備		

*:●は、回答比率が6割以上の項目

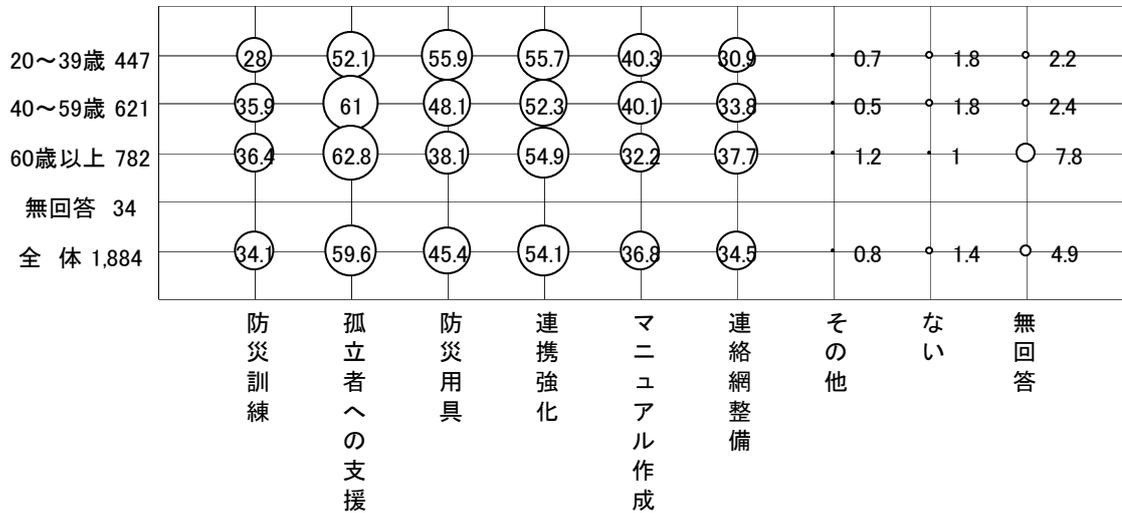


地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台
 地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸）
 地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台
 地域F：槇島町
 地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、
 地域I：伊勢田町、安田町
 地域J：神明、開町、羽拍子町、
 地域K：大久保町、
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川、
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

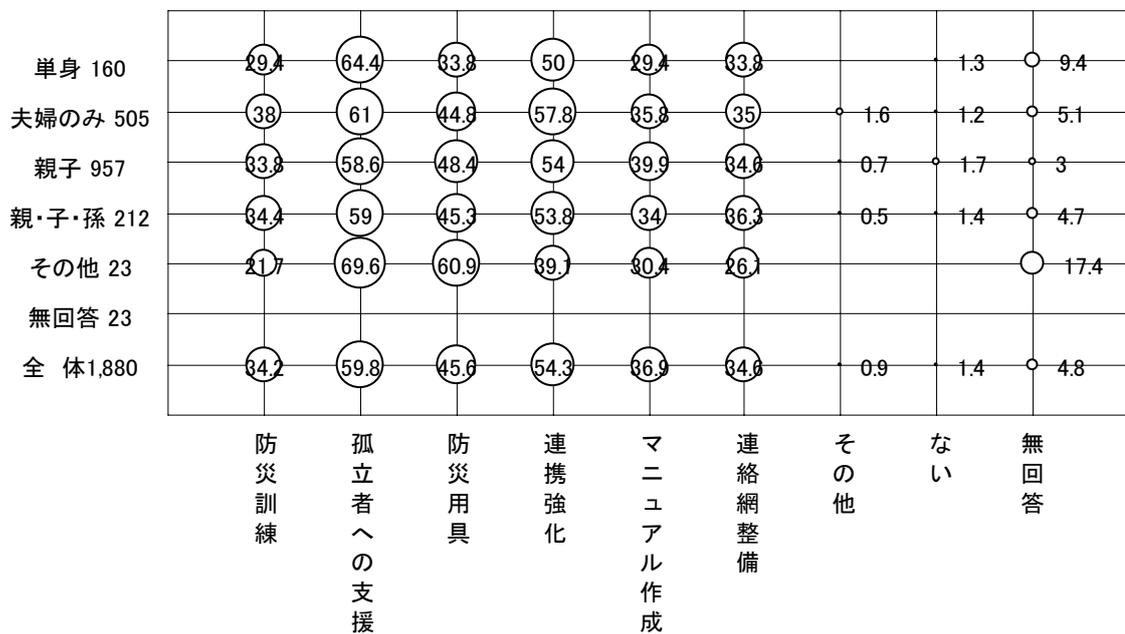
- 性別では、大きな差異はみられない。



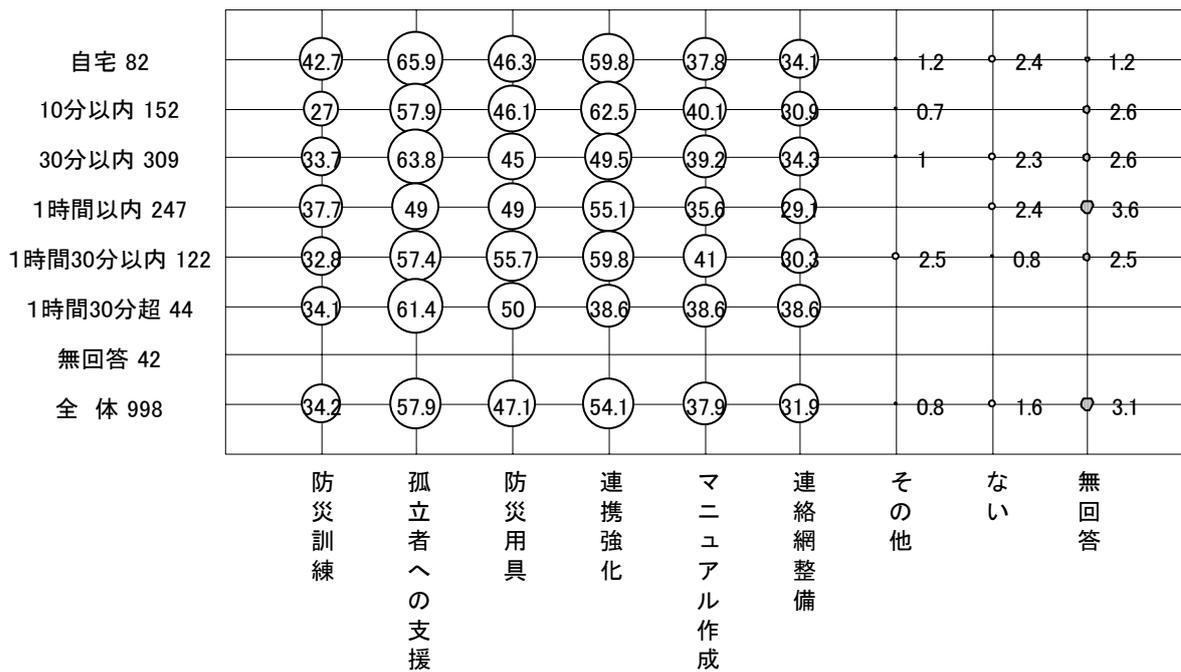
- 年齢別による顕著な相関性はみられないが、20～39歳の若い層は相対的に“防災訓練”、“孤立者への支援”、“連絡網整備”といった連携活動への回答がやや少なく、“防災用具”への回答がやや多くなっている。



- 家族構成別では、大きな差異はみられない。



- ・ 通勤・通学時間別でも、大きな差異はみられない。



*:問4で(7.無職)は、通勤・通学先はないので含んでいない。

④ 町内会・自治会による自主防災活動推進上の問題点

(4) 町内会・自治会で自主防災活動を実施する上での問題点があればお書きください。

〈意見内容の概要〉－全部で約230件

	回答数
①防災訓練の実施等に関する内容	80件
<ul style="list-style-type: none"> 自治会活動に積極的でない人が多く、また勤めている人や年配の方が多いため、参加する人が少ない。役員だけの参加になることが多い。 町内会の全ての方が参加しやすくすること。住民の全員参加と行政の主導が必要。 市等が防災活動の必要性を促し、地域が自主的に防災活動を行える環境にしていくため、防災フォーラム等を増やしてほしい。 1年に1回、定期的に防災訓練をする。 実施回数が少なく、なかなか予定が合わない。 全員参加が難しいが、活動を行っている内に意識が出てくるのを待つしかない。 若い人があまり参加できていない。 避難場所が定められているが、そこに行くまでに危険な場所が多い 町内会・自治会の防災訓練は、大地震等発生時には役に立たない。今どんな訓練をするのか、市が指導すべきである。 面白味がない為、参加する人が少ない。 毎年行っているため心配ない。 	
②災害時に孤立する人への支援等に関する内容	約30件
<ul style="list-style-type: none"> 高齢の方々への助け合いや支援が大切。避難場所や避難方法など支援活動の具体策を考える必要がある。 山間部は老人が多いため、災害がおこると避難場所の確保や救助の遅れなど、都市部よりも2次災害が増えそうな気がする。日常から全地域住民の連携を促すべきだ。 災害時、行政の指定避難場所へは高齢者や不自由な人は行けない。一時的にも自治会内での安全な場所が必要。 	
③防災用具の準備等に関する内容	約20件
<ul style="list-style-type: none"> 世帯数の少ない町内会では、予算面で防災用具の準備ができない。 自治会等で防災用具等を準備するのは無理があるので、各自で準備できるよう情報をあたえるべき。 防災用具等で必要なものはすべて市で負担するぐらいでないとなかなか前に進まない。 	
④住民同士の連携や緊急連絡網等に関する内容	約80件
<ul style="list-style-type: none"> マンションや新しい住宅地は、近所の住人の顔もわからない。住民間の意志疎通。住民同士の連携強化が必要。 個人情報問題等の関連で連絡網が作成しにくい。 様々な理由で町内会を抜ける人が増えている。 リーダー不足。 町内での活動があっても参加しない人など、町内活動への関心が薄い。 災害時、外国人とのコミュニケーションのとり方に課題がある。 災害時、頼れるのは遠くの家族ではなく、近い他人である。 町内会等に加入していない人にも、防災の情報が伝わるようにする必要がある。 町内会の行事は、必ずしも皆やりたいとは思っていない。嫌々やっている人も多いと思う。だから行事を増やしたくないし、出たくないという人が多くなる。 地域住民の防災意識が薄い。 	
⑤防災マニュアルなどの情報提供等に関する内容	約20件
<ul style="list-style-type: none"> 町内会・自治会の防災マニュアルを作成し、各家庭への配布することが必要。 マニュアル通りには何もうまくいかない。いざという時は通用しない。 町内会単位では、初動が遅れる。各自の冷静な判断が大切ということを徹底してほしい。 	
⑥その他	
<ul style="list-style-type: none"> 路上駐車やの排除。救急車等が通れない。高齢者が多い分、これから緊急時に困る。 町内会をしっかり作ってほしい。町内会が機能していないのが現状。 自主性だけでは無理があるので、行政や専門家の協力が必要。 防災活動の重要性を自覚していない人が大多数。 自治会に防災への関心、危機感が全くないので、わが家はどうしたものか不安。 先進事例を示し、その上で市全体としての枠組みの中で町内会が果たす役割を具体的に示すこと。 消防署の指導、行政の関わりにかかっている。 防災活動の必要性をしっかり説明することが大切。ただ、上から「やれ」では意味がない。 	

(7) 市が進めている施策に対する評価

① 前回調査と今回調査における市民による「これまでの施策評価」の比較（一部を抽出）

前回調査と今回調査のうち、次の項目を対比して比較を行うこととした。

対比させた項目

前回（1999年(平成11年)2月）設問	今回（2006年(平成18年)3月）設問	
行政改革の推進	行政改革の推進	
市民まちづくり会議等市政への市民参加の推進	市民参加システムの確立	
情報公開制度の確立	情報公開・提供の推進	
コミュニティセンターや集会所等の整備	地域コミュニティの育成	
友好都市との交流	国際化の推進	
宇治茶の振興	茶業の振興	
中小企業の振興	商業の振興 工業の振興	集約 商工業の振興
源氏物語のまちづくりや温泉開発事業等の観光振興	観光の振興	
地域福祉センター、特別養護老人ホーム等の高齢者福祉施設の整備	生きがい対策の充実	集約 高齢者対策の充実
小学校の空き教室を利用したデイサービスセンター等の整備	高齢者福祉サービスの充実	
成人病検診等の各種検診事業	保健・医療の推進	
生涯学習センターの建設等の生涯学習の推進	生涯学習推進体制の確立 生涯学習支援体制の充実	集約 生涯学習施策の充実
図書館の建設	図書館の活用	
学校施設の整備	小・中学校教育の充実	
市民体育館の建設	スポーツ・レクリエーションの普及	
（仮称）総合野外活動センターの建設	総合野外活動センターの活用	
紫式部文学賞・紫式部市民文化賞の主催	市民文化の創造・発展	
源氏物語ミュージアムの建設	源氏物語ミュージアムの活用	
ごみの分別収集とリサイクル	ごみの減量化及びし尿処理の推進	
宇治市植物公園の整備	植物公園の活用	
消防力の強化	消防・救急の充実	
下居大久保線、黄檗山手線等の幹線道路の整備	道路の整備	集約
生活周辺道路の整備と交通安全対策		
飲料水供給施設の整備	上水道の整備	
公共下水道・コミプラの整備	下水道（汚水）の整備	
市営住宅の建て替え	住宅の整備	
墓地公園の整備	斎場・墓地の整備	

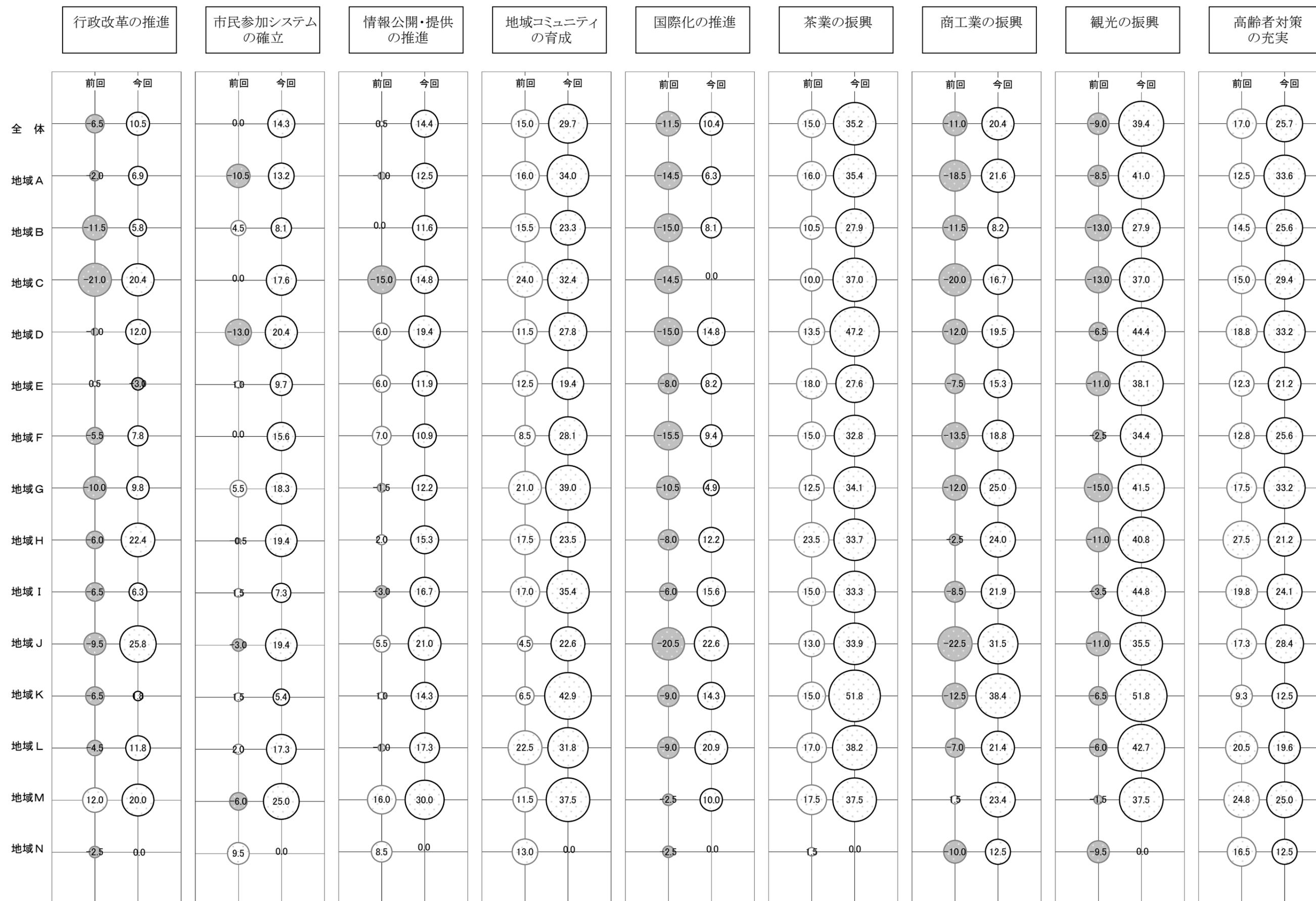
評価結果は次のようであるが、全ての項目、ほとんどの地域で、市民の「これまでの施策に対する評価」は向上している。

加重平均値の算出方法

$$\text{加重平均値} = \{ \text{高く評価する} \times (+100) \} + \{ \text{評価する} \times (+50) \} + \{ \text{あまり評価しない} \times (-50) \} + \{ \text{評価しない} \times (-100) \} \div \text{回答数}$$

*: また、前回の評価では加重平均値 = $\{ \text{高く評価する} \times (+2) \} + \{ \text{評価する} \times (+1) \} + \{ \text{あまり評価しない} \times (-1) \} + \{ \text{評価しない} \times (-2) \} \div (\text{回答数} - \text{わからない})$ としていたため、比較を行えるよう、加重平均値を50倍している。

■評価の比較



※数値は、5段階評価の加重平均値（p4参照）。グレーの丸は評価がマイナスのもの

保健・医療の推進

生涯学習施策の充実

図書館の活用

小・中学校教育の充実

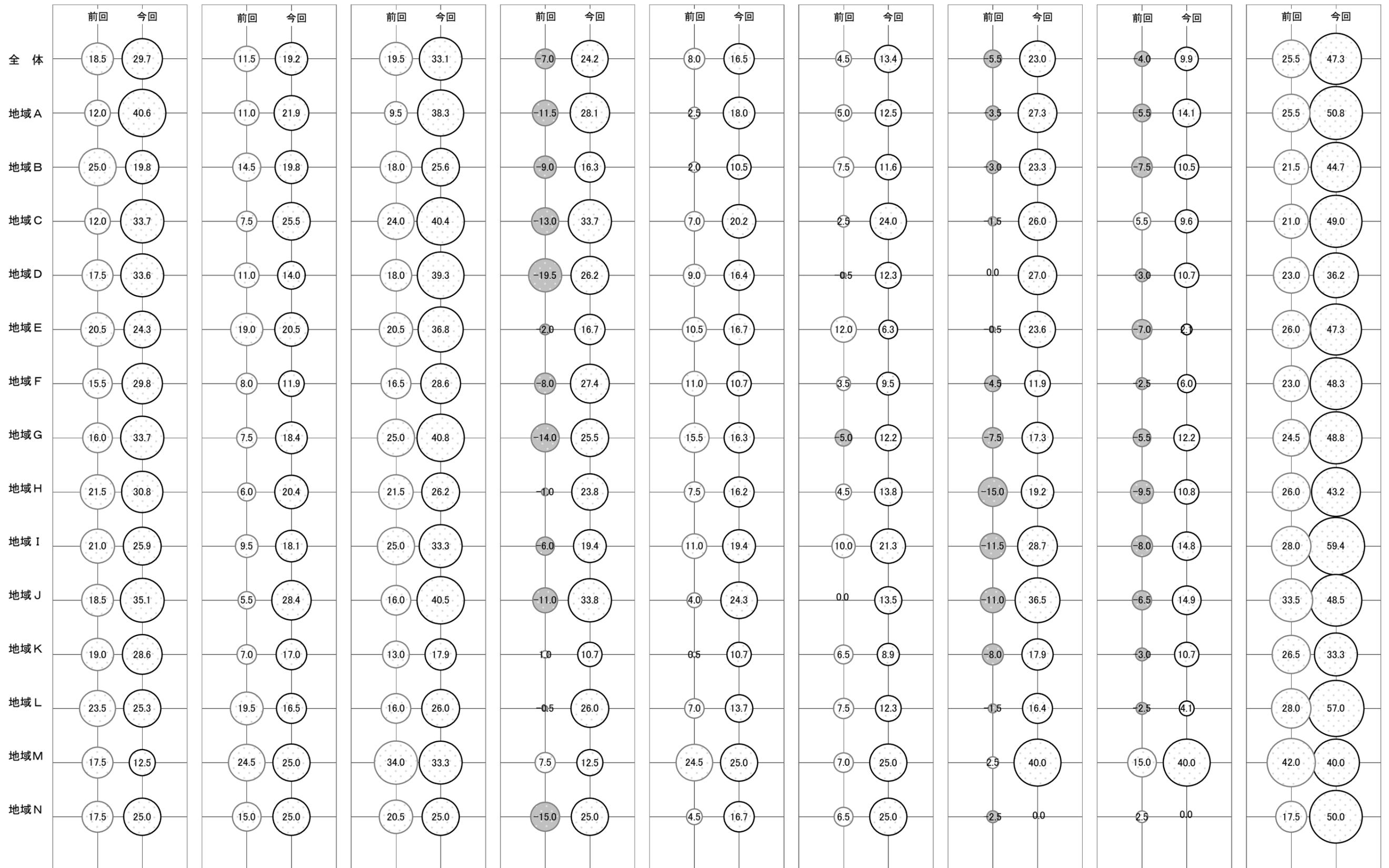
スポーツ・レクリエーションの普及

総合野外活動センターの活用

市民文化の創造・発展

源氏物語ミュージアムの活用

ごみの減量化及びし尿処理の推進



※数値は、5段階評価の加重平均値（p4参照）。グレーの丸は評価がマイナスのもの

植物公園の活用

消防・救急の充実

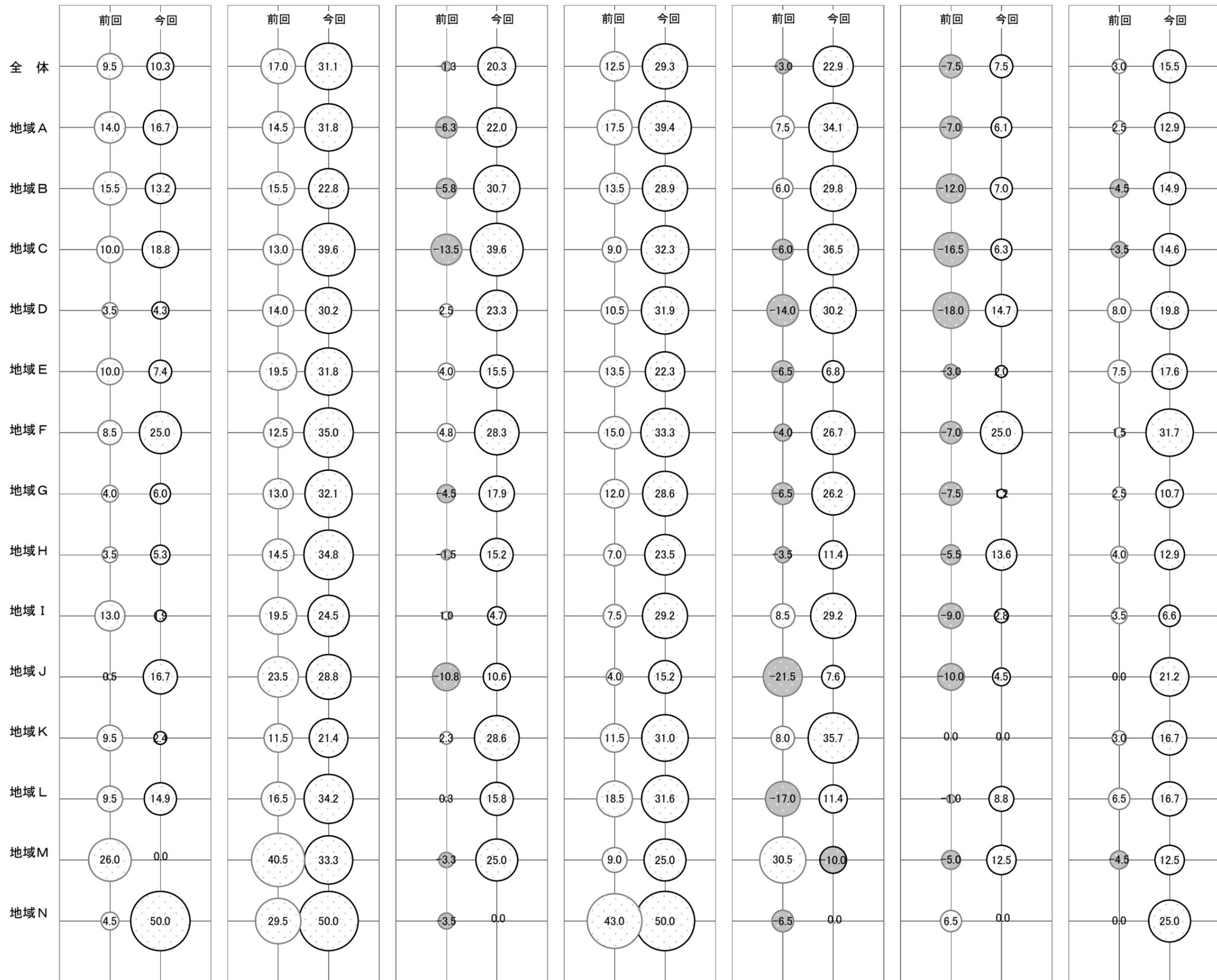
道路の整備

上水道の整備

下水道(汚水)の整備

住宅の整備

斎場・墓地の整備



※数値は、5段階評価の加重平均値（p4参照）。グレーの丸は評価がマイナスのもの

② 今回の調査の結果（全設問）

各設問の加重平均値等は、次のような結果となった。

加重平均値の算出方法

$$\text{加重平均値} = \{ \text{高く評価する・優先すべき} \times (+100) \} + \{ \text{評価する・できれば優先すべき} \times (+50) \} + \{ \text{あまり評価しない・あまり優先しなくてよい} \times (-50) \} + \{ \text{評価しない・優先しなくてよい} \times (-100) \} \div \text{回答数}$$

問15.	これまでの施策に対する評価(加重平均値)	今後の優先度(加重平均値)			情報浸透度
		0	20	40	
調査票 1 (1) 地方分権の推進	4.4			38.3	90.3%
" (2) 広域行政の推進	20.9			46.8	89.5%
" (3) 行政改革の推進	10.5			36.2	88.0%
" (4) 行政サービスの充実と改善	28.1			31.4	87.1%
" (5) 計画的・効率的な行政運営の確立	9.0			38.8	86.0%
" (6) 行政の情報化の推進	15.0			28.8	85.8%
" (7) 組織機構の確立と職員の人材育成	9.3			30.1	86.3%
" (8) 市民参加システムの確立	14.3			26.3	87.0%
" (9) 情報公開・提供の推進	14.4			38.4	87.1%
" (10) 広報・広聴活動の充実	28.6			33.9	87.8%
" (11) 地域コミュニティの育成	29.7			33.6	88.1%
" (12) 広域交流活動の促進	-6.9			-7.8	87.8%
" (13) 平等社会の実現	18.1			29.2	87.8%
" (14) 同和対策の推進	7.8			12.1	87.8%
" (15) 個人情報保護の推進	17.4			51.1	87.6%
" (16) 国際化の推進	10.4			7.9	88.3%
" (17) 平和への貢献	30.4			33.1	90.1%

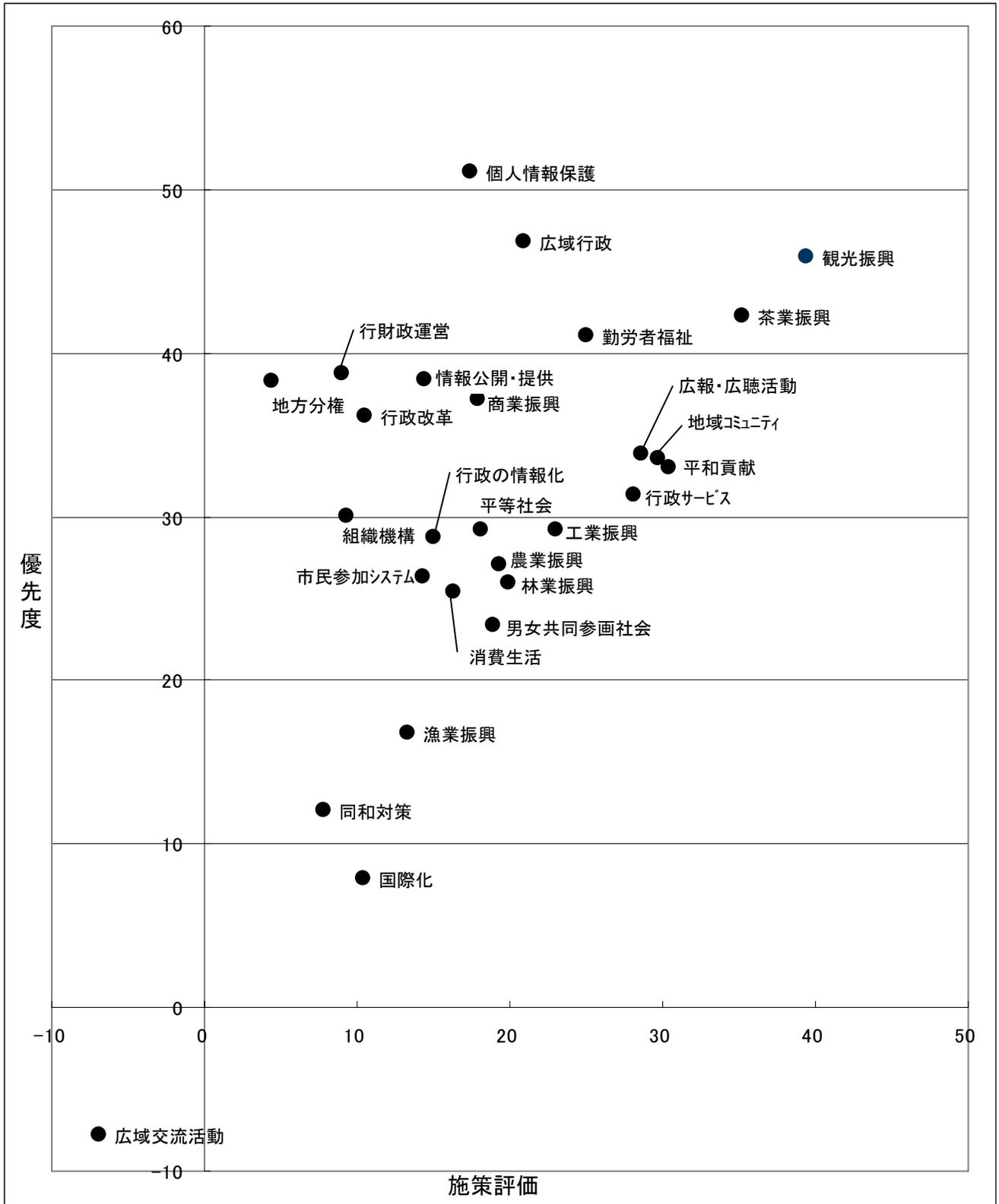
問15.		これまでの施策に対する 評価(加重平均値)			今後の優先度(加重平均値)			情報浸透度
		0	20	40	0	20	40	50%
調査票 1	(18) 男女共同参画社会の 促進		18.9			23.4		89.3 %
"	(19) 農業の振興		19.3			27.1		89.5 %
"	(20) 林業の振興		19.9			26.0		89.6 %
"	(21) 漁業の振興		13.3			16.8		89.1 %
"	(22) 茶業の振興		35.2			42.3		90.3 %
"	(23) 商業の振興		17.9			37.2		90.0 %
"	(24) 工業の振興		23.0			29.2		89.1 %
"	(25) 観光の振興		39.4			45.9		90.3 %
"	(26) 勤労者福祉の向上		25.0			41.1		89.8 %
"	(27) 消費生活の充実		16.3			25.5		89.1 %
調査票 2	(1) 長寿社会への対応 (総合的対策の拡充)		28.7			54.6		91.0 %
"	(2) 生きがい対策の充実		25.4			36.1		91.3 %
"	(3) 高齢者福祉サービスの 充実		26.0			53.0		89.7 %
"	(4) 子育て支援の充実		23.8			51.7		86.6 %
"	(5) 乳幼児保育対策の充 実		27.5			51.0		86.8 %
"	(6) 放課後児童健全育成 の充実		35.4			50.8		87.1 %
"	(7) ひとり親対策の充実		27.1			38.3		87.6 %
"	(8) 地域福祉社会の構築		16.9			28.0		87.7 %
"	(9) 障害者福祉の充実		25.0			48.3		88.3 %
"	(10) 低所得者福祉の充実		18.3			29.1		88.2 %

問15.		これまでの施策に対する評価(加重平均値)			今後の優先度(加重平均値)			情報浸透度
		0	20	40	0	20	40	50%
調査票 2	(11) 健康づくりの推進		12.3			16.6		87.3%
"	(12) 保健・医療の推進		29.7			44.9		88.5%
"	(13) 国民健康保険の充実		30.0			46.2		89.8%
"	(14) 国民年金の充実		17.5			36.7		87.1%
"	(15) 生涯学習推進体制の確立		16.2			18.9		85.9%
"	(16) 生涯学習支援体制の充実		22.2			22.7		87.4%
"	(17) 図書館の活用		33.1			36.2		88.9%
"	(18) 幼稚園教育の充実		31.1			46.0		87.2%
"	(19) 小・中学校教育の充実		24.2			51.7		86.6%
"	(20) 社会教育の促進		10.2			15.2		86.2%
"	(21) 青少年の健全育成		16.0			27.6		86.3%
"	(22) スポーツ・レクリエーションの普及		16.5			16.7		87.1%
"	(23) 総合野外活動センターの活用		13.4			15.7		87.3%
"	(24) 市民文化の創造・発展		23.0			14.6		89.1%
"	(25) 文化会館の活用		14.4			14.5		88.0%
"	(26) 文化財保護と伝統文化の継承		23.6			26.5		88.1%
"	(27) 歴史資料館の活用		14.1			12.6		87.9%
"	(28) 源氏物語ミュージアムの活用		9.9			6.3		88.3%
調査票 3	(1) 環境保全対策の強化		16.3			41.0		89.0%
"	(2) 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進		22.7			44.6		90.6%

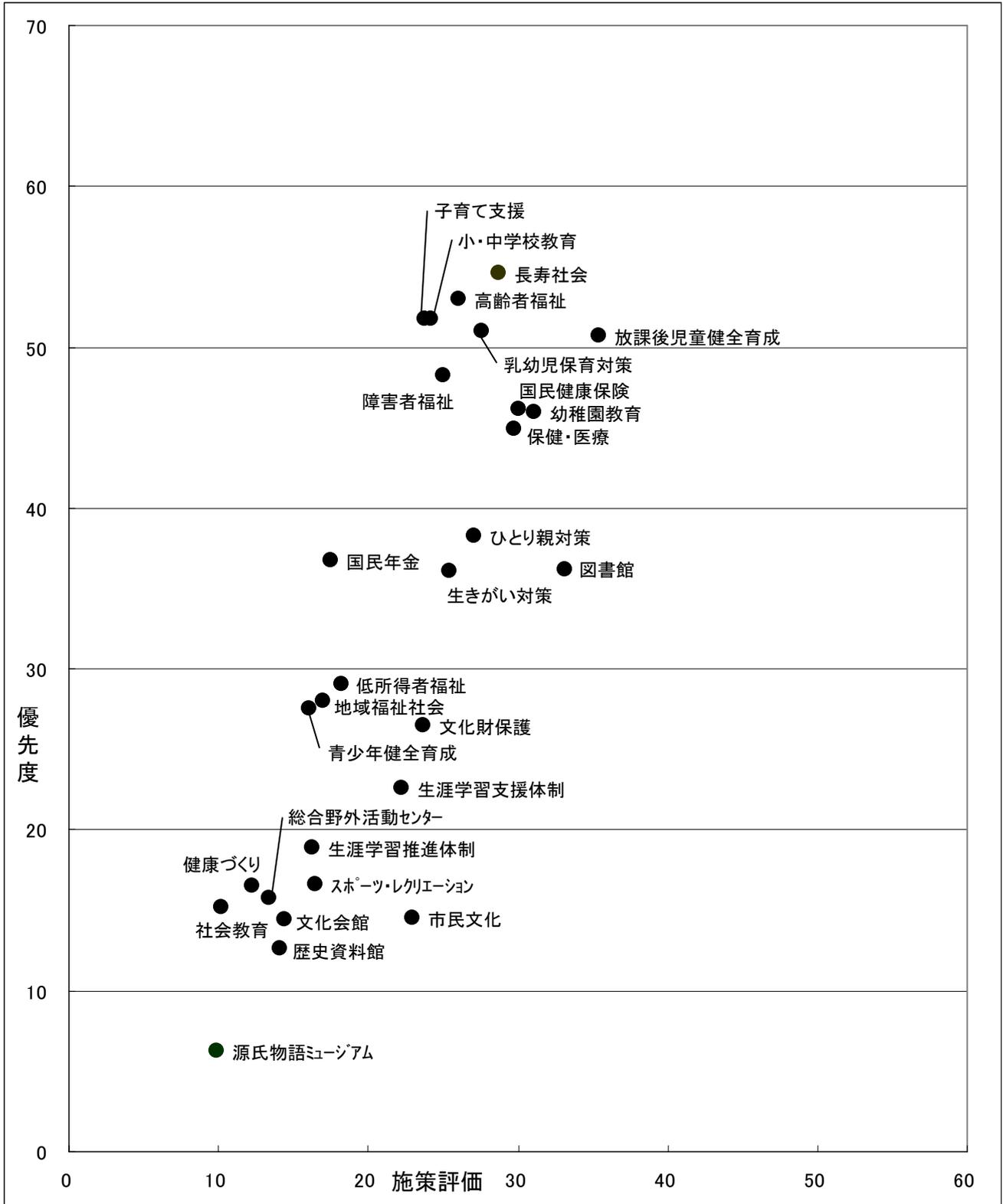
問15.	これまでの施策に対する 評価(加重平均値)	今後の優先度(加重平均値)		情報浸透度
		0	40	
調査票 3	(3) ごみの減量化及びし 尿処理の推進	47.3	59.6	92.8 %
"	(4) 自然環境の保全	20.1	44.2	89.9 %
"	(5) 緑化の推進	21.0	33.8	89.9 %
"	(6) 植物公園の活用	10.3	17.1	90.7 %
"	(7) 都市景観の形成	14.7	32.9	90.2 %
"	(8) 防災・防犯対策の拡 充	19.2	56.2	89.3 %
"	(9) 消防・救急の充実	31.1	57.3	89.5 %
"	(10) 交通安全の推進	20.1	55.7	90.9 %
"	(11) 拠点地区の整備促進	8.0	25.6	88.5 %
"	(12) 土地利用の規制・誘 導	3.1	22.0	87.2 %
"	(13) 山間地の整備促進	9.6	22.9	86.9 %
"	(14) 公共交通機関の整備	17.7	34.4	89.1 %
"	(15) 道路の整備	20.3	36.5	89.3 %
"	(16) 上水道の整備	29.3	49.1	89.5 %
"	(17) 下水道(汚水)の整備	22.9	51.8	90.2 %
"	(18) 河川・下水道(雨水) の整備	21.3	42.8	89.4 %
"	(19) 公園・緑地の整備	17.1	29.4	91.4 %
"	(20) 住宅の整備	7.5	15.4	89.4 %
"	(21) 斎場・墓地の整備	15.5	17.0	91.5 %
"	(22) 地域情報化の推進	10.4	16.5	89.5 %

*: 「情報浸透度」は、「現状の満足度」に○のついていた回答の比率

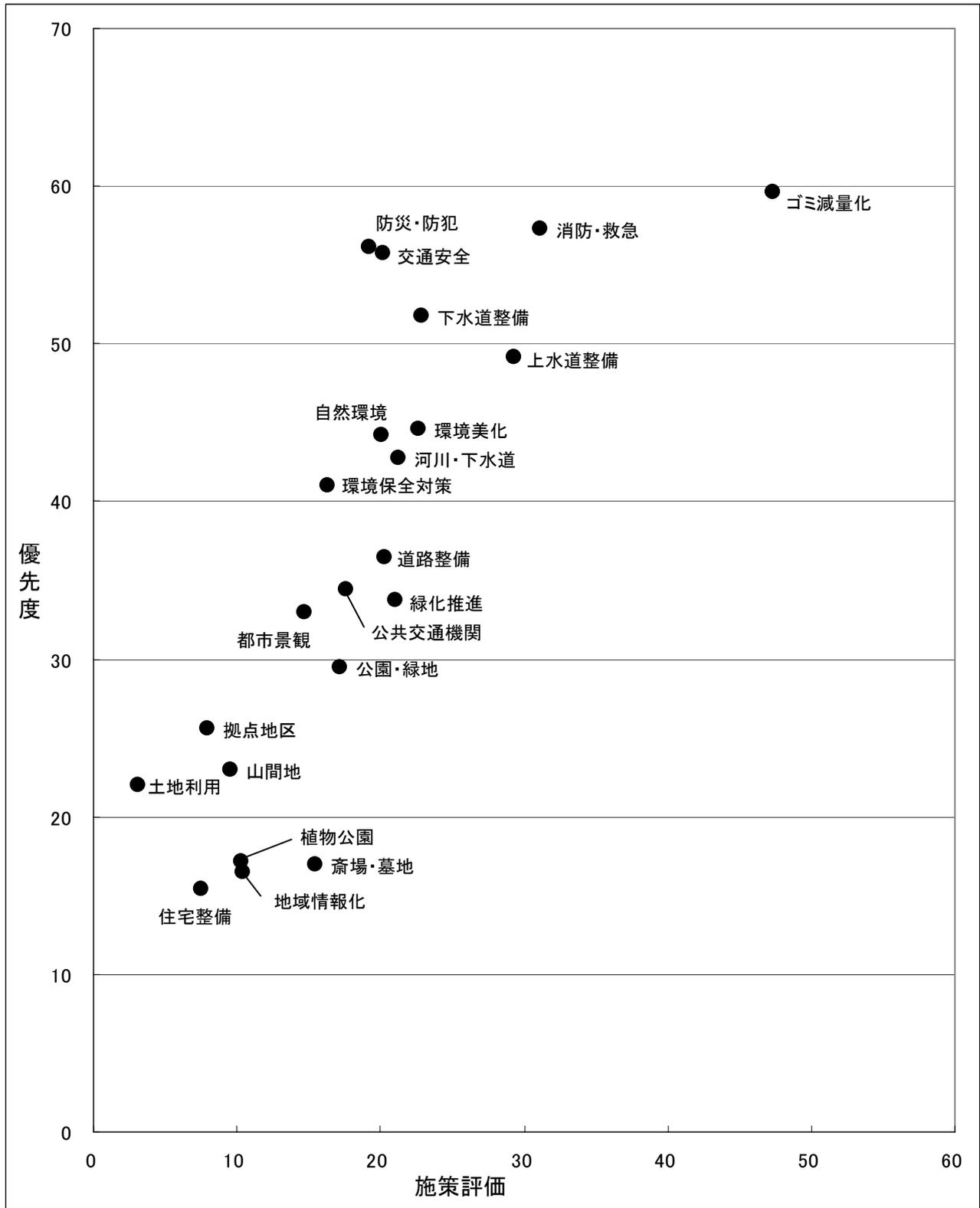
調査票 1 の結果



調査票2の結果



調査票3の結果



(8) 自由回答欄のまとめ

最後に、宇治市政全般についてご意見がございましたら、以下にご自由にお書きください。

〈意見内容の概要〉－全部で約870件

	回答数
① 市民と行政のパートナーシップによるまちづくり	
広域行政の推進	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 他市町村との合併は望まない、反対だ。 市町村合併で住民にはどんな利点があるのか、良いところを教えてください。地域が拡大すると色々な事で心配。 合併することにより、市民一人ひとりの暮らしが今より悪くならないよう最前の方で取り組み、合併が良かったと思えるように。 宇治、城陽、宇治田原、井手の合併問題について、今後はどのように推移していくか関心があるので、定期的に状況を広報願いたい。 	
行政改革の推進	約10件
<ul style="list-style-type: none"> あらゆる分野で可能な最大限、民間委託化を早急にすべき。ごみ等の民間委託。 行政改革として、職員の適正配置の検討と人員の整理。植物園の民営化又は、廃止。 行政と民間の役割分担とあるが、民間でなくても地域住民のコミュニティで出来るなら、費用的には高くなったとしても波及効果が期待できるの、でそちらを優先すべき。 	
行政サービスの充実と改善	約20件
<ul style="list-style-type: none"> 市役所は土日も開設してほしい。勤めていると平日はいけな。せめて月1回土曜日の開庁を。 庁舎の窓口の対応を良くして。人々が利用しやすいよう、サービス向上に努めてほしい。 住民の要望・要請への対応が遅い。 	
計画的・効率的な行財政運営の確立	約120件
<ul style="list-style-type: none"> 宇治市は税金が高すぎる。減額してほしい。 税金を大切に使うしてほしい、無駄遣いせず、必要なところに、少しでも有効活用を。 市職員の数を減らすべき。 市職員の給与を下げるべきだ。民間との格差がありすぎだ。 公的施設の省エネ、省資源化に努めて。 市役所が立派すぎる。 今の市政にあまり期待していない。 他市町村に比べ、施策、制度の質が低い。 市民税の使われ方がわからないので、詳細が知りたい。 適切な市政が遂行されており、不満や問題は無い。色々制約のある中、市政の努力を評価する。 施策の重点化、行政のスリム化が大切だ。 派手なハード面ばかりに目を向け、市民が本当に必要とするソフト面に全く目を向けていない。 住んでいて良かったと思えるまちづくりを基本として、厳しい財政の中、行政改革の積極的な実施や効率的な財政運営を実施してほしい。 コストを下げるためにも、小さな自治体をめざすべきだ。 10年で一昔と言われる今日、社会・時代の流れに適応していない進捗の遅いもの、長期間経過しているもの等はその必要性・緊急性に欠けていることに着目し、住民への説明と納得を得て、廃止しないまでも一旦中止し、施行年次を順延する等の措置を講じ、その財源を新規に充当することが肝要だ。 今まで行ってきたことを再評価して、現実起こっている問題に対処すべく全ての優先順位を考え直すべき。 組織や管理体制を簡素化すべし。公民館や福祉センターも、ほとんど同じ中身なのに異なる組織に属している。 源氏物語ミュージアムや植物園など、あまり利用しない施設は立派なのに、図書館はお粗末。税金の使い方を考えてほしい。 市長、助役、収入役、議員の手当が高すぎる。もう少し、奉仕精神でやるべき。 	
組織機構の確立と職員の人材育成	約40件
<ul style="list-style-type: none"> 市職員の態度が悪い。私語が多い。窓口職員の笑顔がない。テキパキと対応して欲しい。対応を良く、もう少し親切にして。 特に年配の人に多いが、やる気のない言葉づかいや態度に、とてもイヤな気がしたこともある。 仕事中、市民の見ている所でコーヒーやお茶などを飲むな。制服があるのなら、キッチリ着なさい。窓口が込んでいたら中の者が出てきて対処する。 電話対応は、顔が見えないから良いとも思っているのか、非常に悪い。 市役所の対応が概ね親切で、優しく、良い雰囲気だ。 	
市民参加システムの確立	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 市民の声が身近に聞き取れ、市民に向けられた市政であってほしい。 ボランティア活動について、活動をポイント制にして、後日、それが利用できるとうれしい。 市長は毎日市民のために頑張っているが、一般市民から見ると身近に存在感がないので、市長さんと一般市民の交流会などがあれば良い。 市民も色々な事に関心を持たないと、良いものは作っていけない。無関心の人が多いのも事実。 	

	回答数
広報・広聴活動の充実	約20件
<ul style="list-style-type: none"> 色々の活動が住民に具体的にわかるよう広報活動を行って。市民に伝わっていない。アンケートで知らなかった施策が多数あった。 市民カレンダーはいらない。会計年度の3月に配布されても不用。ステキだが必要ない。 土日祝日も、市政・事業・イベントなどを教えてくれる窓口やテレホンサービスが必要。 市のホームページは、必要な情報を取り出すのに時間がかかり、キチンと網羅しきれない部分も多い。市民の目線で作ってほしい。 市政だよりが見づらい。高齢者にも読みやすいよう大きな文字で、レイアウトもシンプルにすべき。 市政だよりのコーナーにこんな所を改善しました、こんな事を積極的に進めています、などとアピールする欄があっても良い。 	
地域コミュニティの育成	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の連携が強まる取り組みを。 	
② 人間性ゆたかで平和な社会	
同和対策の推進	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 同和対策は必要ない。 同和対策について、もうやらなくても良いのではないか。 	
③ 活力ある地域経済の振興	
茶業の振興	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 茶業振興と言いながら、茶園が消失するばかりだ。 宇治はお茶のまちということで、宇治茶も全国的に有名だが茶園をみかけない。子どもの頃は多くの茶畑があった。宇治茶をいつまでも全国に誇れるようにしてほしい。 	
商業の振興	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 商店街の活性化へのでこ入れが不足している。 商店が魅力的でない。遠方から人が来たり、リピーターになるようなまちにしてほしい。 宇治駅前の商店街の活性化にもっと力を入れて。 	
工業の振興	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 大手民間企業の誘致(レジャー関係)。 大企業優先でなく、地元産業を大切に行政を行ってほしい。 	
観光の振興	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 観光地を全国にアピールし、宇治の活性化に努めて。世界遺産のある宇治市は、観光事業をダイナミックに宣伝した方が良い。 宇治橋から上流に見える風景を、いつも誇りに感じている。 「源氏物語」一辺倒の観光行政で良いのか。 観光地である宇治駅中心、商店街や駅前の活性化をするべき。 炭山の地域も良い所だ。日本中で京都の陶芸は世界一だ。宣伝してほしい。 世界遺産を守るのに観光案内所の新設、散歩道やトイレの整備は観光協会共々、見識が浅はか。諸外国や他府県が世界遺産を守っている状況をもっと研究して。世界遺産抹消にならないように願う。 	
④ 健康でゆたかな暮らし	
高齢者への総合的対策の拡充	約20件
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者がバスや電車、植物園等を安く利用できるようにしてほしい。京都市のような格安バス・無料バスや70歳以上の無料化などの優待をしてほしい。 高齢化社会への施策を充実してほしい。高齢者が安心して暮らせるように。 一人暮らしの年寄りが生活が出来るように行政が色々な面で援助をしてほしい。 	
高齢者福祉サービスの充実	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 介護保険が高すぎる。 介護保険の使い道は厳正に審査をし、使い道を明確にしてほしい。 	
子育て支援の充実	約30件
<ul style="list-style-type: none"> このまちで子どもを無事に育てていける、安全で安心できるまちづくりを、何よりも考えてほしい。 近隣市町村に比べると、子どもや子育てに関する事が少なすぎる。 子育てに優しい街だと聞いた。実際、子育てセンターなどあり助かった。 宇治で生まれた子は宇治市が責任をもって育てる意気込みで、思いやりのある市政にしてほしい。 子どもが多くても遊ぶところがない。 	
障害者福祉の充実	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 障害者が住み良い環境づくりをしてほしい。 障害者自立支援法の施行に伴い、障害者の負担が軽減され、本当に障害者が自立でき、地域で暮らせる宇治市の実現に期待する。 	
低所得者福祉の充実	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 生活保護の対象者は厳正に審査をすべき。本当に必要な人に渡るよう、細かい調査が必要。 生活保護の金額が多いのではないか。 低所得者を対象とした貸付制度は、もっと低所得者が借りやすいように充実して。 	
健康づくりの推進	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ゲートボールやグラウンドゴルフなどの運動する場所が少なすぎる。 	

	回答数
保健・医療の推進	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 20歳以上の無料の女性検診の充実を。 もう少し、休日診療医を増やしてほしい。 	
⑤ 歴史かある文化の創造と生涯学習の推進	
図書館の活用	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 図書館の開館時間を延長してほしい。 図書館等の公共施設は交通の便も悪く、利用しにくい。 	
小・中学校教育の充実	約20件
<ul style="list-style-type: none"> 中学校も給食にしてほしい。 学力の低下がみられる為、教育について色々検討し、改善してほしい。 住宅が増えすぎて、学校に入りきれない。 大久保小の増築の件をはじめ、地域住民や関わる団体の意見等、構想する前に吸い上げて、実施等お願いしたい。 以前の宇治小のように、大久保小学校と消防署との併設がなぜできなのか。 	
スポーツ・レクリエーションの普及	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 市の温水プール施設をつくってほしい。 	
市民文化の創造・発展	約10件
<ul style="list-style-type: none"> スタンプラリーは、市民に定着したと思う。あれだけの参加があるのなら、予算は今まで通りバッジやお楽しみ抽選にあて、募金形式で集めてはどうか。 	
文化会館の活用	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 文化センターは、城陽市に比べて、魅力ある内容のものが乏しい。催しを充実させてほしい。 文化センターを使用するには細かい規定があり、事務手続等がスムーズでなく使いにくい。 	
文化財保護と伝統文化の継承	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 歴史都市だということを前面に出し、市民はもちろん、市外にもアピールしてほしい。 宇治は歴史や文化財に恵まれている。その保護と活用を。 	
源氏物語ミュージアムの活用	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 源氏ミュージアムは料金が高く、また市民が何度も行こうと思える企画がない。 	
⑥ 安全でうるおいのある環境	
環境保全対策の強化	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 宇治で暮らすようになって喘息になった。大型車による排気ガスが主な原因で、マスク無しでは外出できない。 車道の大型ダンプカーの数の多さにビックリする。 トラック、ディーゼル規制をしてほしい。 	
環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 犬猫の糞尿に困る。飼い主のマナー向上の施策や、罰則を設けて欲しい。 山間部の不法投棄をもっと見回りしてほしい。山道にあるゴミを処理すべき。 	
ごみの減量化及びし尿処理の促進	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ゴミ処理については、京都市より分別収集が進んでおり、評価している。 ゴミの分別袋を燃えないゴミの時は透明に決める。 	
自然環境の保全	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 緑豊かな街にしてほしい。 観光百選の宇治川を元の姿に戻し、市鳥のカワセミが棲息できるように願う。現状の宇治川の姿は情けない。 森林伐採が目立つ。 	
植物公園の活用	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 年間2億円の赤字と言われる植物公園を廃園にして。植物園はいらない。 植物園は料金が高く、市民が何度も行こうと思える企画がない。 植物園は入場料が高い。もう少し安く、100円以下、無料化にしてほしい。 	
都市景観の形成	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 平等院の近くに建物を建てないようにして、世界遺産を守るには、周辺の景観も大切だ。 歴史ある観光資源や街並みを大切に、大規模開発などは控えてほしい。市の顔である中心部の景観保存は厳しい規制で守って。大型マンションが増加しているが、地域との調和を重視して。 景観保全のため、電柱等を地下に埋設できればよい。 名所・旧跡といえば、本命の施設は勿論だが、町並み景観も大切。宇治橋付近の風景は京都嵐山よりも美しい。 	
防災・防犯対策の拡充	約30件
<ul style="list-style-type: none"> 犯罪のない安全な地域になるように、防犯対策をしてほしい。 警察による見回りを強化して欲しい。 宇治市は児童の事件が多すぎる汚名を反省し、子どもの安全を確保することに取り組む必要がある。 子どもたちの防犯活動に参加したいが、仕事をもっている人には日常的には無理。市からガードマンを派遣した方がよい。 宇治市における児童殺傷事件等、全国における宇治市のイメージが悪く見られる傾向があり悲しい。子どもたちを守るため、のびのびとした生活が出来るよう、多くの市民の協力が必要。 夜間の防犯のため、街灯を増やしてほしい。 町並交差点付近に交番がほしい。 	

	回答数
交通安全の推進	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 信号機の見直し。いらぬ信号機は取り除く。信号機の時間見直し等を。 	
⑦ 快適で便利な都市	
土地利用・拠点地区の整備促進・山間地の整備促進	約20件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画に沿った充実・整備を早く進めてほしい。 ・ 宇治地域中心部に備えている施設の利用、活用するのに不便であり、西宇治地域にも各施設を造ってほしい。 ・ 市役所付近の道路・公園等は整備されているが、木幡地域は整備されていない。 ・ 槇島町に住んでいるが、主要機関が宇治駅周辺の一部に集中していて、行政の恩恵がない。 ・ 生涯学習センター等、中枢施設はほとんど市役所周辺に集約しており、行きたくても交通費もバカにならない。宇治市民が利用しやすいように考えてほしい。 ・ 山間部に住んでいると市政から取り残されているという思いが強い。 	
公共交通機関の整備	約20件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治市内の移動がしにくい。便利な交通機関がない。市役所に行くにも不便。 ・ 近鉄向島駅と小倉駅の間に新駅が必要。 ・ 宇治市内の循環バスを100円均一などの低料金で運行してほしい。 	
道路の整備	約70件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路の整備をしてほしい。狭い、危険、渋滞する。 ・ 子どもや高齢者も安全に歩ける道を。歩行者優先のまちに。 ・ 道路の段差をなくしてほしい。 ・ 道路の拡張整備を優先してほしい。道が狭くて走りにくい。 ・ 宇治淀線の整備を(交通渋滞解消、歩道整備)。 ・ 大久保周辺の歩道の路面が悪い。 ・ 隠元橋の早期完成とその付近の整備。 ・ JR木幡駅の踏切の通路に段差があるので、車の多いときなど危ない。 	
上水道・下水道の整備	約20件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道の整備を早くしてほしい。普及率が悪い。 ・ 上下水道の料金が安い。 	
河川・下水道(雨水)の整備	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治川の治水を最優先にし、絶対に洪水にならないようにしてほしい。 	
公園・緑地の整備	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの遊び場がほしい。 ・ 雨の日でも遊ぶことができる施設を作してほしい。 	
⑧ その他	
アンケートについて	約30件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 問15の設問など、実態を知らない、わからない、評価も不明で答えられない。事前にPRしてあれば評価もできた。 ・ 設問の内容がわかりにくい。理解できない。カタカナ文字は語句説明などの気配りを。 ・ アンケートをとるだけではダメだ、活かさなくては意味がない。 ・ アンケートを真面目に検討・分析して、次の市政に反映されることを切に願う。 	
まち全体について	約40件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住み良い宇治市であってほしい。 ・ 宇治の歴史や名所を市民のみんなに伝え、誰もが知って誇れるまちに。せっかく世界文化遺産も多くあるのだから、宇治市の魅力をアピールすることが大切。 ・ 宇治市民として誇りをもっている。これからも良いまちであってほしいと願う。 ・ 子どもたちが安心して住めるまちに。 ・ 宇治市は新旧混じった街並みで、ベッドタウンもあれば平等院等の国宝・重要文化財もある。こじんまりとした、とても住み良いところだ。 ・ 素晴らしい歴史と環境をもった宇治を出来るだけ良い形で次の世代に残せるように。 	
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員定数の削減。 ・ 市は透明性に欠けている。 ・ 宇治に住んで約1年、まだ良く解らない。 ・ 住みやすい土地だと思う。 ・ 市政について、あまりにも知らないことに気づかされた。 ・ 宇治市に入居して2年になるが、高齢のため市の色々な活動がまだよく分からない。福祉の方では感謝している。 ・ 市長さん、議員さん、役所の皆さん、頑張ってください。有難うございます。 	

3. 町内会・自治会意識調査

(1) 町内会・自治会の概要

① 居住地域

問1. お住まいの地域

- | | | | | | |
|---------------------------------------|---|---------------------------------|---------|---------|---------|
| 1. 六地蔵 | 2. 木幡① (熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山) | | | | |
| 3. 木幡② (木幡①以外) | 4. 平尾台 | 5. 五ヶ庄 | 6. 羽戸山 | 7. 菟道 | |
| 8. 明星町 | 9. 志津川 | 10. 炭山 | 11. 二尾 | 12. 池尾 | 13. 東笠取 |
| 14. 西笠取 | 15. 宇治① (半白、蔭山、御廟) | 16. 宇治② (乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸) | | | |
| 17. 宇治③ (宇治①、②以外) | 18. 琵琶台 | 19. 折居台 | 20. 天神台 | 21. 白川 | |
| 22. 神明① (石塚) | 23. 神明② (石塚以外) | 24. 羽拍子町 | 25. 南陵町 | 26. 槇島町 | |
| 27. 小倉町① (西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際) | 28. 小倉町② (小倉町①以外) | | | | |
| 29. 伊勢田町① (北山、砂田、中遊田、南遊田、遊田) | 30. 伊勢田町② (伊勢田町①以外) | | | | |
| 31. 安田町 | 32. 開町 | 33. 大久保町 | 34. 広野町 | 35. 寺山台 | |

- ・ 回答者の居住地は、前回調査（1999年（平成11年）2月実施）と、今回調査の回答数の多い順位を比較すると、若干、回答数の多い地域が異なってきている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
前回調査	宇治③	五ヶ庄	木幡①、大久保町		伊勢田町	槇島町
今回調査	宇治③	大久保町	五ヶ庄	木幡①	木幡②	伊勢田町

地区名	回収数		地域名	回収数	
六地蔵	7	1.6%	地域A	44	10.1%
木幡②	34	7.8%			
平尾台	3	0.7%			
木幡①	41	9.4%	地域B	41	9.4%
五ヶ庄	42	9.7%	地域C	42	9.7%
菟道	20	4.6%	地域D	30	6.9%
明星町	1	0.2%			
羽戸山	3	0.7%			
宇治②	6	1.4%			
宇治③	56	12.9%	地域E	60	13.8%
琵琶台	2	0.5%			
天神台	1	0.2%			
折居台	1	0.2%			
槇島町	29	6.7%	地域F	29	6.7%
小倉町①	21	4.8%	地域G	21	4.8%
宇治①	15	3.5%	地域H	31	7.1%
小倉町②	15	3.5%			
南陵町	1	0.2%			
伊勢田町①	15	3.5%	地域I	34	7.8%
伊勢田町②	18	4.1%			
安田町	1	0.2%			

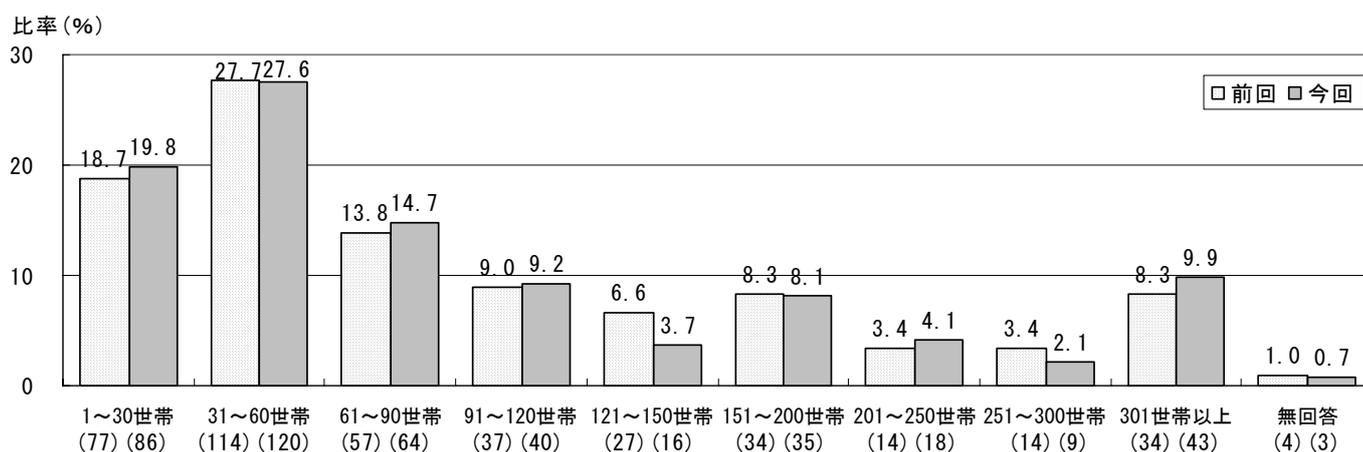
地区名	回収数		地域名	回収数	
神明①	5	1.2%	地域J	21	4.8%
神明②	8	1.8%			
開町	4	0.9%			
羽拍子町	4	0.9%			
大久保町	44	10.1%	地域K	44	10.1%
広野町	27	6.2%	地域L	27	6.2%
寺山台	0	0.0%	地域M	2	0.5%
白川	1	0.2%			
志津川	1	0.2%	地域N	5	1.2%
炭山	1	0.2%			
東笠取	1	0.2%			
西笠取	1	0.2%			
二尾	1	0.2%			
池尾	1	0.2%			
無回答	3	0.7%	地域不明	3	0.7%
計	434	100.0%	計	434	100.0%

② 町内会・自治会の世帯数

問2. あなたの町内会・自治会に属するおおよその世帯数

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 1～30世帯 | 2. 31～60世帯 | 3. 61～90世帯 |
| 4. 91～120世帯 | 5. 121～150世帯 | 6. 151～200世帯 |
| 7. 201～250世帯 | 8. 251～300世帯 | 9. 301世帯以上 |

- ・ 前回調査と同様に、90世帯以下で全体の約6割を占めている。この90世帯以下の町内会・自治会の比率は、前回の60.2%から、今回は62.1%へと増加している。



町内会・自治会の世帯数

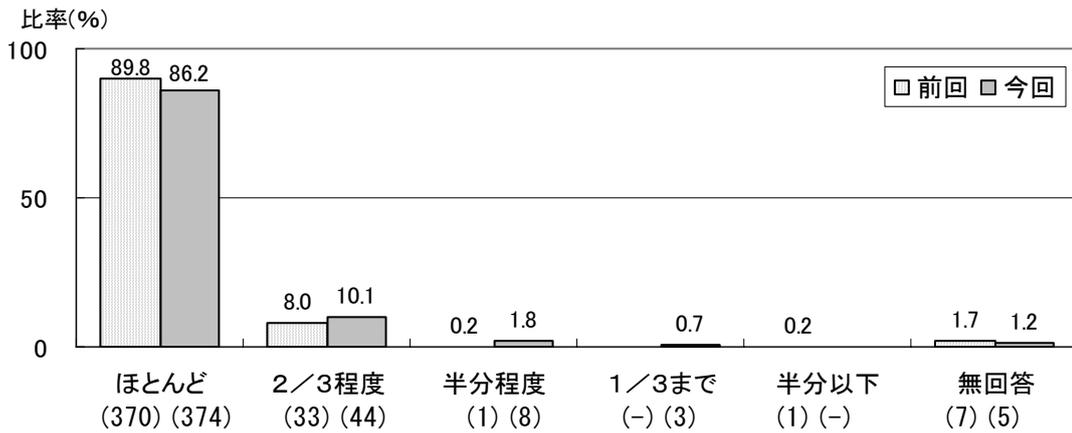
*: () は、前回、今回の回答数

③ 町内会・自治会への加入率

問3. あなたの町内会・自治会のおおよその加入率

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. ほとんど全部の世帯（が加入） | 2. 3分の2程度の世帯（が加入） |
| 3. 半分程度の世帯（が加入） | 4. 3分の1程度までの世帯（が加入） |

- ・ 現状においても“ほとんど”が9割近くに達しているが、前回調査に比べて、“ほとんど”の比率が減少、“2/3程度”、“半分程度”が増加している。



加入率

*: () は、前回、今回の回答数

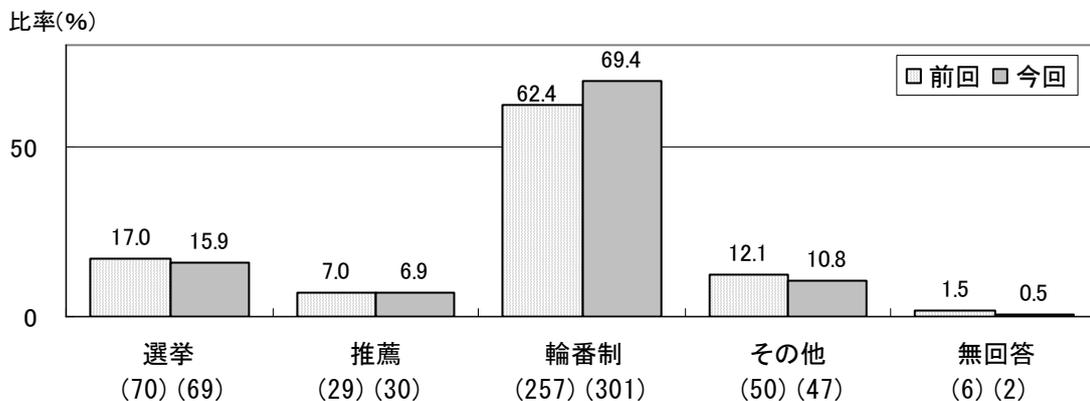
④ 役員等の選出方法

問4. あなたの町内会・自治会での役員等（三役や組長）の選出方法

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 会員による選挙 | 2. 多数の会員の推薦 |
| 3. 輪番制（持ち回り制） | 4. その他（具体的に) |

複数回答の算出方法：回答比率（%）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

- ・ “輪番制”が、前回調査よりも増加し、7割近くに達している。



選出方法

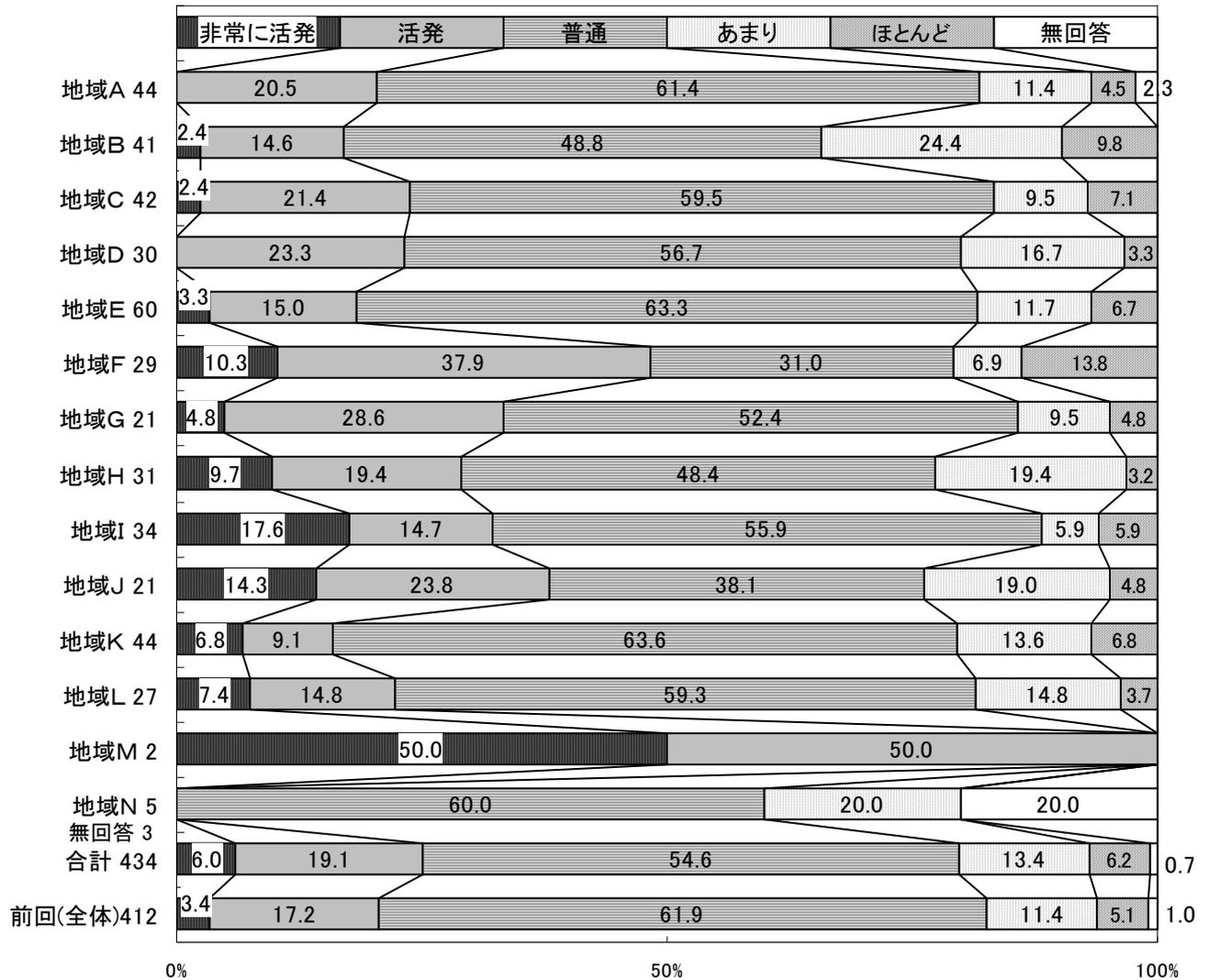
*: () は、前回、今回の回答数

⑤ 活動状況

問5. あなたの町内会・自治会の活動状況

1. 非常に活発である 2. 活発である 3. 普通
4. あまり活動していない 5. ほとんど活動していない

- ・ 前回調査と比較して、“普通”が減少しているが、“非常に活発”と“活発”は、前回調査よりも増加しており、合わせて1/4に達している。また、“あまり活動していない”と“ほとんど活動していない”も前回調査より増加している。
- ・ 地域別では、“非常に活発”と“活発”の計が多いのは回答が2しかない地域Mを除くと、地域F、“あまり”と“ほとんど”の計が多いのは地域Bとなっている。



- 地域A：六地蔵、木幡②（木幡①以外）、平尾台
 地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齊、金井戸）
 地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台
 地域F：横島町
 地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、
 地域I：伊勢田町、安田町
 地域J：神明、開町、羽拍子町、
 地域K：大久保町、
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川、
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

⑥ 行事等への住民の参加状況

問6. あなたの町内会・自治会での行事等への住民の参加状況

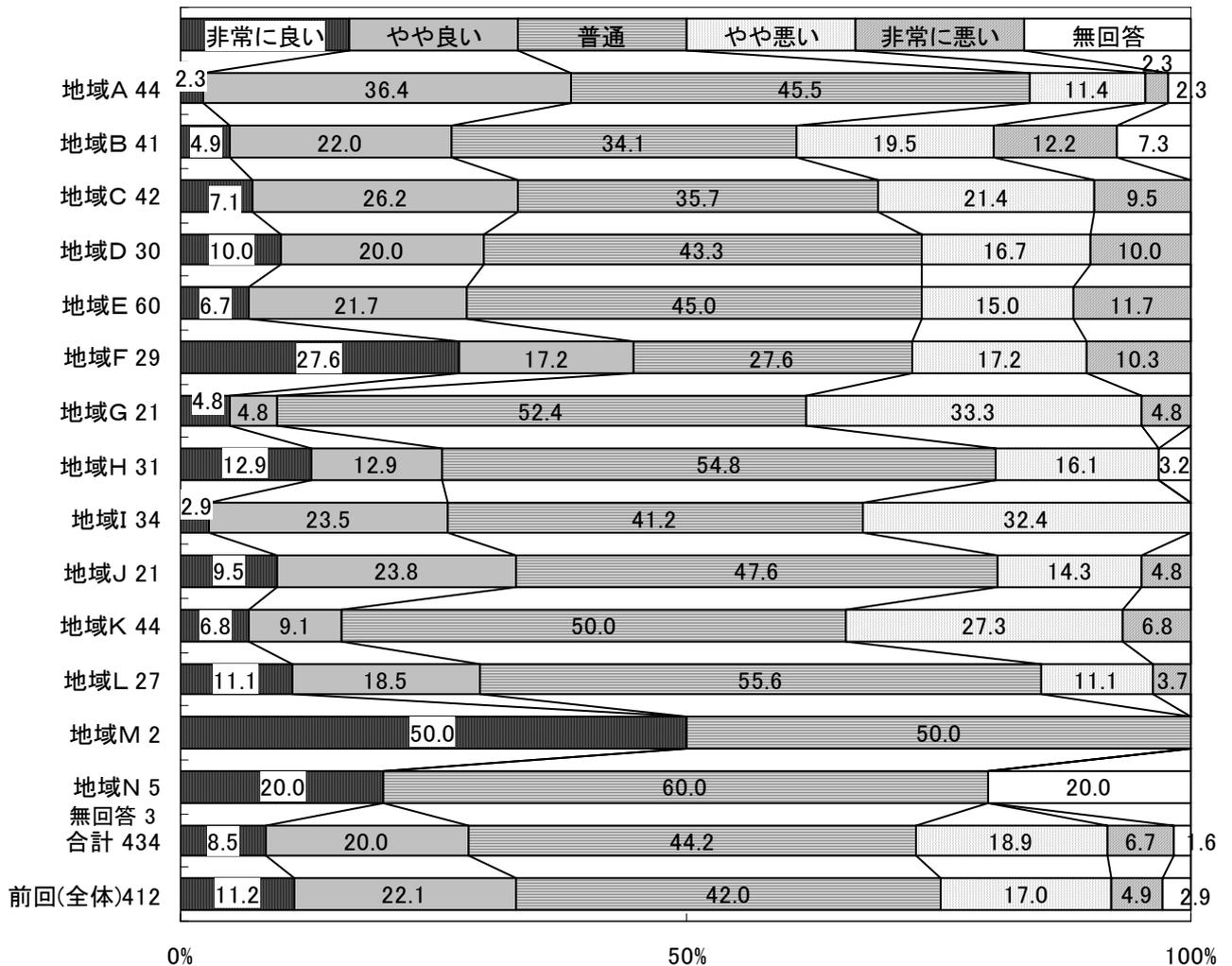
1. 非常に良い 2. やや良い 3. 普通
4. やや悪い 5. 非常に悪い

- ・ 前回調査と比較して“非常に良い”、“やや良い”が減少している。
- ・ 前ページの⑤活動の状況における“非常に活発”と“活発”の計、この⑥の設問における“非常に良い”と“やや良い”の計の順位により、⑤と⑥の相関性をみると、次のように「活発に町内会・自治会活動を行われている地域が、必ずしも活発な住民参加を得ている。」とも言えない状況にある。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位
⑤の小計	●地域M	●地域F	地域J	地域G	地域I	地域H	地域C
⑥の小計	● "	"	地域A	地域C、地域J	地域D	地域L	

*: ●は、回答比率の計が4割以上の地域

- ・ 回答が2しかない地域Mを除くと、“非常に良い”が最も多いのが地域F、“やや悪い”と“非常に悪い”の合計が最も多いのが地域Gとなっている。



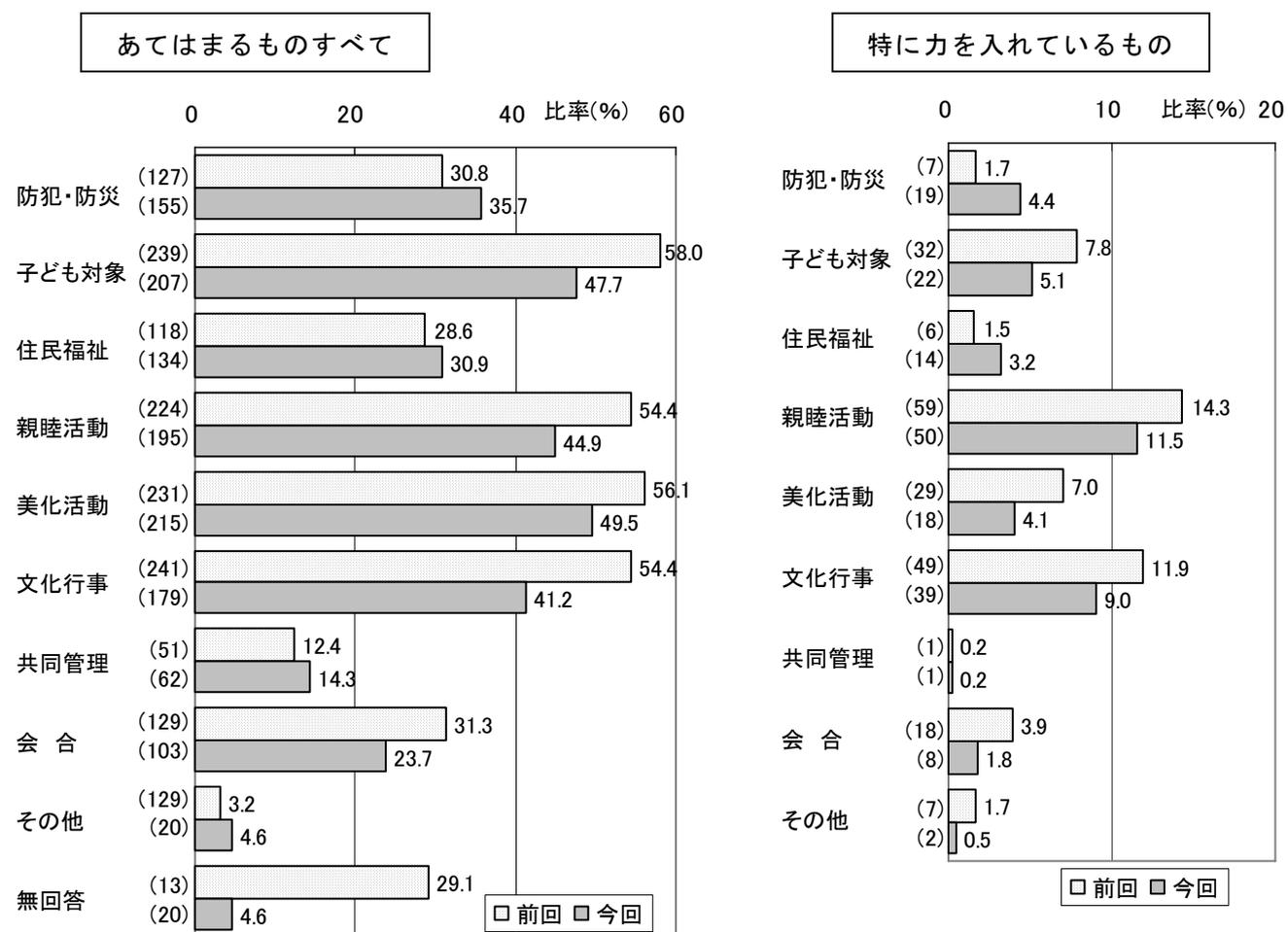
(2) 活動内容や問題点等（問7～問9）

① 現状の活動内容

問7. あなたの町内会・自治会では、どのような活動を行っていますか。あてはまるものすべてに○印を、その中でも特に力を入れているもの1つに◎印をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 地域の防犯・防災活動 | 2. 子どもを対象とした活動 |
| 3. 住民相互の助け合い、福祉活動 | 4. 町内の親睦を目的とした各種活動 |
| 5. 地域清掃や美化活動 | 6. 祭りなどの地域文化行事 |
| 7. 地域財産や建物などの共同管理 | 8. 地域の問題解決を目的とした会合 |
| 9. その他（具体的に | ） |

・ 全体的な回答比率の傾向は、前回調査と同様であるが、「あてはまるものすべて」、「特に力を入れているもの」ともに“防犯・防災”、“住民福祉”が増加している以外、他の活動は概ね低下している。



*: () は、前回、今回の回答数

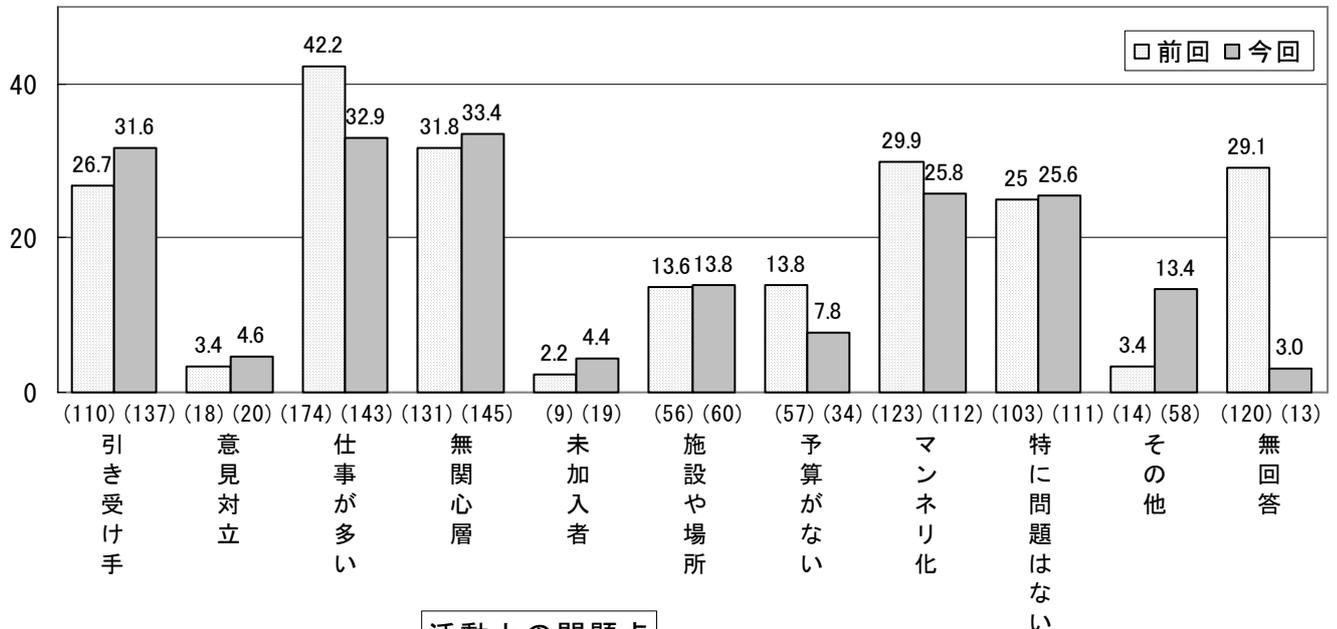
② 活動上の問題点

問8. あなたの町内会・自治会の活動で、どのような問題がありますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 役員の引き受け手がない | 2. 組織内部で意見が対立してしまう |
| 3. 回覧や集金の仕事が多い | 4. 無関心層が多い |
| 5. 未加入者が活動の支障となっている | 6. 活動する施設、場所がない |
| 7. 予算がない | 8. 活動がマンネリ化している |
| 9. 特に問題はない | 10. その他（具体的に ） |

・ 全体的な回答比率の傾向は、“仕事が多い”、“引き受け手”、“無関心層”、“マンネリ化”を問題とする回答が多く、前回と同様の傾向が伺える。

比率(%)



活動上の問題点

*: () は、前回、今回の回答数

③ 地域課題の状況

問9. あなたの住んでいる地域では、どのような地域課題がありますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 道路が未整備、幅が狭い | 2. 交通の便が悪い |
| 3. カーブや交差点など危険な場所がある | 4. 迷惑駐車が多い |
| 5. 側溝・溝蓋が未整備、老朽化している | 6. 騒音・振動・異臭がある |
| 7. 買い物の便が悪い | 8. 犯罪が多い |
| 9. ごみの分別や収集のルールが守られていない | 10. 放置自動車・自転車がが多い |
| 11. 自然環境が悪化している | 12. 公園・緑地が少ない |
| 13. 集会施設が遠い | 14. 医療・保健施設が遠い |
| 15. 高齢者や障害者等の福祉施設が遠い | 16. 地域が教育に無関心である |
| 17. 地域の連帯感がない | 18. 地域内で意見の対立がある |
| 19. その他（具体的に | ） |

- 市全体としての課題は、“迷惑駐車”、“危険な場所”、“側溝等”が3割を越え、続いて“道路未整備”、“連帯感なし”、“福祉施設”、“公園等”、“ごみ収集”の順になっている。

また、市合計で前回調査と今回調査のうち、回答比率が1割以上のものを比較すると次のようになる。

回答比率が減少している課題	道路未整備、迷惑駐車、騒音等、ごみ収集、放置自動車等、公園等、集会所が遠い、福祉施設
回答比率が増加している課題	交通の便、危険な場所、側溝等、買物が不便、医療施設等、連帯感なし

- 地域別では、次のような結果となっている。

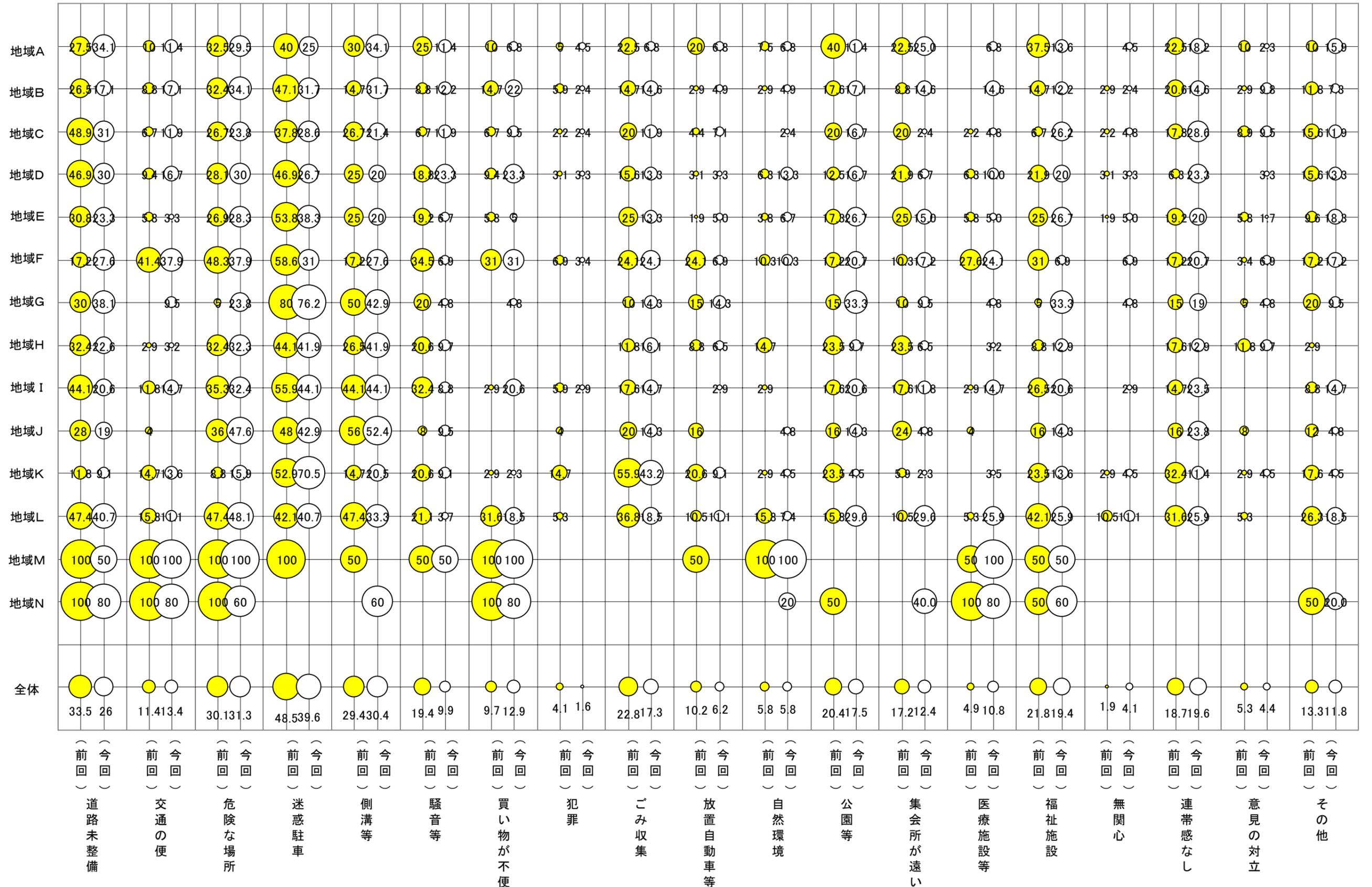
	今回、30%以上の指摘のある課題	前回より回答比が10ポイント以上減少している課題	前回より回答比が10ポイント以上増加している課題
地域A	道路未整備、側溝等	迷惑駐車、騒音等、ごみ収集、放置自動車等、公園等、福祉施設	
地域B	危険な場所、迷惑駐車、側溝等	●迷惑駐車	●側溝等、医療施設等
地域C	道路未整備	●道路未整備、集会所が遠い	福祉施設、連帯感なし
地域D	道路未整備、危険な場所	●道路未整備、迷惑駐車、集会所が遠い	買物が不便、連帯感なし
地域E	迷惑駐車	●迷惑駐車、騒音等、ごみ収集、集会所が遠い	
地域F	交通の便、危険な場所、迷惑駐車、買物が不便	●危険な箇所、●迷惑駐車、騒音等、放置自動車等、福祉施設	道路未整備、側溝等
地域G	道路未整備、迷惑駐車、側溝等、公園等、福祉施設	騒音等	危険な場所、●公園等、●福祉施設
地域H	危険な場所、迷惑駐車、側溝等	騒音等、公園等、集会所が遠い	●側溝等

	今回、30%以上の指摘のある課題	前回より回答比が10ポイント以上減少している課題	前回より回答比が10ポイント以上増加している課題
地域 I	危険な場所、迷惑駐車、側溝等	道路未整備、●迷惑駐車、騒音等	買物が不便、医療施設等
地域 J	危険な場所、迷惑駐車、側溝等	集会所が遠い、放置自動車等	●危険な場所
地域 K	迷惑駐車、ごみ収集	騒音等、犯罪、●ごみ収集、放置自動車等、公園等、連帯感なし	●迷惑駐車
地域 L	道路未整備、危険な場所、迷惑駐車、側溝等	側溝等、騒音等、買物が不便、ごみ収集、福祉施設	公園等、集会所が遠い、医療施設等
地域 M	道路未整備、交通の便、危険な場所、騒音等、買物が不便、自然環境、医療施設等、福祉施設	●道路未整備、迷惑駐車、側溝等、放置自動車等	●医療施設等
地域 N	道路未整備、交通の便、危険な場所、側溝等、買物が不便、集会所が遠い、医療施設等、福祉施設	●道路未整備、●交通の便、●危険な場所、●買物が不便、公園等、●医療施設等	●側溝等、自然環境、●集会所が遠い、●福祉施設

*:●は、前回より回答比率が10%以上増減し、かつ3割以上の回答比率がある項目

複数回答の算出方法：回答比率（%）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

地域課題の比較



地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台、
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）、
 地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）、
 地域J：神明、開町、羽拍子町、

地域K：大久保町、

地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、
 地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台、
 地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、
 地域L：広野町、寺山台、

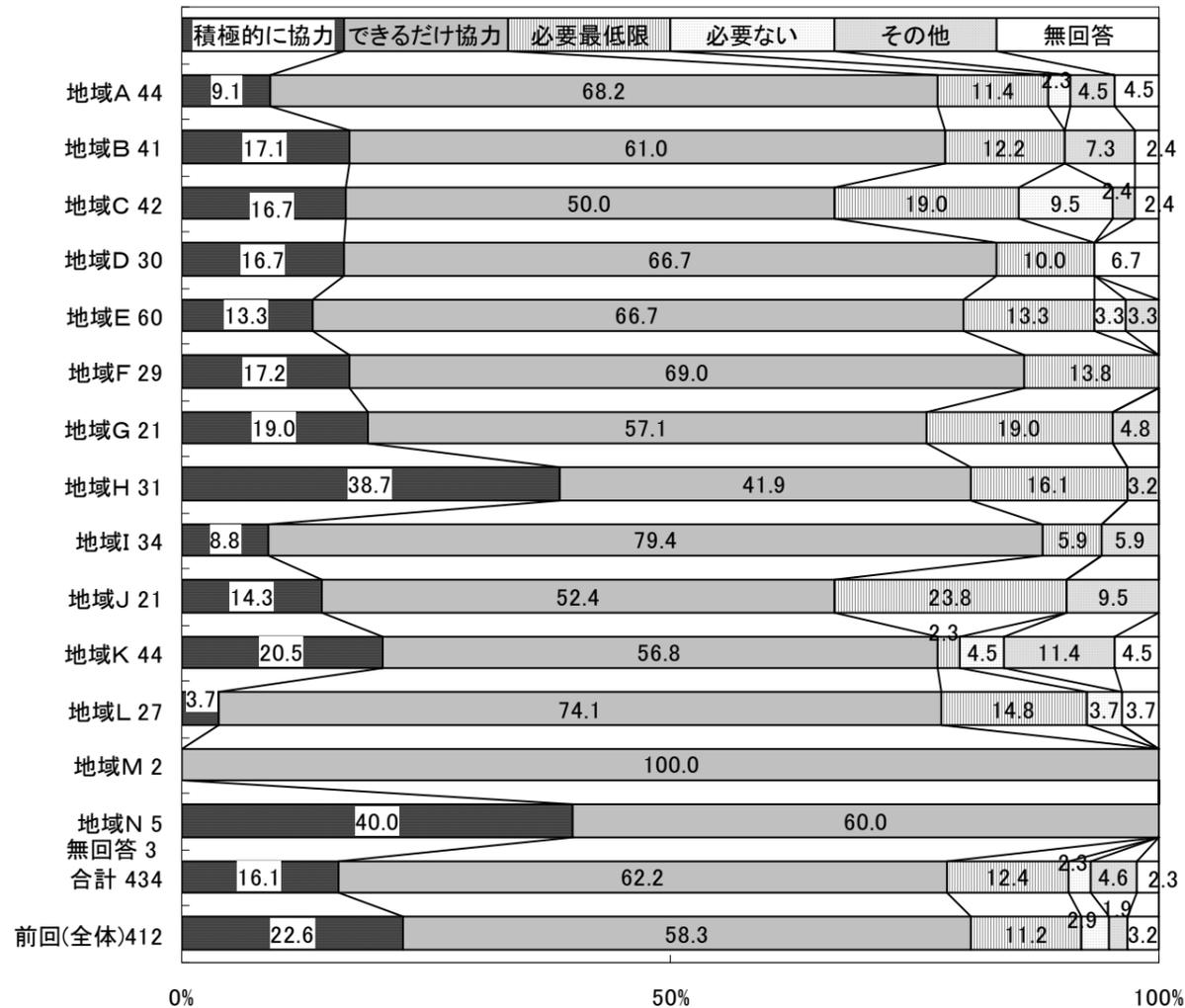
地域C：五ヶ庄
 地域F：横島町
 地域I：伊勢田町、安田町、
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

(3) 「市への協力関係」についての意向

問 10. 町内会・自治会の市への協力について、あなたはどのようにお考えですか。あてはまるものの1つに○印をつけてください。

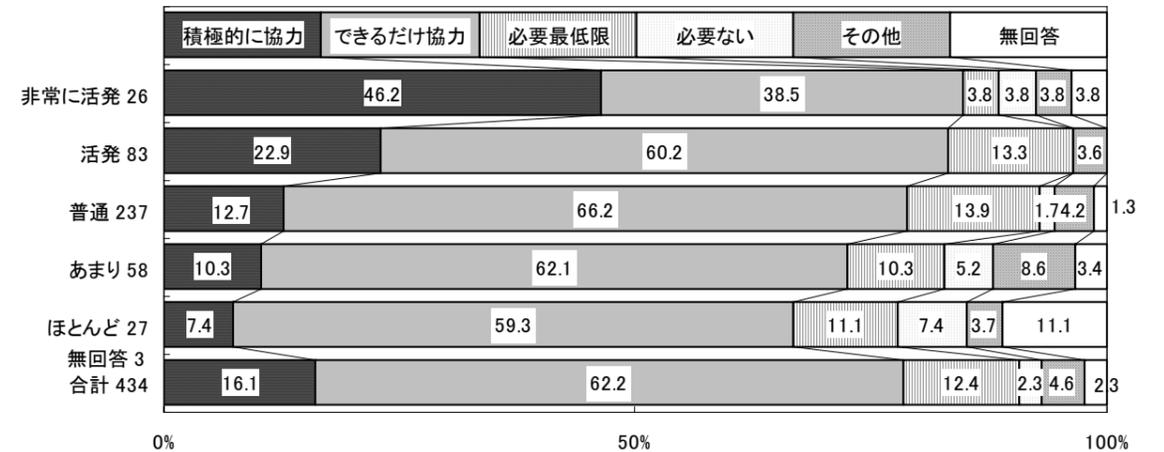
1. 積極的に協力すべきである
2. 面倒なこともあるが、できるだけ協力する方が良い
3. 面倒なことが多いので、必要最低限の協力にとどめるべきである
4. 町内会・自治会は市の下請けではないので、協力する必要はない
5. その他（具体的に)

- ・ 市全体としては、“積極的に”と“できるだけ”を合わせて、78.3%と約8割が「協力」の意向を示しているが、この数値は前回調査では 80.9%となっており、若干、低下している。
- ・ 地域別では、各地域でバラツキがあるが、“積極的に”と“できるだけ”の合計値が最小の地域C、地域Jにおいても、この値が66.7%と6割を越えている。



地域A：六地蔵、木幡②（木幡①以外）、平尾台
 地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
 地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台
 地域F：横島町
 地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、
 地域I：伊勢田町、安田町
 地域J：神明、開町、羽拍子町、
 地域K：大久保町、
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川、
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

- ・ 町内会・自治会の活動状況別では、活発な活動が行われている会ほど、“積極的に協力すべき”が多くなっている。



(4) 「住民参加のまちづくり」についての意向

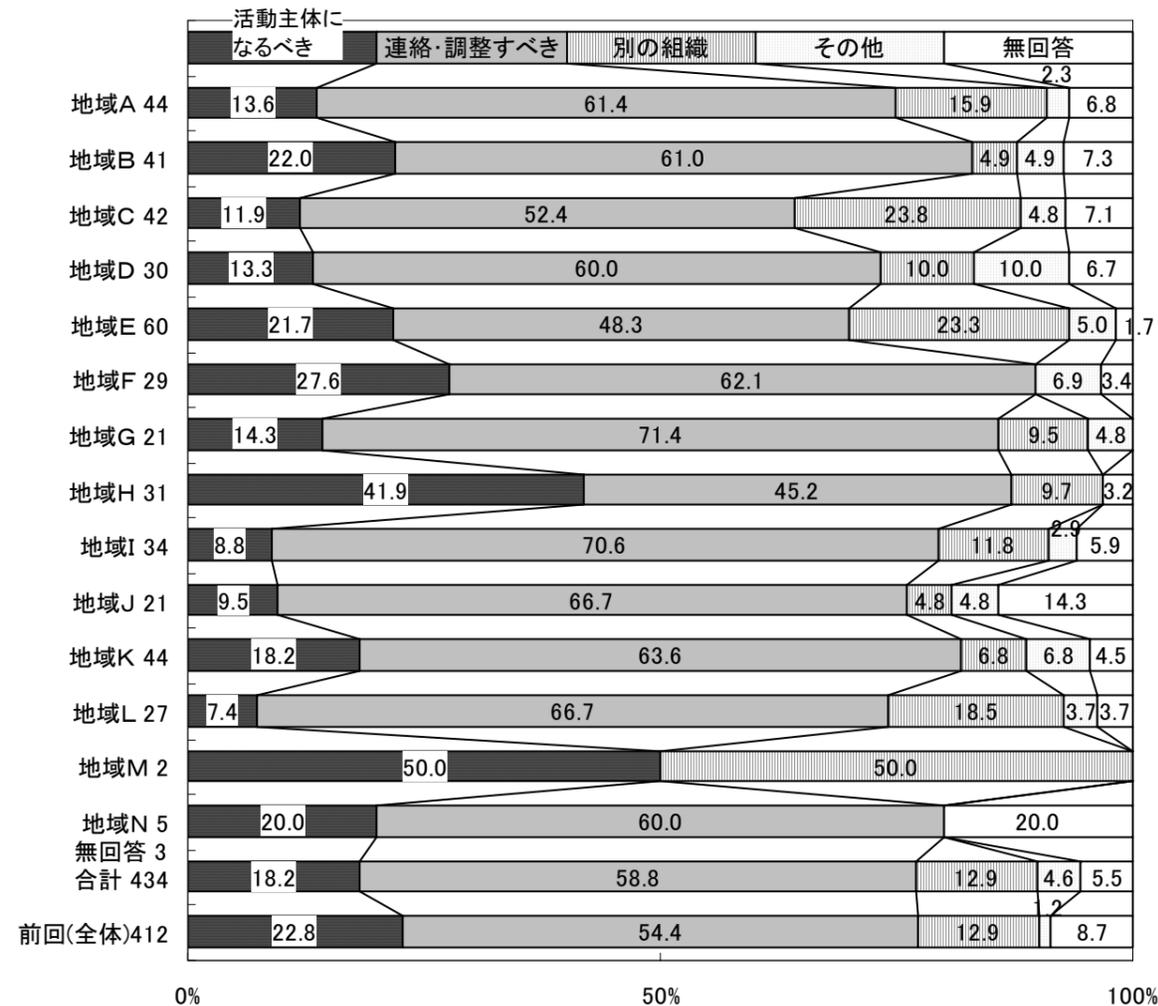
問 11. あなたは、町内会・自治会と「住民参加のまちづくり」について、どのようにお考えですか。あてはまるもの1つに○印をつけてください。

1. まちづくりにおいても、町内会・自治会がその活動主体になるべきである
2. まちづくりは、他団体とも密接に関係するので、地域でネットワークなどをつくり、町内会・自治会はその連絡・調整をすべきである
3. まちづくりは、町内会・自治会とは別の組織で活動すべきである
4. その他（具体的に)

・ 市全体では、“活動主体になるべき”と“連絡・調整”を合わせて約8割が、「町内会・自治会が住民参加のまちづくりに関わるべきだ。」としている。

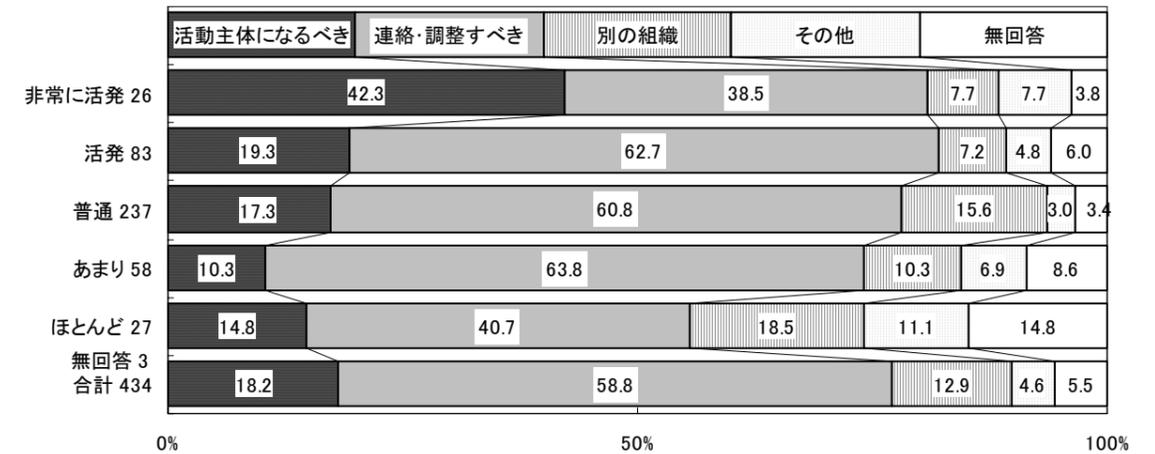
前回調査との比較では、“活動主体になるべき”が若干減少、“連絡・調整すべき”が若干増加している。

・ 地域別では、各地域でバラツキがあるが、回答数が2人の地域Mを除くと、“活動主体になるべき”と“連絡・調整すべき”の合計値が最小の地域Cにおいても、この値が64.3%と6割を越えている。

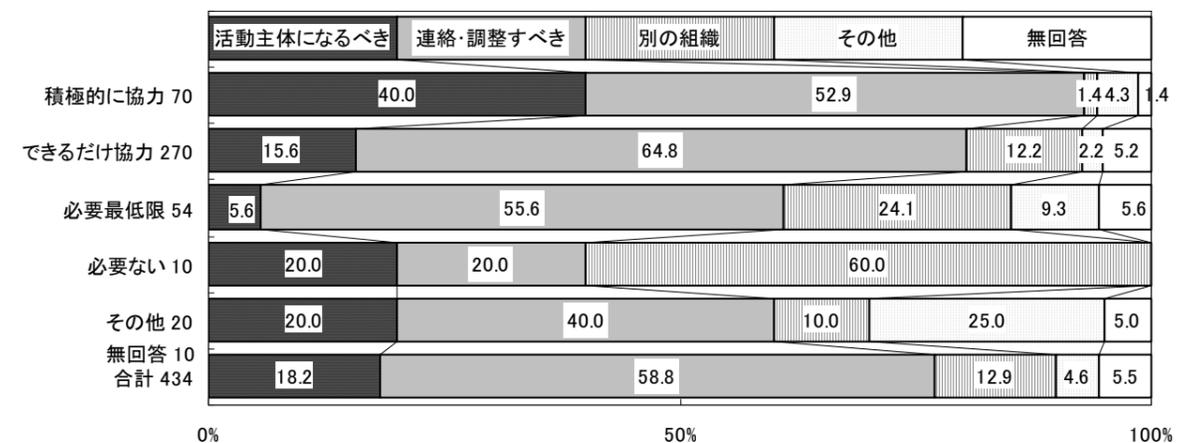


地域A：六地蔵、木幡②（木幡①以外）、平尾台
 地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、
 地域C：五ヶ庄
 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
 地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台
 地域F：槇島町
 地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、
 地域I：伊勢田町、安田町
 地域J：神明、開町、羽拍子町、
 地域K：大久保町、
 地域L：広野町、寺山台
 地域M：白川、志津川、
 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

・ 町内会・自治会の活動状況別では、概ね活発な活動が行われている会ほど、“活動主体になるべき”が多くなっている。



・ 市への協力関係別においても、「積極的に協力すべき。」とする会ほど、“活動主体になるべき”が多くなっている。



(5) 団塊の世代対策についての意向

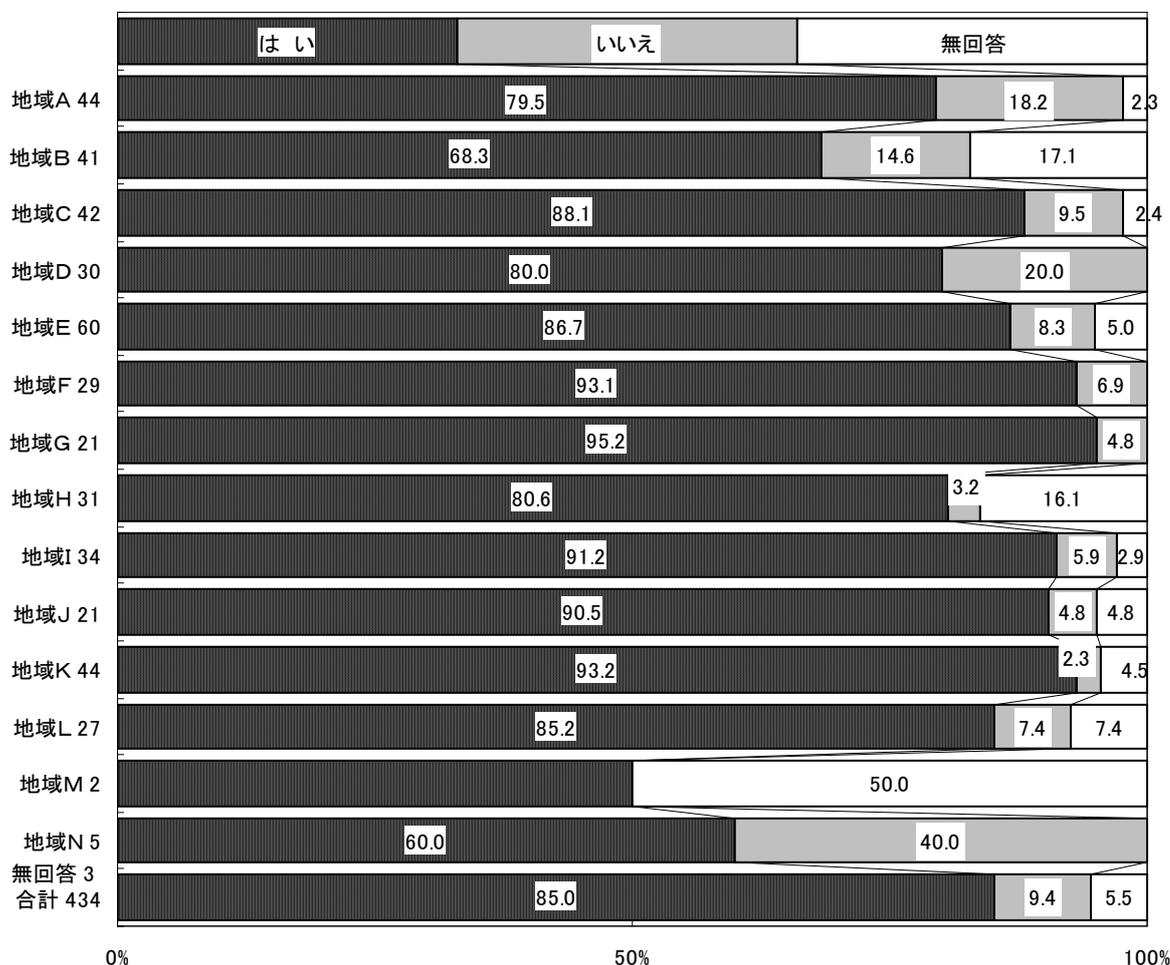
① 団塊の世代への期待の有無

問 12. 「団塊の世代」とも称される人々のうち、全国で約 300 万人の労働者が今後、定年退職期を迎えていきます。

(1) 退職された団塊の世代の方が、その知識や経験、活力を生かして、地域活動に参加されることに期待されますか。

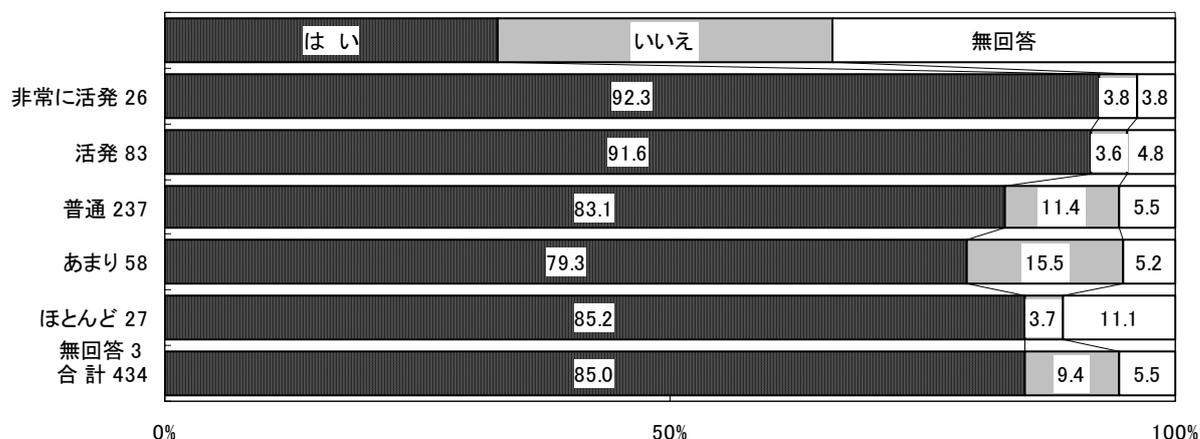
1. はい 2. いいえ

- ・ 市全体では、市民意識調査における団塊の世代への設問（問 11(2)）では“地域活動（町内会・自治会活動など）”とする人は5.7%の回答しかなかったが、町内会・自治会側からは“はい”が8割を越え、団塊の世代による地域活動への参加に大きな期待が寄せられている。
- ・ 地域別でも、ほとんどの地域で“はい”が8割を越える結果となっている。

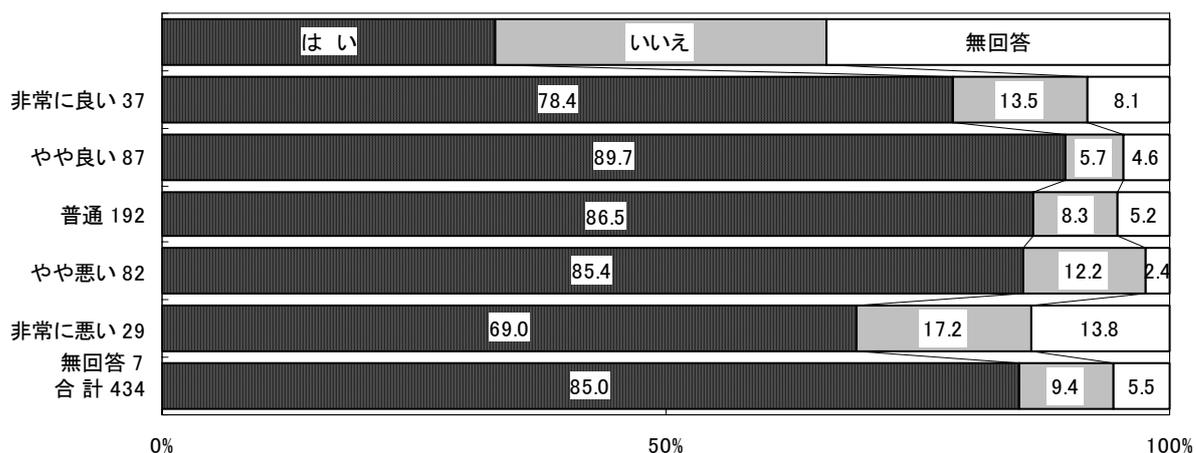


地域 A : 六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台
 地域 B : 木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、
 地域 C : 五ヶ庄
 地域 D : 菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
 地域 E : 宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台
 地域 F : 槇島町
 地域 G : 小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
 地域 H : 宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、
 地域 I : 伊勢田町、安田町
 地域 J : 神明、開町、羽拍子町、
 地域 K : 大久保町、
 地域 L : 広野町、寺山台
 地域 M : 白川、志津川、
 地域 N : 炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

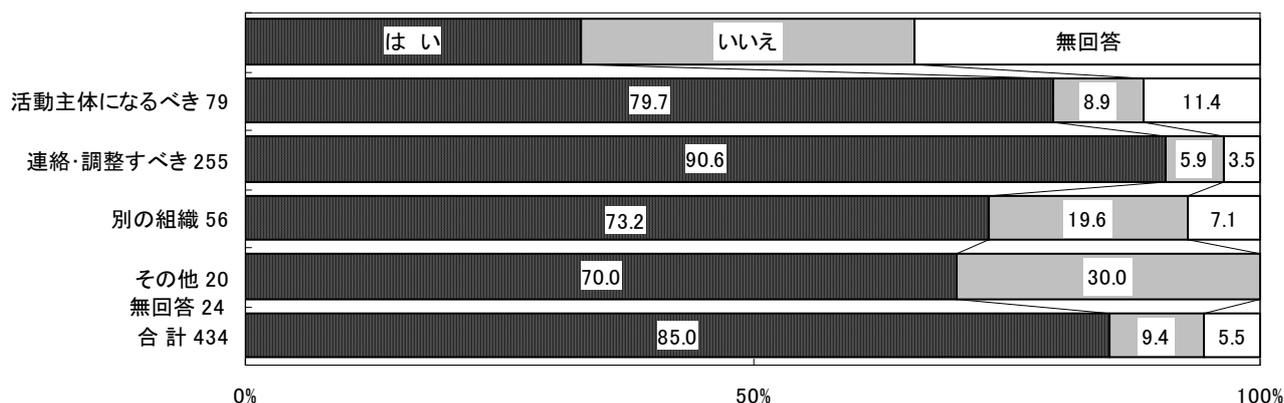
- 町内会・自治会の活動状況別では、「非常に活発」、「活発」とする会は“はい”が9割を超えるなど、概ね活発な活動が行われている会ほど、“はい”が多くなる傾向が見られる。



- 町内会・自治会への住民の参加状況別では、「やや良い」、「普通」、「やや悪い」とする会では“はい”が8割を超える一方、「非常に良い」とする会は8割を下回る結果となっている。



- 町内会・自治会と「住民参加のまちづくり」への認識別では、「活動主体になるべき」とする会では“はい”が約8割で、“連携・調整すべき”とする会の約9割よりも少なくなっている。



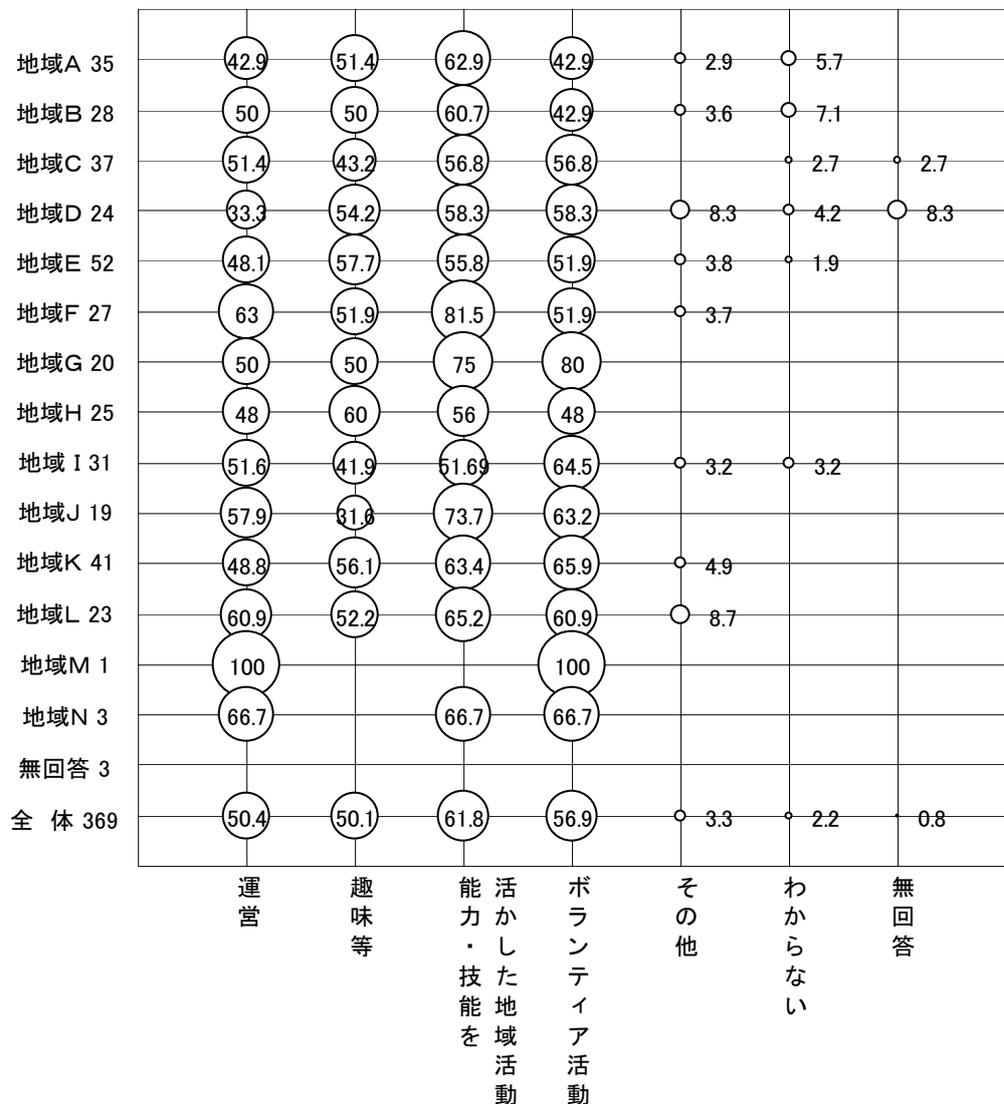
② 団塊の世代の参加を期待する地域活動

(2) どういった地域活動への参加を期待されますか。次の中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 自治会・町内会運営 | 2. 趣味を生かした地域活動 |
| 3. 仕事で得た能力・技能を生かした地域活動 | 4. ボランティア活動 |
| 5. その他 () | 6. わからない |

複数回答の算出方法：回答比率（％）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

- ・ 市全体では、“能力・技能を生かした地域活動”、“ボランティア活動”、“運営”、“趣味等”の順になるが、いずれも5割を超える期待が寄せられている。
- ・ 地域別の団塊の世代の参加に対する期待については顕著な特徴が見られない。



地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台

地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、

地域C：五ヶ庄

地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸）

地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台

地域F：槇島町

地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）

地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、

地域I：伊勢田町、安田町

地域J：神明、開町、羽拍子町、

地域K：大久保町、

地域L：広野町、寺山台

地域M：白川、志津川、

地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

(6) 少子化問題についての意向

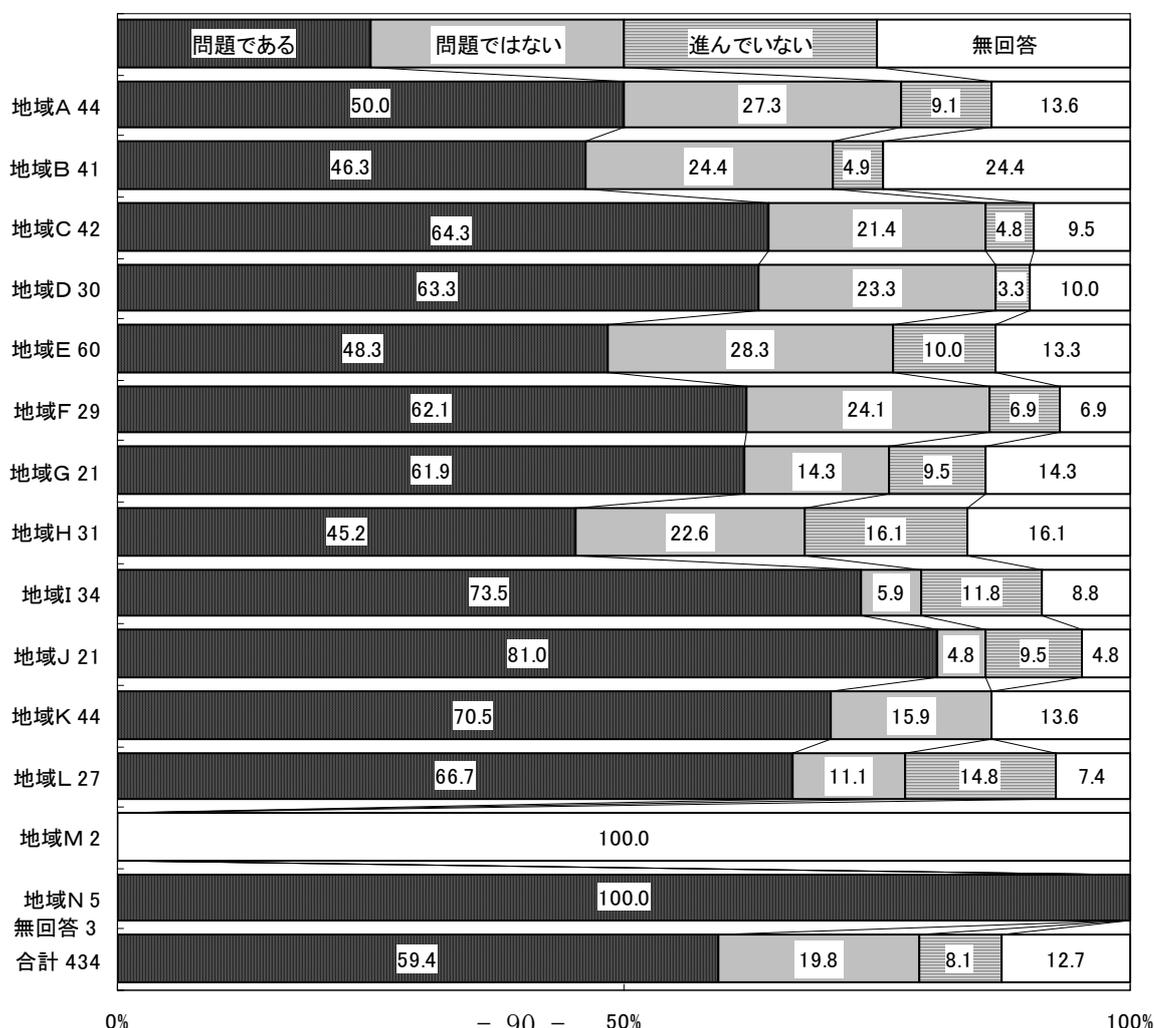
① 少子化の地域への影響の有無

問 13. 急速な少子化の進行が高齢化と相まって大きな社会問題となっており、次代を担う子どもを安心して産み、ゆとりをもって健全に育てていくための支援策の充実が求められています。

(1) 2004年の合計特殊出生率(一人の女性が一生の間に生む子どもの数の目安)が1.29になり、少子化が進行しています。その結果、2005年には日本の総人口がはじめて減少に転じましたが、あなたの地域では少子化が進んでいますか。また、少子化が進んでいる場合、地域にとって問題だと思いますか。あてはまるもの1つに○印をつけてください。

1. 少子化が進んでおり、地域にとって問題である。
2. 少子化は進んでいるが、地域にとって問題ではない。
3. 少子化は進んでいない。

- ・ 市全体では、“問題である”が約6割、“問題ではない”が約2割となっている。
- ・ 地域別では、“問題である”の比率が最も高い地域Jで81.0%となっており(回答数の少ない地域Nは除く)、最も低い地域Hで45.2%と大きな開きがある。
- ・ 市民意識調査(問12(1))ではほとんどの地域で80%以上となっており、地域によって大きな開きがある。



地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台

地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、

地域C：五ヶ庄

地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸）

地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台

地域F：槇島町

地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）

地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、

地域I：伊勢田町、安田町

地域J：神明、開町、羽拍子町、

地域K：大久保町、

地域L：広野町、寺山台

地域M：白川、志津川、

地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

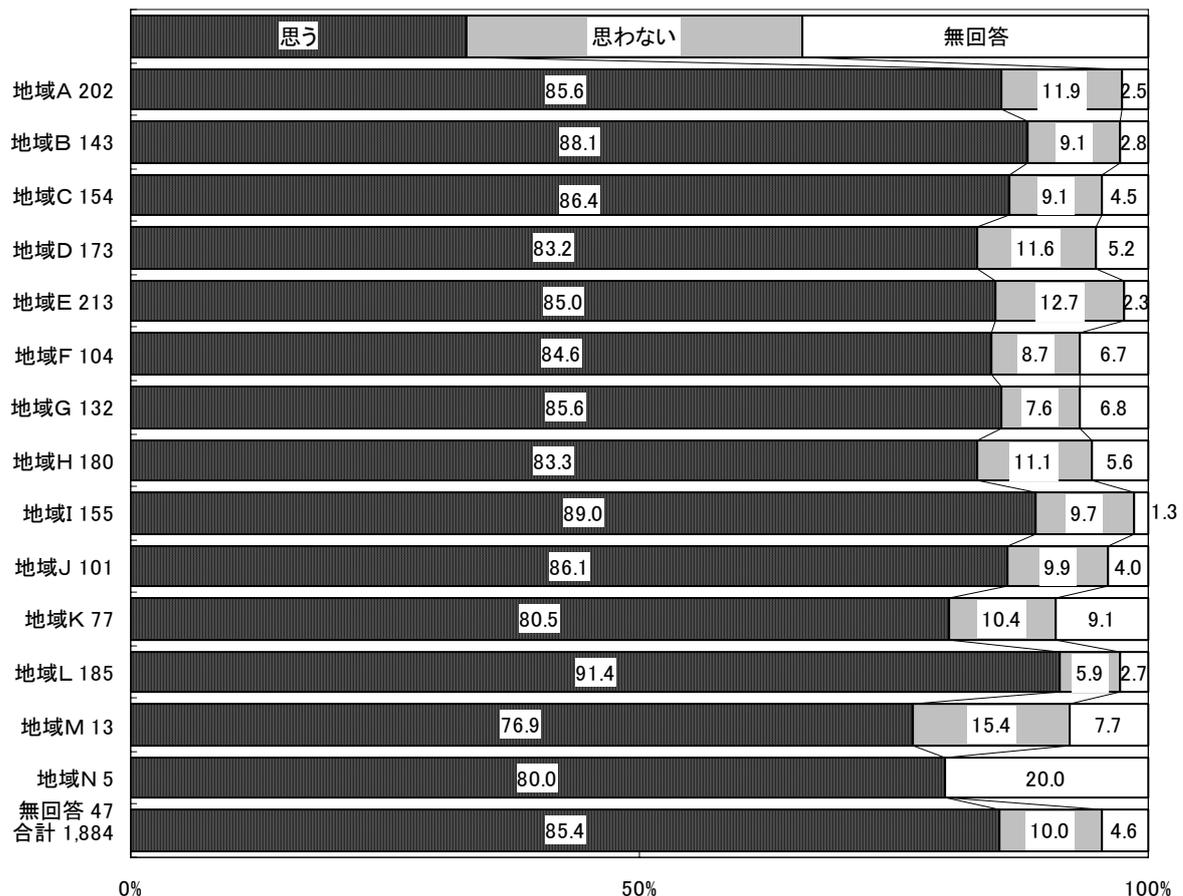
[市民意識調査の問 12(1)の結果]

問 12. 急速な少子化の進行が高齢化と相まって大きな社会問題となっており、次代を担う子どもを安心して産み、ゆとりをもって健全に育てていくための支援策の充実が求められています。

(1) 2004年の合計特殊出生率(一人の女性が一生の間に生む子どもの数の目安)が1.29になり、少子化が進行しています。その結果、2005年には日本の総人口がはじめて減少に転じましたが、少子化は問題だと思いますか。

1. そう思う

2. そう思わない



地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台

地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、

地域C：五ヶ庄

地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸）

地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台

地域F：槇島町

地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）

地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、

地域I：伊勢田町、安田町

地域J：神明、開町、羽拍子町、

地域K：大久保町、

地域L：広野町、寺山台

地域M：白川、志津川、

地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

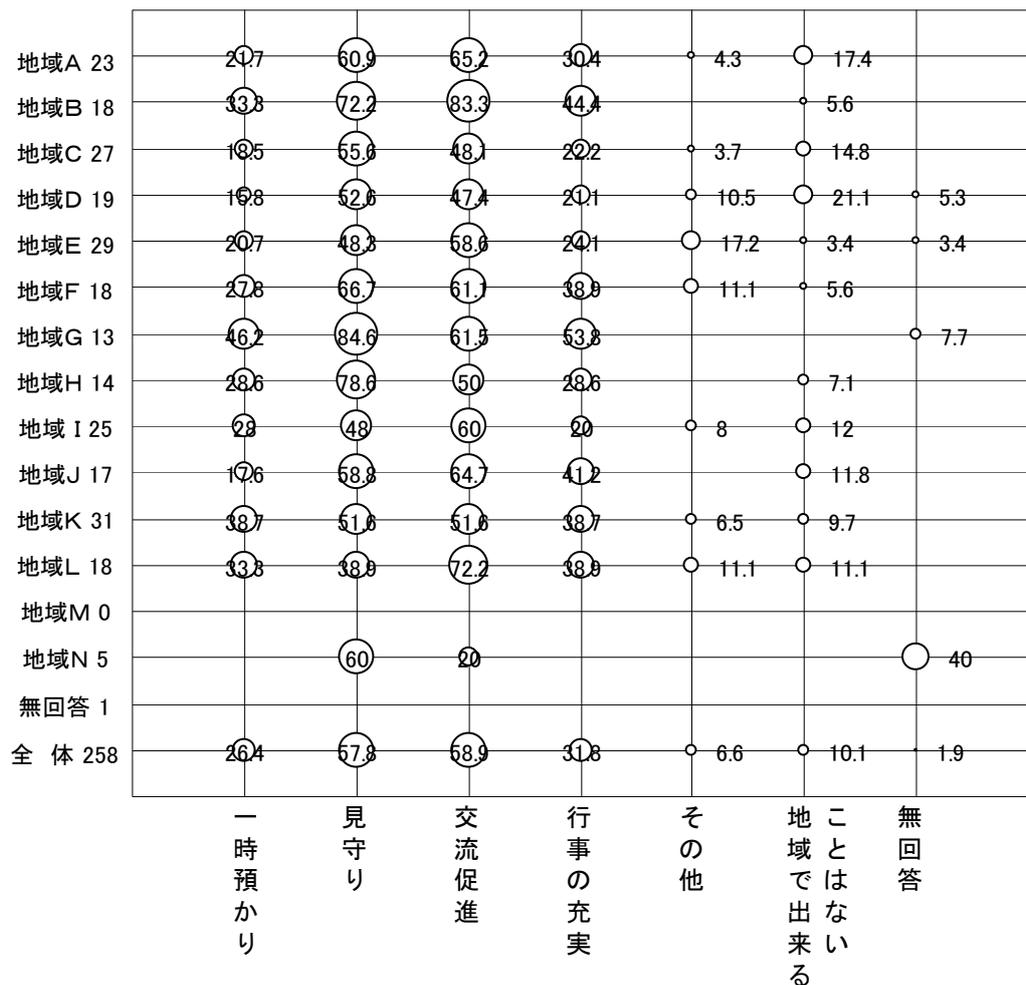
② 少子化問題への地域としての対応策

(2) 少子化の問題を解決するために、地域でできる取り組みはあると思いますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 子どもを一時的に預かる地域活動
2. 子どもへの声かけなどの地域の見守り活動
3. 住民同士の交流を促進し、子育てをしやすい雰囲気を作る
4. こどもを対象とした行事の充実
5. その他 ()
6. 地域で出来ることはない

複数回答の算出方法：回答比率（％）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

- ・ 市合計では、“交流促進”、“見守り”が5割を越え、次いで“行事の充実”、“一時預かり”の順で、“地域で出来ることはない”は1割にすぎない。
- ・ 地域別では、“見守り”、“交流促進”がほとんどの地域で5割を越える等、大きな差異は見られないが、地域B、地域Gは取り組める活動内容が全てにおいて回答比が高い結果となっている。



地域 A : 六地藏、木幡② (木幡①以外)、平尾台

地域 B : 木幡① (熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山)、

地域 C : 五ヶ庄

地域 D : 菟道、明星町、羽戸山、宇治② (乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸)

地域 E : 宇治③ (宇治①、②以外)、琵琶台、天神台、折居台

地域 F : 槇島町

地域 G : 小倉町① (西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際)

地域 H : 宇治① (半白、蔭山、御廟)、小倉町② (小倉町①以外)、南陵町、

地域 I : 伊勢田町、安田町

地域 J : 神明、開町、羽拍子町、

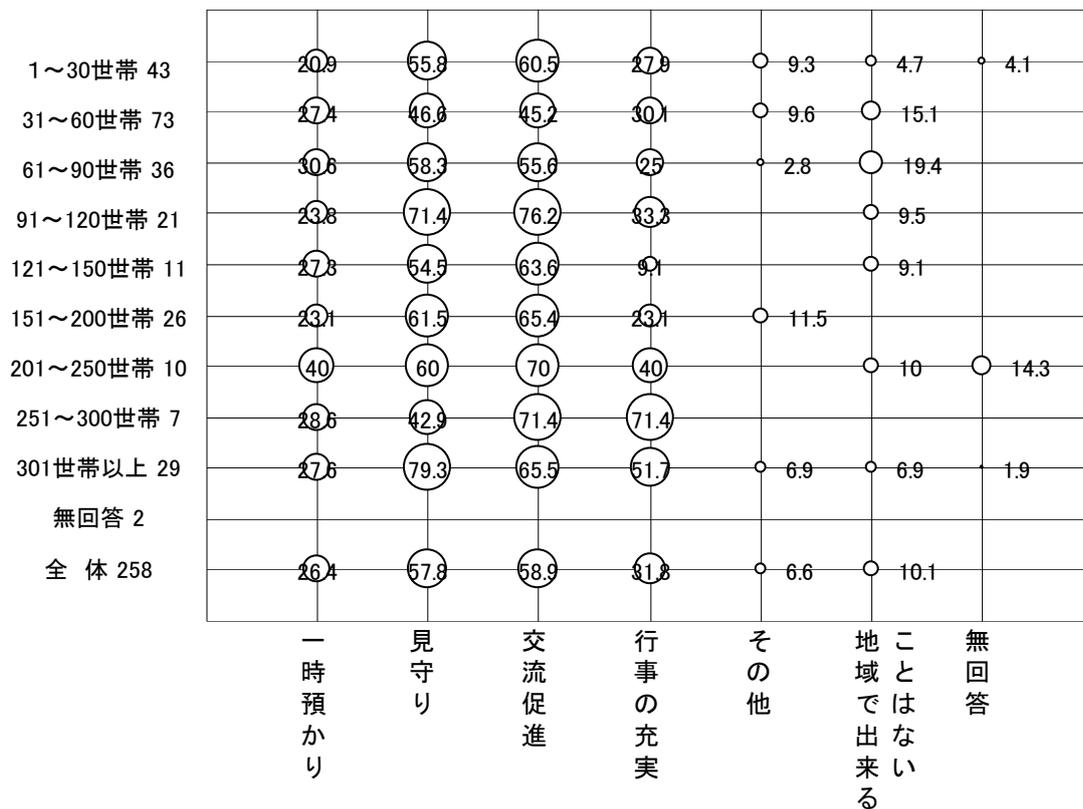
地域 K : 大久保町、

地域 L : 広野町、寺山台

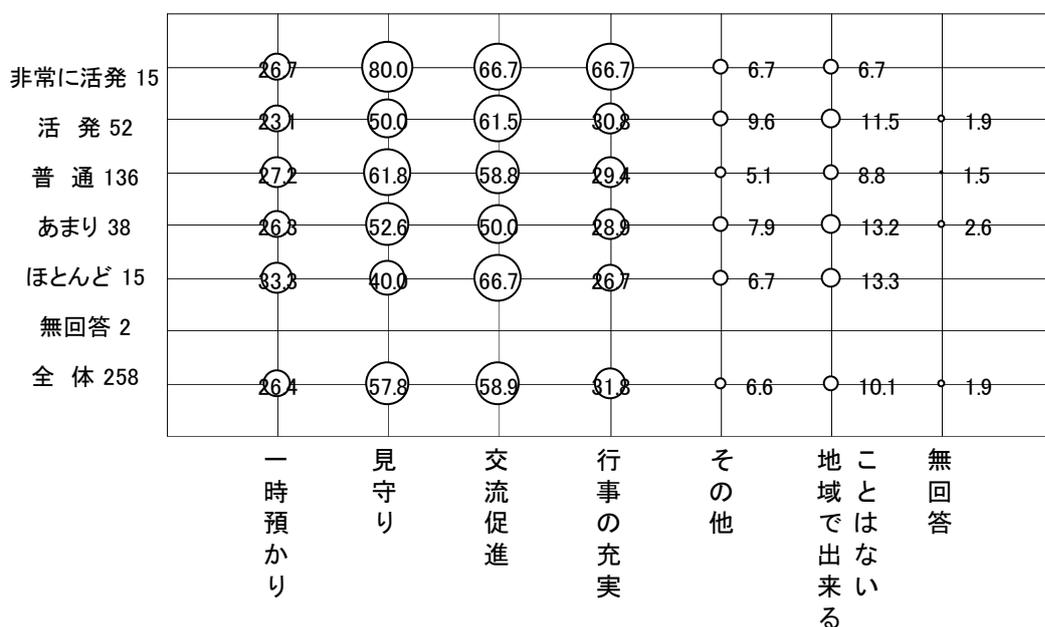
地域 M : 白川、志津川、

地域 N : 炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

- 町内会・自治会の世帯数別では、相関性はみられない。



- 町内会・自治会の活動状況別では、「非常に活発」な所がより多くの取り組みができる」と答えている。



(3) 少子化や子育てについてのご意見があればお書きください。

〈意見内容の概要〉 - 全部で約100件

	回答数
①保育所や幼稚園の充実等に関する内容	約10件
・ 保育所の充実(保育料を無料または安くして欲しい、長時間保育の実施、待機児童の解消)。	
②公園など子どもの遊び場の充実等に関する内容	約10件
・ 子どもの遊び場が少ない。ない。	
・ 公園へ行けない雨の日の屋内の遊び場所がほしい。	
③子どもを一時的に預かったり、声かけなどの地域での見守り活動等に関する内容	約10件
・ 町内会が、様々な子育ての場面に関われるような状況が望ましい。	
④医療費等に関する内容	約20件
・ 子育て・教育にかかる費用が高すぎる。	
・ 医療費への補助、乳幼児医療費の小学校入学までの無料化を。	
⑤その他	
労働環境の改善	約10件
・ 子どもを産み育てることが出来る職場環境づくり、出産休暇や育児休暇が実際に取れるように。企業による出産や育児に対する制度の充実。	
・ 若い世代が働けるようにし、収入の安定を図る。	
親世代の価値観、親への教育	約10件
・ 若者は、結婚や生活への意識がしっかり持っていない。自分本位で間違った判断が気になる。	
・ 親への教育、子どもの時に教育すること。	
・ 親が子どもをしつけていないのが原因。親への教育も必要。	
社会全体の意識	約10件
・ 大人が自分勝手に、子どものことを考えていない様に思える。	
・ 子どもは地域や国の宝だという意識づくりが大切。	
教育	約10件
・ 宅地開発等により、一部地域では、小学校の児童数が増えても学級数は変わっていない。学年の学級数を増やして少人数制教育を進めて頂きたい。	
・ 少子化というと即学校の統合等が行政で検討されるが、逆にゆとり教育を優先することにより若い親の考え方も変わり、少しは少子化が防げられる。	
その他	
・ 町内に少子化対策に関わる余力はない。町内会等でそれを促す手段があるのだろうか。	
・ 地域で出来ることは限られている。何よりも国等での政策誘導かつ根本のもっと日本の将来を見据えて、金も人もかけるべき。	
・ 明るく安全な町づくりが必要。	
・ 地域のさらなる発展のもととなるので、子育て対策などは大切と思う。	

(7) 防犯活動についての意向

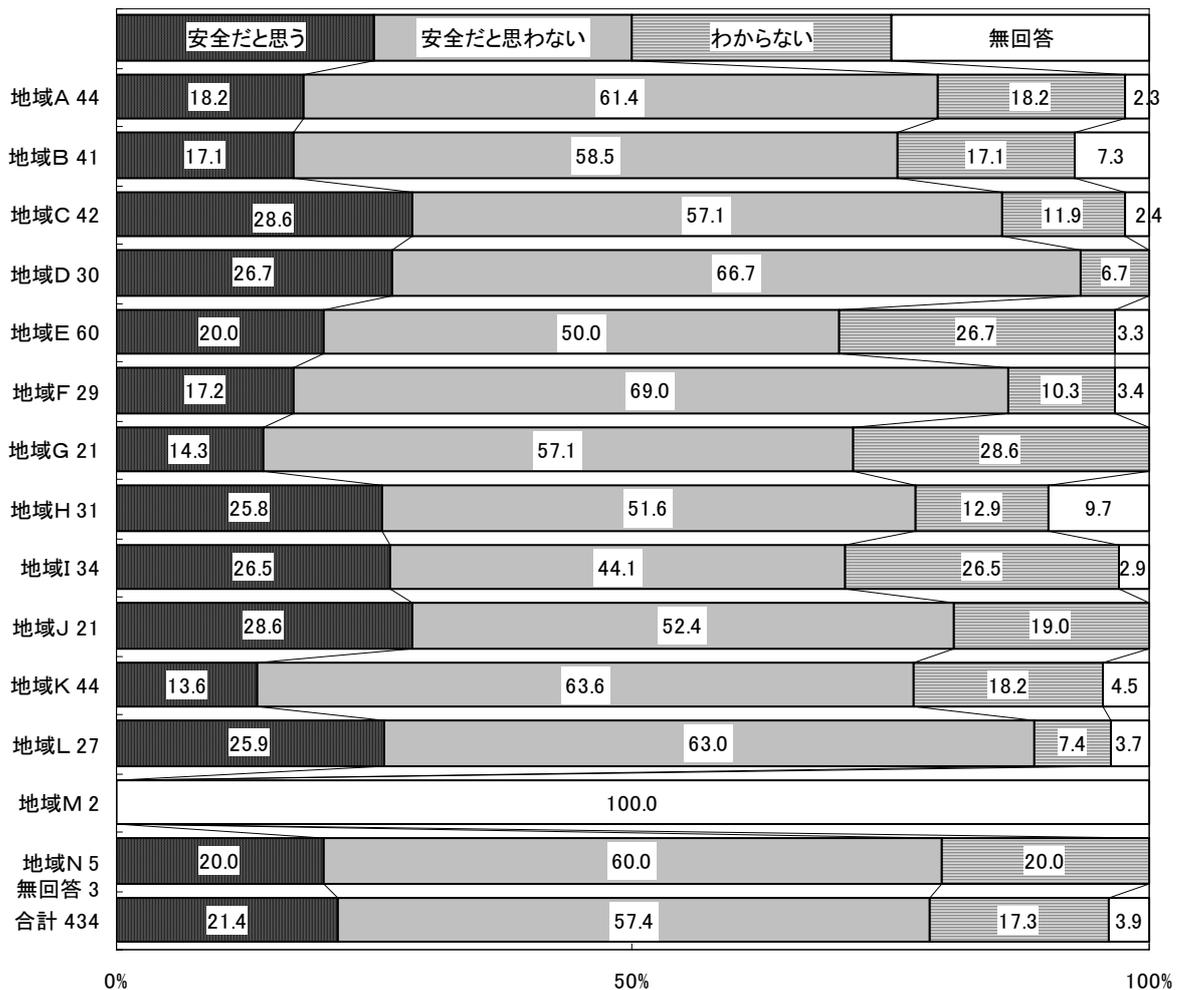
① 地域の安全性に対する評価

問 14. 犯罪が増加傾向にある中で、警察活動だけでなく地域の防犯力がますます重要になってきています。

(1) あなたのお住まいの町内会・自治会は、安全だと思いますか。

1. 安全だと思う 2. 安全だと思わない 3. わからない

- ・ 市全体では、市民全体の評価と同様に、“安全だと思わない”が5割を越えている。
- ・ また、地域別でもほとんどの地域で、“安全だと思わない”が5割を越えている。



地域 A : 六地藏、木幡② (木幡①以外)、平尾台
 地域 B : 木幡① (熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山)、
 地域 C : 五ヶ庄
 地域 D : 菟道、明星町、羽戸山、宇治② (乙方、東内、山本、又振、山田、紅齋、金井戸)
 地域 E : 宇治③ (宇治①、②以外)、琵琶台、天神台、折居台
 地域 F : 槇島町
 地域 G : 小倉町① (西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際)
 地域 H : 宇治① (半白、蔭山、御廟)、小倉町② (小倉町①以外)、南陵町、
 地域 I : 伊勢田町、安田町
 地域 J : 神明、開町、羽拍子町、
 地域 K : 大久保町、
 地域 L : 広野町、寺山台
 地域 M : 白川、志津川、
 地域 N : 炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

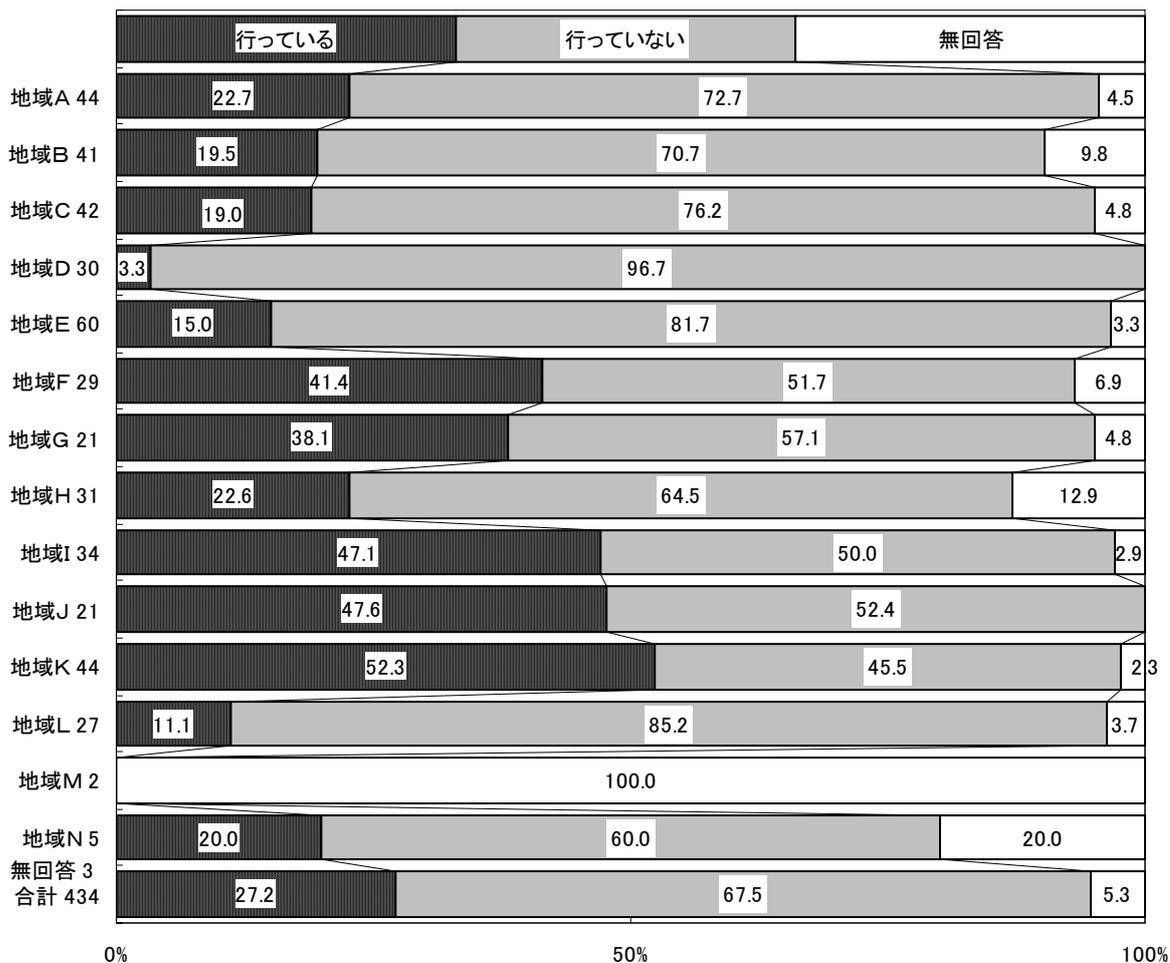
② 地域での防犯活動の有無

(2) あなたの町内会・自治会では、防犯活動が行われていますか。

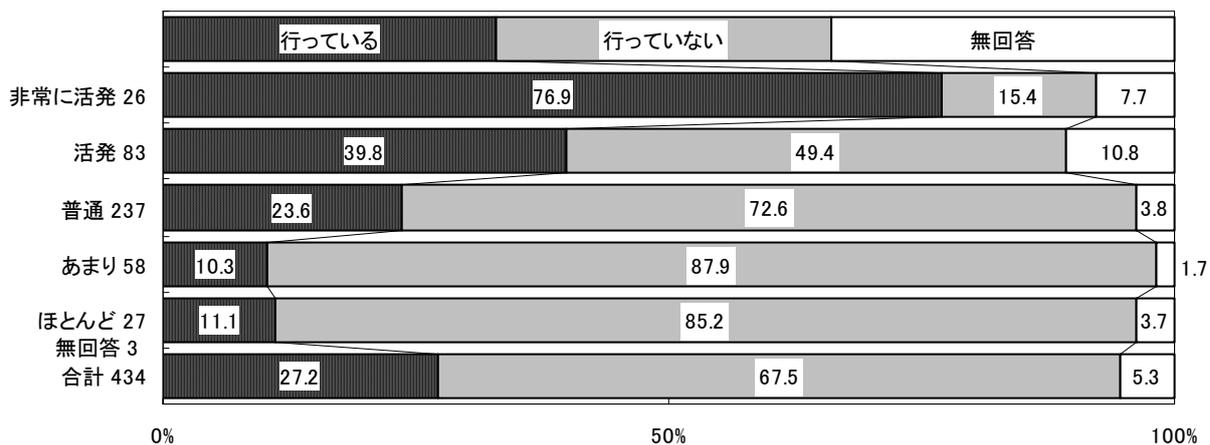
1. 行っている

2. 行っていない

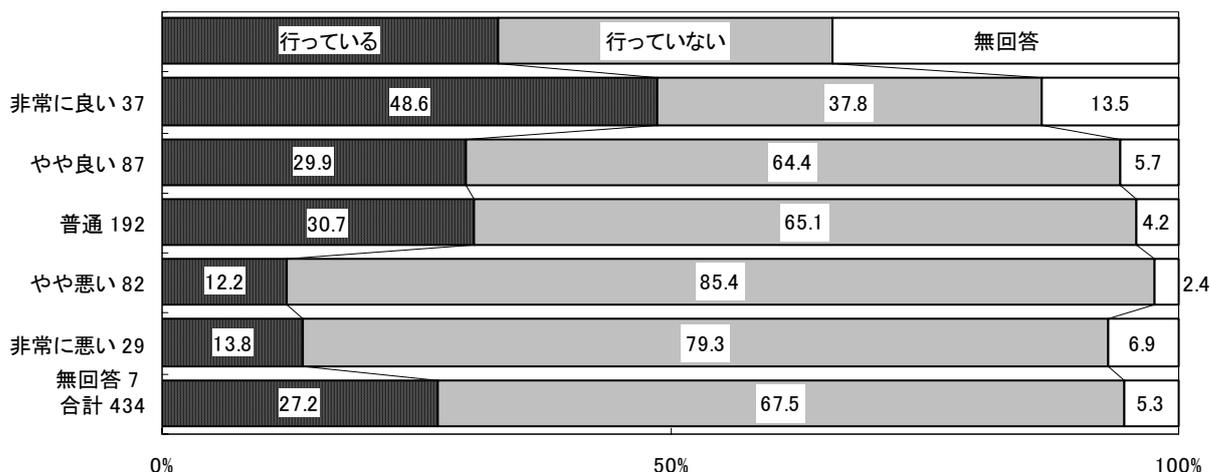
- ・ 市民全体では、“行っていない”が約7割に対して、“行っている”が約3割となっている。
- ・ 地域別では、地域D、E、Lにおいて“行っていない”が8割を越えている。



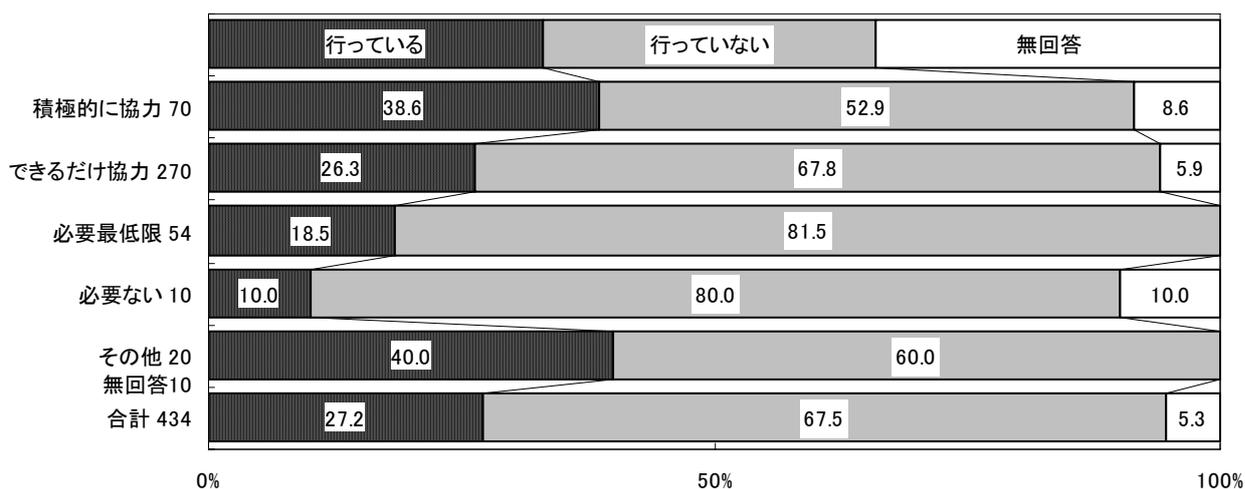
- ・ 町内会・自治会の活動状況別では、概ね活発な活動が行われている会ほど、防犯活動を“行っている”が多い傾向が見られる。



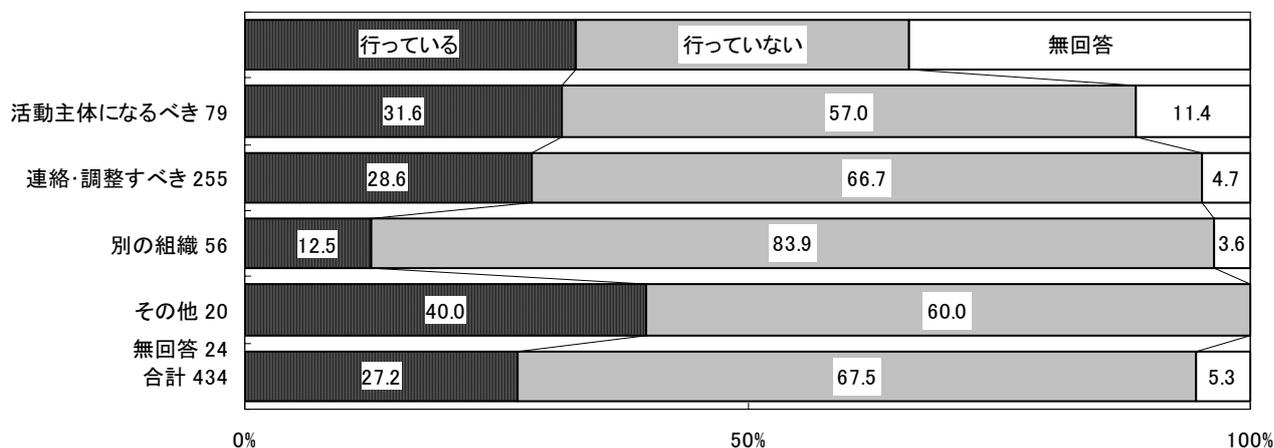
- ・ 住民の参加状況別では、概ね参加状況が良い会ほど、防犯活動を“行っている”が多い傾向が見られる。



- ・ 市への協力関係別では、概ね「協力すべき」とする会ほど、防犯活動を“行っている”が多い傾向が見られる。



- ・ 町内会・自治会と「住民参加のまちづくり」への認識別では、“活動主体になるべき”、“連絡・調整すべき”とする会で、防犯活動を“行っている”が多い。



③ 充実すべき防犯活動

(3) 地域で防犯活動をする場合、どのような手法で行ったほうが良いと思われますか。次の中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

また、「既に行われている活動」があれば、あてはまるものすべてに◎印をつけてください。

1. 地域内での見回り活動を行う
2. こどもの登下校時などの見守り活動を行う
3. 地域で防犯上危険な場所の情報をお互いに共有する
4. 防犯意識向上のための啓発活動を行う
5. その他 ()
6. 地域住民による防犯活動は必要でない

- ・ 市全体では、“見守り”、“情報の共有”の順で5割を越え、続く“啓発活動”、“見回り”も4割を越えている。“ない”は、1.4%にすぎない。

同じ設問とした市民意識調査（問13(3)）結果とは順位が異なっている。（市民意識調査は、“情報の共有”、“見守り”、“見回り”、“啓発活動”の順）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	「必要ない」
市民全体	情報の共有	見守り	見回り	啓発活動	その他	1.7%
町内会・自治会	見守り	情報の共有	啓発活動	見回り	その他	1.4%

- ・ 既に行われている活動は、最も高い“見守り”でも10.8%であり、他は10%に満たない結果となっている。
- ・ 地域別では、各地域により順位がバラバラであり、この点も市民意識調査結果と相異している。

	第1位	第2位	第3位	第4位
地域A	情報の共有	啓発活動	見守り	見回り
地域B	啓発活動	見守り	情報の共有	〃
地域C	●情報の共有	〃	見回り	啓発活動
地域D	● 〃	啓発活動	見回り、見守り	
地域E	●見守り	情報の共有	見回り	啓発活動
地域F	●情報の共有	見守り	啓発活動	見回り
地域G	●見守り	●見回り、●情報の共有		啓発活動
地域H	〃	情報の共有	啓発活動	見回り
地域I	●見回り	●見守り	情報の共有	啓発活動
地域J	●見守り	見回り	啓発活動	情報の共有

	第1位	第2位	第3位	第4位
地域K	●見守り	見回り、情報の共有		啓発活動
地域L	〃	啓発活動	見回り、情報の共有	
地域M	—	—	—	—
地域N	見回り、情報の共有、啓発活動、その他			

*:●は、回答比率が6割以上の地域

[市民意識調査の問13(3)の結果]

(3) 地域で防犯活動をする場合、どのようにすれば効果的に行うことができると思いますか。次の中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

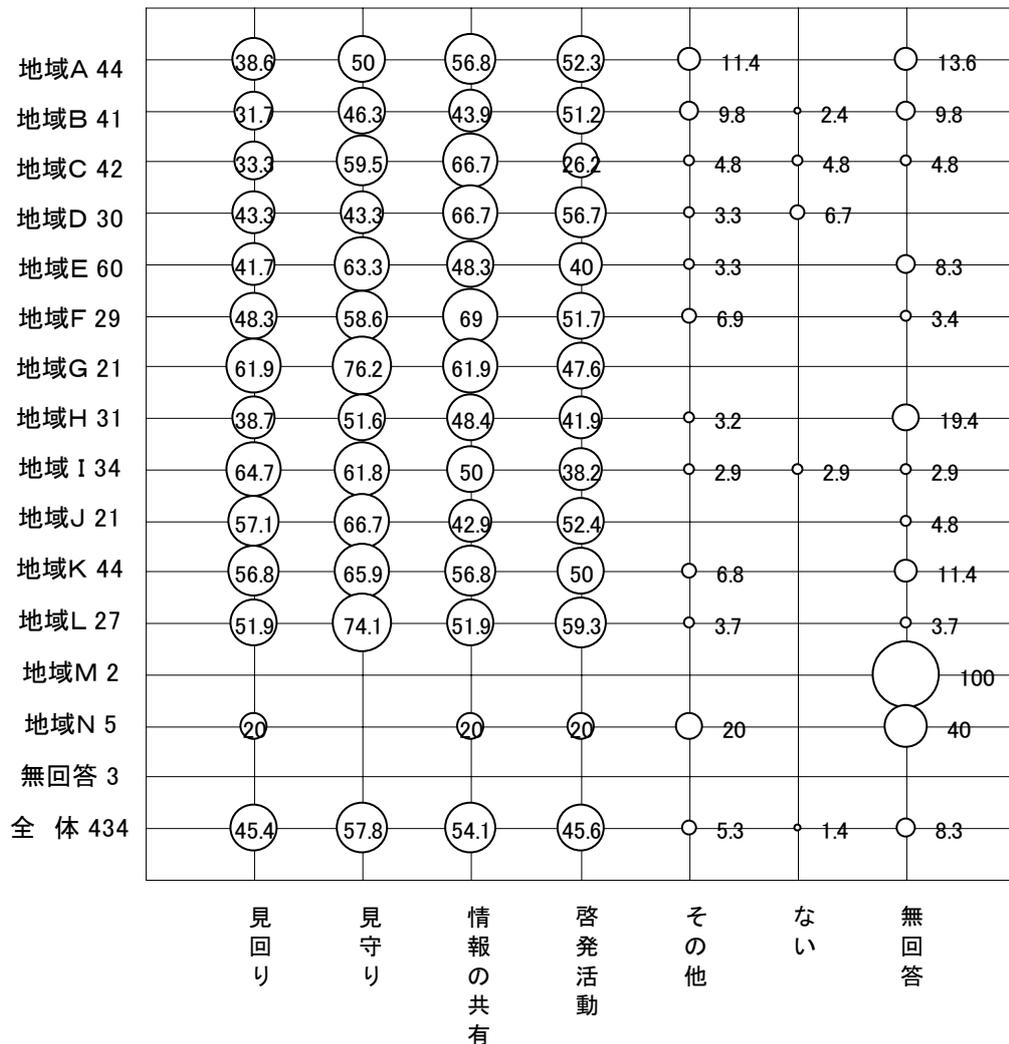
1. 地域内での見回り活動を行う
2. こどもの登下校時などに見守り活動を行う
3. 地域で防犯上危険な場所の情報をお互いに共有する
4. 防犯意識向上のための啓発活動を行う
5. その他 ()
6. 地域住民による防犯活動は必要でない

	第1位	第2位	第3位	第4位
地域A	●情報の共有	●見守り	見回り	啓発活動
地域B	● 〃	〃	〃	〃
地域C	● 〃	● 〃	〃	〃
地域D	● 〃	〃	〃	〃
地域E	● 〃	● 〃	〃	〃
地域F	見回り	情報の共有	啓発活動、見守り	
地域G	●情報の共有	●見守り	見回り	啓発活動
地域H	● 〃	● 〃	〃	〃
地域I	● 〃	● 〃	● 〃	〃
地域J	● 〃	〃	〃	〃
地域K	● 〃	●見回り	●見守り	〃
地域L	● 〃	●見守り	見回り	〃
地域M	〃	見守り、見回り		〃
地域N	●情報の共有、●見守り		見回り、啓発活動	

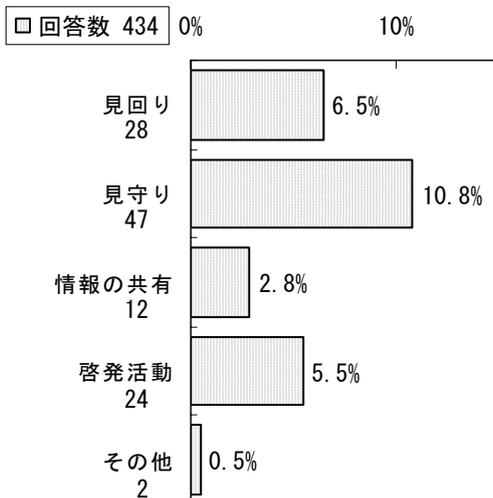
*:●は、回答比率が6割以上の項目

複数回答の算出方法：回答比率（％）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

良いと思う活動



既に行われている活動



- 地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台
- 地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
- 地域C：五ヶ庄
- 地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）
- 地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台
- 地域F：榎島町
- 地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
- 地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町
- 地域I：伊勢田町、安田町、
- 地域J：神明、開町、羽拍子町
- 地域K：大久保町、
- 地域L：広野町、寺山台
- 地域M：白川、志津川
- 地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

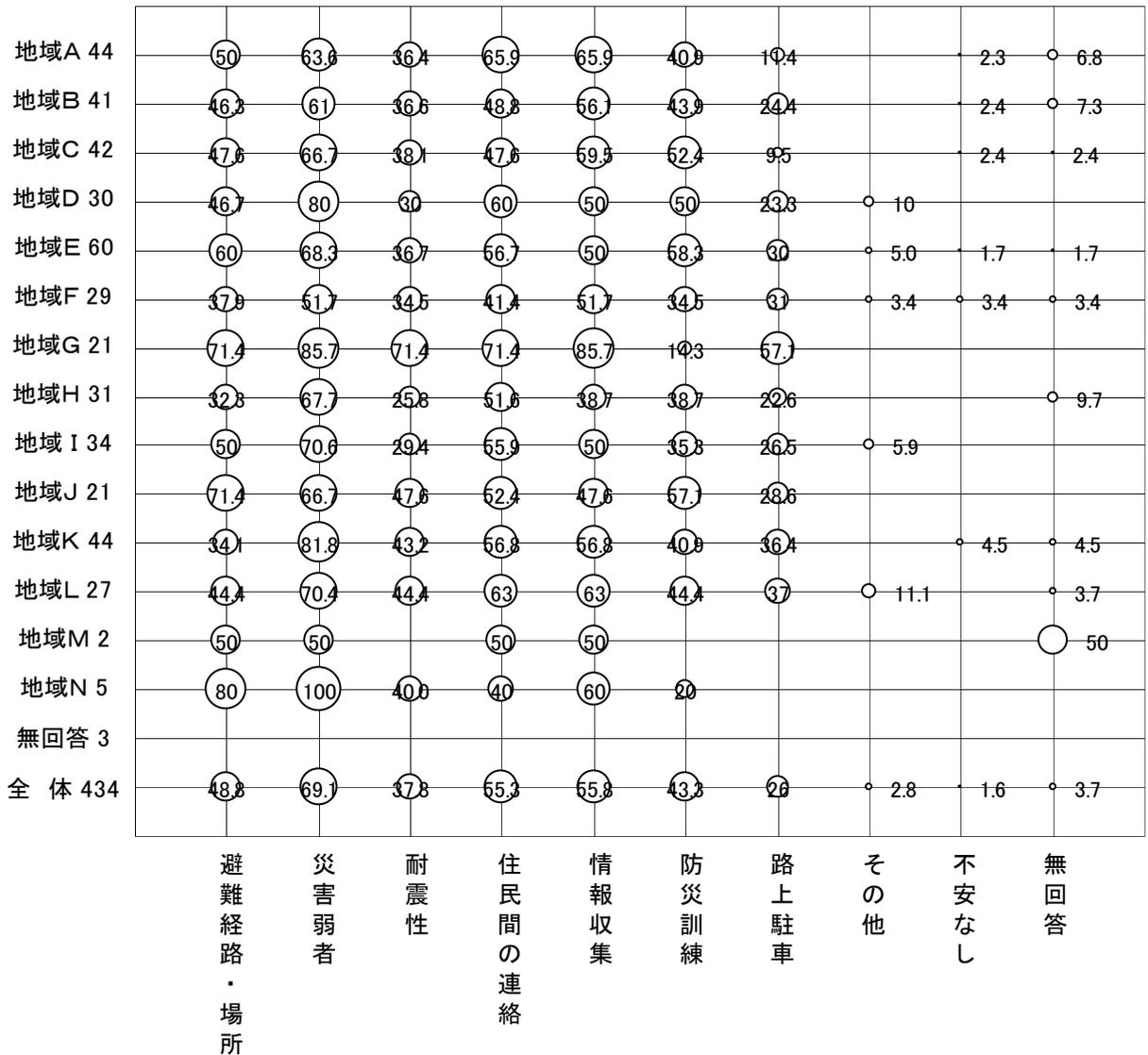
④ 防犯活動推進上の問題点

(4) 町内会・自治会で防犯活動を行う上での問題点があればお書きください。

〈意見内容の概要〉－全部で約130件

	回答数
①地域内での見回り活動等に関する内容 (②と共通した活動全体への意見含む)	約60件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が多いので活動がしにくい、やりたくても取り組めない、意識が低い。 ・ 参加者・担い手が少ない、ほとんどいない、参加者が少なく役員の負担が大きい。 ・ 全ての人が平等に協力すべき、一部の人に負担がかかると続かない。 ・ 警察との連携が不可欠、警察にもっと協力して欲しい。 ・ 個人情報保護法により、家族の状況がつかめず連絡先も聞けない。 ・ 町内会・自治会とは別の組織として自警団・見守り団体等をつくる。 ・ 昼間、防犯活動にあたる大人が少ない、夫婦共働き等で留守が多い。 	
②登下校時などの見守り活動等に関する内容	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どものいる家庭、いない家庭の交流が不足している。 ・ 子どもがいる・いないで意識が大きく変わるため、サークル的集合体のボランティア活動として実施しては。 	
③防犯上危険な場所の情報の共有等に関する内容	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 声かけや町内会行事への参加等により、人と人のつながりを強め、情報を交換していくことがお互いを守り合うことになると思う。 	
④防犯意識向上のための啓発活動等に関する内容	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯活動は重要であるが、啓発推進は市が主導すべき。 ・ 啓発ポスターを地域に貼ったり配ったりすることが、自治会のできる範囲ではないか。 ・ 警察権を持たない人に、防犯活動はまかせられない。それよりも各家庭や職場、学校での道徳を含めたモラルの教育が大切。しつけが必要。 	
⑤その他	
住民同士の親睦、交流の充実	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 無関心が多い。 ・ 住民間の交流がない、町内会での交流が必要。交流の活発化により防犯の意識も生まれてくると思う。 	
警察による防犯の強化	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ・ パトカーによる見回りをして欲しい。パトロール強化が必要。 ・ 交番がない。 	
行政主導の取り組み	約10件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国や地方自治体、教育関係者の態度、方針、施策の問題であって、町内で対策を打つことはできない。 	
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間の町内全体(特に道路)の照明が暗い。街灯が少ない。防犯灯をもっと付けてほしい。 ・ 自治会員の意識が大事である。 	

複数回答の算出方法：回答比率（％）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100



地域A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台

地域B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）、

地域C：五ヶ庄

地域D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅斉、金井戸）

地域E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台

地域F：横島町

地域G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）

地域H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町、

地域I：伊勢田町、安田町

地域J：神明、開町、羽拍子町、

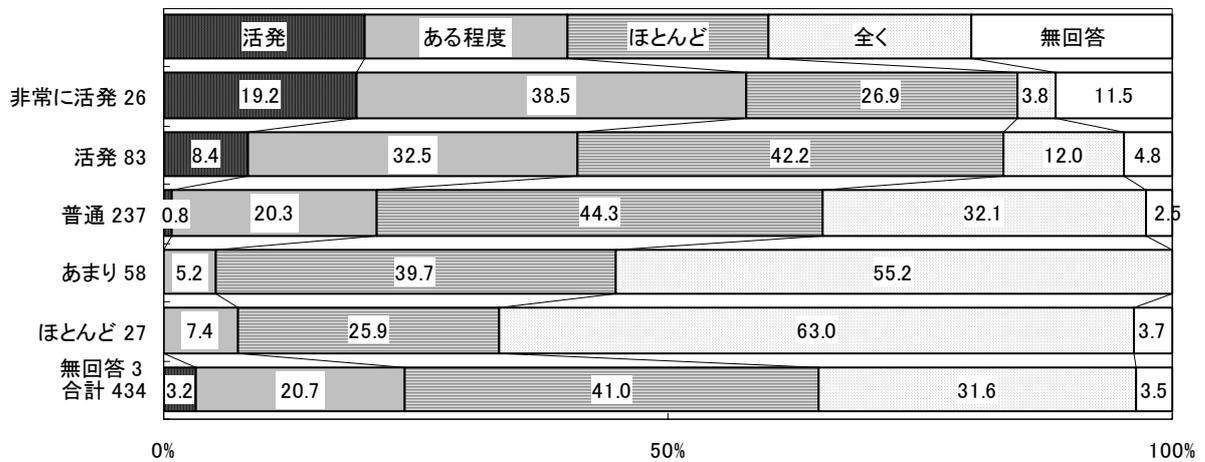
地域K：大久保町、

地域L：広野町、寺山台

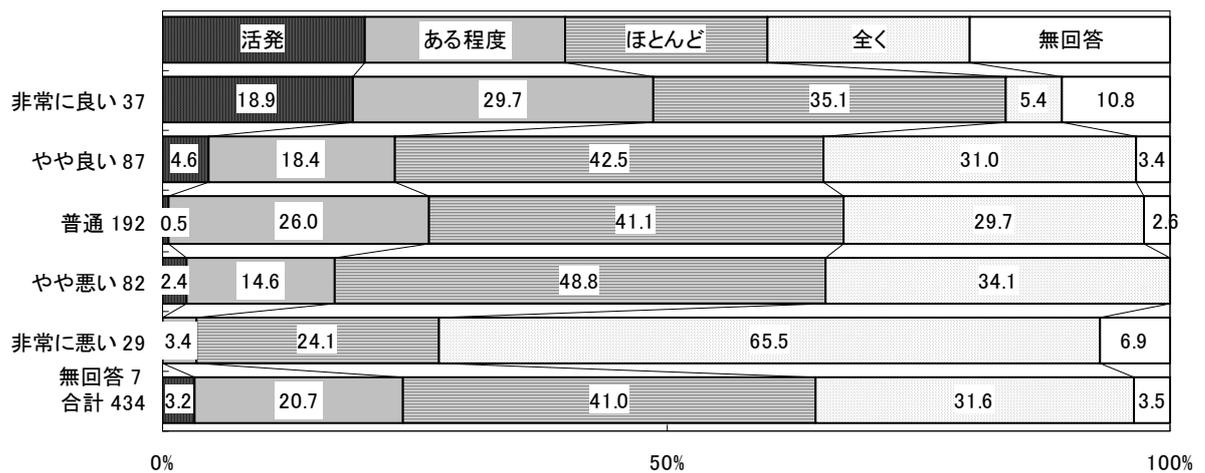
地域M：白川、志津川、

地域N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

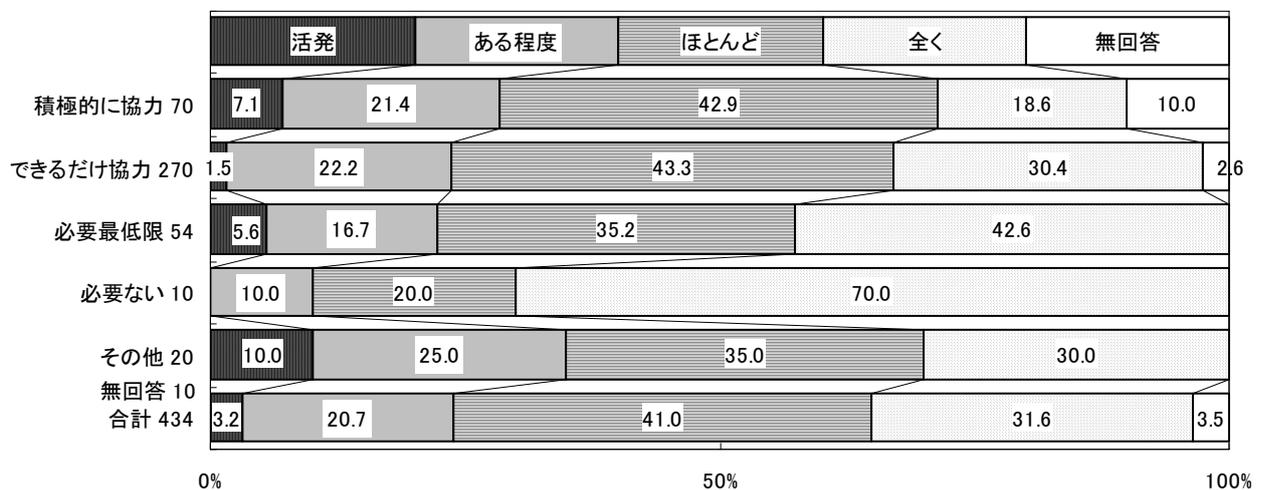
- 町内会・自治会活動の活動状況別では、概ね活発な活動が行われている会ほど、自主防災活動がより活発に行われている傾向が見られる。



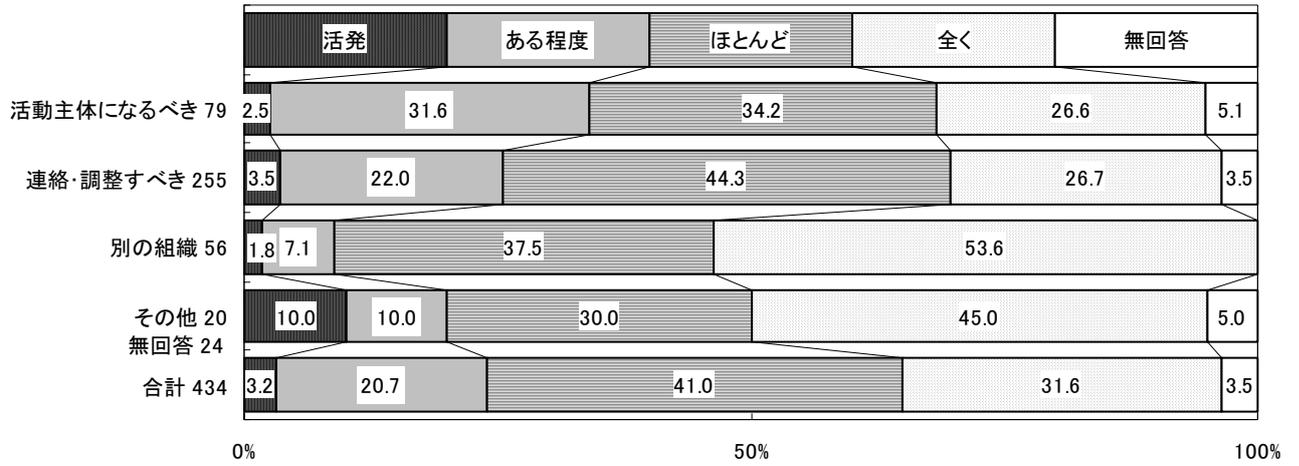
- 町内会・自治会活動の住民参加状況別では、概ね参加状況が良い会ほど、自主防災活動がより活発に行われている傾向が見られる。



- 市への協力関係別では、概ね「協力すべき」とする会ほど、自主防災活動の取り組みを行っている比率が高い傾向が見られる。



- ・ 町内会・自治会と「住民参加のまちづくり」への認識別では、「活動主体となるべき」、「連絡・調整すべき」とする会が、自主防災活動の取り組みを行っている比率が高い。



③ 実施すべき防災対策

(3) 町内会・自治会で実施すべき防災対策は、何だと思われますか。次の中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

また、「既に行われている活動」があれば、あてはまるものすべてに◎印をつけてください。

1. 防災訓練の実施
2. 災害時に孤立する高齢者や障害者等への支援体制の確立
3. 防災用具の準備
4. 住民同士の連携の強化
5. 防災マニュアルの作成
6. 緊急連絡網の整備
7. その他 ()
8. 自治会・町内会ですべきことはない

・ この設問は、市民意識調査（問 15(3)）でも同じ設問を設けており、2つの回答を比較すると、次のようになる。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	「ない」
市民全体	孤立者への支援	連携強化	防災用具	マニュアル作成	連絡網整備	防災訓練	1.4%
町内会・自治会	連携強化	孤立者への支援	防災用具	連絡網整備	マニュアル作成	防災訓練	1.8%

・ 既に行われている活動は、最も高い“マニュアル作成”でも12.2%であり、全体的に低い結果となっている。

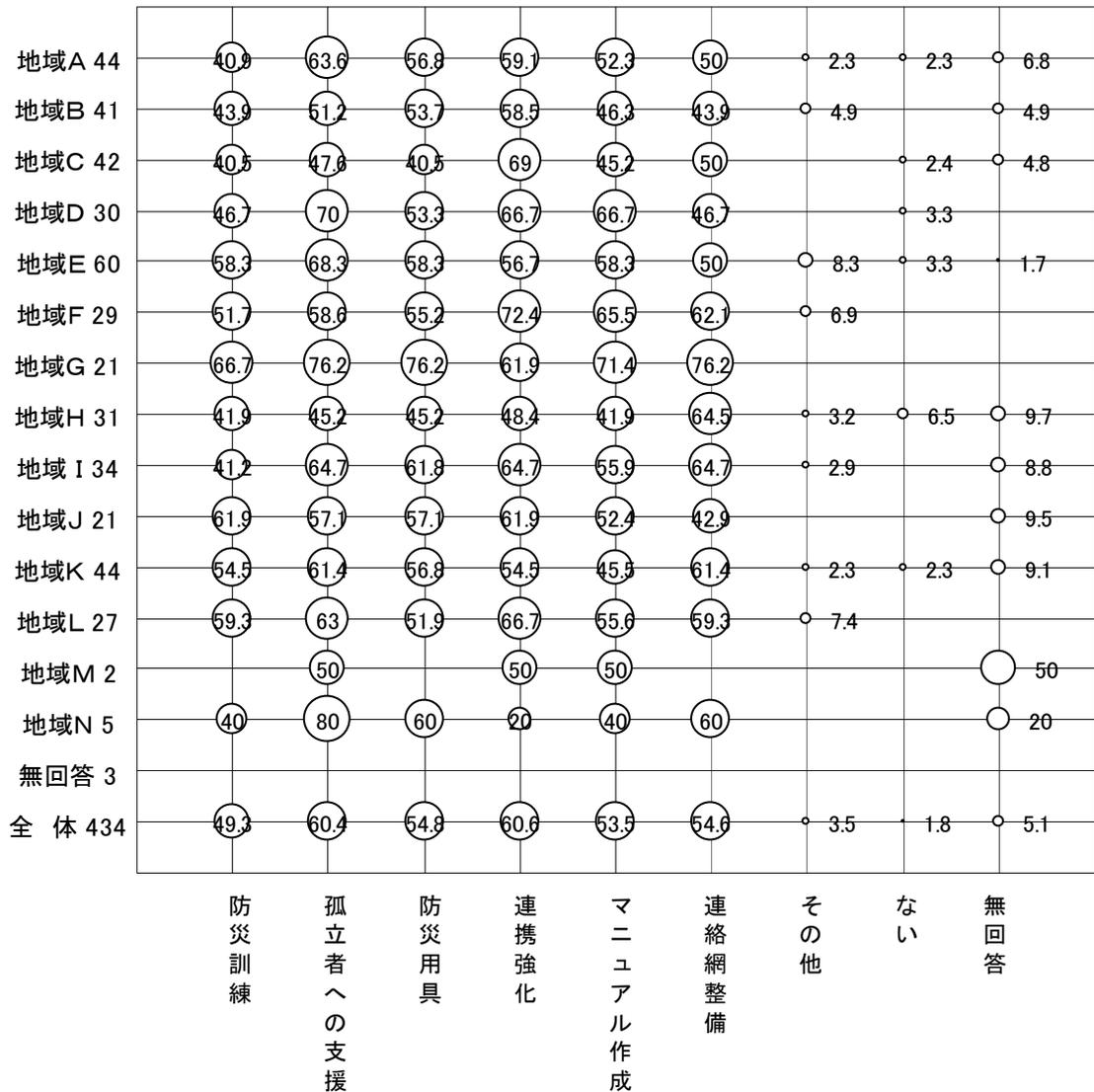
・ 地域別では、各地域の回答比の上位5位までを抽出すると次のようになるが、各地域の回答に大きな共通点はみられない。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
地域A	●孤立者への支援	連携強化	防災用具	マニュアル作成	連絡網整備
地域B	連携強化	防災用具	孤立者への支援	〃	連絡網整備、防災訓練
地域C	● 〃	連絡網整備	〃	〃	防災訓練、防災用具
地域D	●孤立者への支援	●連携強化、●マニュアル作成		防災用具	連絡網整備、防災訓練
地域E	● 〃	防災訓練、防災用具、マニュアル作成			連携強化
地域F	●連携強化	●マニュアル作成	●連絡網整備	孤立者への支援	防災用具
地域G	●孤立者への支援、●防災用具、●連絡網整備			●マニュアル作成	●防災訓練
地域H	●連絡網整備	連携強化	孤立者への支援、防災用具		防災訓練、マニュアル作成
地域I	●孤立者への支援、●連携強化、●連絡網整備			●防災用具	マニュアル作成
地域J	●防災訓練、●連携強化		孤立者への支援、防災用具		〃
地域K	●孤立者への支援、●連絡網整備		防災用具	防災訓練、連携強化	
地域L	●連携強化	●孤立者への支援	防災訓練、連絡網整備		マニュアル作成
地域M	孤立者への支援、連携強化、マニュアル作成			—	—
地域N	●孤立者への支援	●防災用具、●連絡網整備		防災訓練、マニュアル作成	

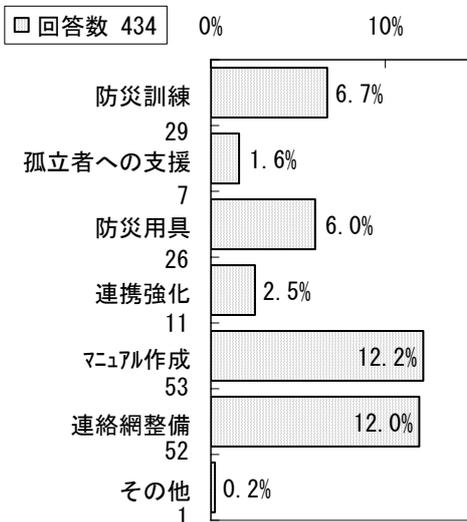
*:●は、回答比率が6割以上の地域

複数回答の算出方法：回答比率（％）＝（各設問の回答数÷回答者数）×100

実施すべき防災対策



既に行われている活動



- 地域 A：六地藏、木幡②（木幡①以外）、平尾台
- 地域 B：木幡①（熊小路、内畑、中村、西浦、大瀬戸、北山畑、南山畑、南端、南山）
- 地域 C：五ヶ庄
- 地域 D：菟道、明星町、羽戸山、宇治②（乙方、東内、山本、又振、山田、紅芥、金井戸）
- 地域 E：宇治③（宇治①、②以外）、琵琶台、天神台、折居台
- 地域 F：横島町
- 地域 G：小倉町①（西大池、大池、新田島、堀池、蓮池、南堀池、南浦、山際）
- 地域 H：宇治①（半白、蔭山、御廟）、小倉町②（小倉町①以外）、南陵町
- 地域 I：伊勢田町、安田町、
- 地域 J：神明、開町、羽拍子町
- 地域 K：大久保町、
- 地域 L：広野町、寺山台
- 地域 M：白川、志津川
- 地域 N：炭山、東笠取、西笠取、二尾、池尾

④ 町内会・自治会による自主防災活動推進上の問題点

(4) 自治会・町内会で自主防災活動を実施する上での問題点があればお書きください。

〈意見内容の概要〉－全部で約190件

	回答数
①防災訓練の実施等に関する内容	約20件
・ 高齢者がほとんどで、防災訓練の実施は困難。	
・ 防災訓練を実施したい。必要である。	
・ 住民の生活がバラバラ、スタッフが各種ボランティア活動に忙しいなど、開催日程の設定が難しい。	
・ 日中の不在が多いため、実施が困難。	
②災害時に孤立する人への支援等に関する内容	約10件
・ 救護班等の救出活動をする際に必要な若い人、やり手がいらない。	
・ 高齢者世帯、障がい者世帯の把握と対応方法の確保が必要。	
・ いざという時の助け合いには家庭事情を知っていなければいけないことと、プライバシー保護の観点との矛盾がある。	
③防災用具の準備等に関する内容	約30件
・ 防災用具の保管場所がない。決まらない。	
・ 防災用具がない。未設置。購入費用がない。足りない。	
・ 非常食、水等の集会所等での備蓄が必要。	
・ 防災用具保管のための鍵の管理問題。	
・ 市から地域へ防災用具の設備を整えて欲しい。	
・ 防災用具、必要なもの、不必要なもののリストが欲しい。	
④住民同士の連携等に関する内容	約70件
・ 住民のまとまりがない。連帯意識がない。交流がない。日頃から住民同士の信頼関係が大事。	
・ 高齢者が多い。そのために、活動がしにくい。やりたくても取り組めない。関心が低い。	
・ 住民が無関心。意識が低い。参加者が少なく役員の負担が大きい。	
・ 進んで動くリーダーとなる人材がいらない・少ない。	
・ 町内会への未加入者をどうすべきか。自治会、町内会への加入意識が薄い。	
・ 個人情報保護法が発足されてから、町内の人員が把握しにくい。	
・ 町内会に入っていない人、入っていても不参加の人がいると防災活動しても意味がない。防災活動の町内会での役割は皆無。	
⑤防災マニュアルなどの情報提供等に関する内容	約10件
・ 防災マニュアル作成は、どのようにしたらよいか分からない。	
・ 防災活動のマニュアル作成は必要。	
・ 災害時の防災マニュアルの全員への周知徹底化。	
・ 防災マニュアルを作成して各戸に配布したが、災害の際にどれだけ活用、役立つか、備え付けをされているか、疑問が残る。	
・ 防災マニュアル等を作成しても、実際に災害に遭遇した場合、頭に入らず逃げるだけで精一杯だと思う。	
⑥緊急連絡網の整備等に関する内容	約10件
・ 緊急連絡網の整備といっても、個人情報保護法で、連絡先を把握できない。せめて同じ組の人の連絡先は知らない、何もできない。	
⑦その他	
・ 予算が無い、費用面での支援がほしい。町内会費では限界がある。	
・ 消防署員など、防災活動のプロの方による防災指導がほしい。	
・ 避難場所が近くにない。遠い場所が避難場所に指定されている。	
・ 避難場所までの経路が不安。	
・ マンションのため、管理組合と自治会があり、どちらを主とするのかが不透明。	
・ 防災対策は広域的な問題で、行政主導が原則である。行政が町内会組織に依存はナンセンスと思う。	

(9) 自由回答欄のまとめ

町内会・自治会活動に関する考えについて

〈意見内容の概要〉－全部で約190件

	回答数
会員の高齢化、価値観の多様化、活動に対する無理解・無関心等について	約30件
<ul style="list-style-type: none"> 町内会の役員のなり手がいない。 町内会活動に関心がある者と、無い者がはっきり別れる。この問題を克服する良い方法がないか。 自分たちの町は自分たちで良くしていかなければという思いが減っている。 高齢者や共働きが多く、なかなか自治会の活動に協力を得られない。役員も輪番制なので仕方なくやるという事になって、積極的に取り組むまではいかない。災害時を思うと不安。 少子高齢化のため行事が組みにくい。 住民間の助け合い精神が薄く、協力して進める人が少ない。 皆が平等に参加できる活動を。一部の人に負担がいく活動は、必ず不満が出る。それを解決するのも町内間、とても難しいと思う。 	
町内会・自治会への未加入者について	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 地域住民のつながり、助け合いの場として町内会は大いに役立つので、できれば全員の加入が望ましいと思うが、最近、入会しない方が増える傾向にある。 自治会活動に参加しなくても何も不便が無く、入会すると困ることの方が多いとの意識者が多いのが現状。 「市民との協働」は必要だが、自治会サイドでも役員の負担は多く、役員になりたくないとの思いから自治会を脱会する住民も出始めている。 	
新たな活動方法や新たな自治体制の確立について	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 町内会活動は段々やりにくくなっているのは事実だが、仲良しグループとか子供を中心としたグループ等、各々接点を持ちながら町内全体の意思疎通を図っていかなければと考える。 	
連合組織の再編について	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 西小倉自治連合会がありますが、広すぎて、小学校区クラスの自治会連合会の方が活動しやすいと思う。 	
住民同士の交流、連携について	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 町内会長をさせて頂いて、新しいお友達も沢山できた。やっと本当の宇治市民になれたような気持ちで、この機会を与えられたことに感謝している。 段々、地域が疎遠になり、町内会の行事等に参加するのも役員だけとなってきているから役員は大変とイメージがあり、みんなが敬遠する。 互いに付き合いが少ない。淋しいものですね。 	
人材育成、リーダー養成、啓発活動について	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 定年退職された方のパワーを活用することが、大変有効だと思う。見本、お手本として、若い世代へのつなぎ役をお願いしたい。 連合町内会で退職の3年ほど前から、退職されたら町内の何らかのボランティア活動への協力を依頼している。今後、多くの退職者が出現する折り、町内会自治会活動の充実に期待している。 住民の意識の向上が必要で、青年世代が中心に取り組む姿勢が肝要だ。 	
町内会・自治会と市行政との関係について	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 町内会活動を推進する上で、町内会等を指導、研修等を含め行政が指導的役割を果たす必要がある。 町内会、自治会は市の下請け機関でもないし、市は自治会等の下請け機関でもなく、互いに平等である事を頭において活動すべきである。 	
回覧物について	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 回覧が非常に多すぎる。送れば良いとの風潮になっていないか、回覧に多くの労力を要して自主的活動の弊害になる。 回覧物の配布・回覧に皆困っているので、1ヶ月ごとにまとめて各戸に郵送して欲しい。 	
防災について	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 災害時等の緊急連絡のため、住民台帳への記帳も、個人情報を知らせたくないで会員名簿の作成が出来ず、全会員を把握できず不安。 防災マニュアル作成中、4月以後活動に力を入れる。 	
都市基盤整備等について	約20件
<ul style="list-style-type: none"> 近鉄小倉駅周辺の整備が急務。日常の迷惑駐車等で緊急車が通行困難な場合が多く、実際に何度か目撃している。駅前再開発事業として近鉄小倉駅の高架と駅ビル化による商業、公共施設の集中化により道路整備、駅前ロータリーの設置等、総合的、効率的、再開発整備を早急に実現してほしい。 宇治市としての町づくりプランはどうなっているのか、緑や公園が少ない。計画的にやっているのか。高齢者や子どもが安心して暮らせない(病院、福祉、医療費等)。学童の登下校対策(地域まかせ)。下水道整備の遅れ。 安全な住環境を整備していくことが、一番重要なことである。 	
高齢化社会への対応について	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 高齢化の進む中、独居老人、高齢世帯への対応が急務と考える。実現へは、市の協力が不可欠。 	

	回答数
行財政運営について	約10件
<ul style="list-style-type: none"> より良い住み良い町になれる様に、市へ要望があったら早く問題解決いただけるよう願う。 	
迷惑事象(迷惑駐車、ゴミ等)について	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 古紙回収の折りに、段ボールを他の業者に取りられたことが2回あった。町内の人々の好意が無視されて、残念な思いをした。 	
町内会長を務めたことに対する感想	約20件
<ul style="list-style-type: none"> 今年度、町内会長を引き受け、町内各戸の色々な問題、地域の特殊なあり方に少し遭遇し、良い経験をさせてもらいました。 役員の方々との交流は、貴重な経験だった。今後とも協力できる事があればお役に立ちたい。 	
本アンケート調査について	約10件
<ul style="list-style-type: none"> 他の町内会の状況を知りたいので調査結果を全住民に知らせてもらいたい。 	